

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立中条保育所園舎改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立中条保育所敷地内です。同敷地内には仮設園舎があり、通常通り保育所を運営しています。また敷地が狭隘なため、通勤車両等の駐車はできません。

2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。また、木工事で使用する木材は、可能な限り市産材・県産材を使用するよう努めてください。
- ② 工事期間中は、第三者との事故及び災害防止に努めてください。
構内管理については、施設管理者との協議・調整を十分に行ってください。
- ③ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ④ 工事施工上必要な官庁署への手続きは、受注者の責任において適切に行ってください。
- ⑤ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑥ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議の上、速やかに復旧してください。
- ⑦ 工事用出入口から前面道路へ泥を持ち出すことのないよう十分留意してください。また、汚した場合は速やかに清掃を行ってください。
- ⑧ 工事場所付近は、住宅等の建物が敷地に近接しているため、工事中の重機等による振動及び騒音防塵には十分注意し、移動の際は最徐行、仮設等の対策を講じてください。
- ⑨ 工事場所付近の道路は狭く、通学路となっており、児童及び第三者の安全確保に細心の注意を払ってください。
- ⑩ 保育所の行事や園児の昼寝等に支障がないよう、園の行事日程や時間割等考慮し、工事を行ってください。また、工事用出入口が登園通路と一緒のため、事故がないよう工事車両搬入等の時間配慮等を行ってください。
- ⑪ 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事施工の遂行に努めてください。
- ⑫ 工事車両等の駐車場利用については、民間駐車場の賃貸借を想定し、計6台分の月極駐車場代を見込んでいます。

3. 別途工事

電気設備工事、給排水衛生ガス設備工事、冷暖房換気設備工事、カーテン取付工事

4. 広島県工事中情報共有システム（以下「情報共有システム」という。）

本工事は、原則として情報共有システムを利用します。また、情報共有システム利用料を見込んでいます。

5 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

工事名称

福山市立中条保育所園舎改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
X-01	表紙・図面リスト	A-01	付近見取図・面積表・配置図	A-16	改修前後 展開図 1 (保育室1.2.3)	A-31	改修後 建具表 2
X-02	建築工事 特記仕様書 No. 1	A-02	仕上表	A-17	改修前後 展開図 2 (便所1.2.3)	A-32	改修後 各部詳細図 1
X-03	建築工事 特記仕様書 No. 2	A-03	改修前 平面図	A-18	改修前後 展開図 3 (中廊下・調理室)	A-33	改修後 各部詳細図 2
X-04	建築工事 特記仕様書 No. 3	A-04	改修後 平面図	A-19	改修前後 展開図 4 (通路・便所4)	A-34	改修前 家具図
X-05	建築工事 特記仕様書 No. 4	A-05	改修後 屋根伏図	A-20	改修前後 展開図 5 (休憩室・事務室)	A-35	改修後 家具図
X-06	工事区分表	A-06	改修前 立面図	A-21	改修前後 展開図 6 (衛生室・保育教材庫・湯沸室)	A-36	家具詳細図
X-07	建築工事 特記仕様書 構造関係	A-07	改修後 立面図	A-22	改修前後 展開図 7 (乳児室・処置室)	A-37	プール詳細図
X-08	鉄筋工事仕様書 No. 1	A-08	改修前 断面図	A-23	改修前後 展開図 8 (調乳室・便所5)	A-38	改修後 室名札・カーテンリスト図
X-09	鉄筋工事仕様書 No. 2	A-09	改修後 断面図	A-24	改修前 展開図 9 (遊戯室・控室1.2)		
X-10	鉄骨工事仕様書 No. 1	A-10	改修前 天井伏図	A-25	改修後 展開図 10 (遊戯室・控室1.2)		
X-11	鉄骨工事仕様書 No. 2	A-11	改修後 天井伏図	A-26	改修前 建具・家具配置図		
		A-12	改修前 平面詳細図 1	A-27	改修前 建具表 1		
		A-13	改修前 平面詳細図 2	A-28	改修前 建具表 2		
		A-14	改修後 平面詳細図 1	A-29	改修後 建具・家具配置図		
		A-15	改修後 平面詳細図 2	A-30	改修後 建具表 1		

福山市建設局建築部営繕課						期注
主任	課長	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	2024年5月



項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項
7 シーリング用材料 (9.7.2)	(表9.7.1) シーリング材の種類 JIS A5758 被着体の組合せ シリング材の種類 記号 主成分による区分 金属 金 鋼 MS-2 変成シリコーン系 コンクリート SR-1 シリコーン系 ガラス MS-2 変成シリコーン系 石、タイル MS-2 変成シリコーン系 A L C (注1) 仕上げなし PU-2 ポリウレタン系 (注1) 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 樹脂製建具 押し成形セメント板 MS-2 変成シリコーン系 コンクリート MS-2 変成シリコーン系 ガラス SR-1 シリコーン系 石、タイル MS-2 変成シリコーン系 A L C (注1) 仕上げなし MS-2 変成シリコーン系 (注1) 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 押し成形セメント板 MS-2 変成シリコーン系 ガラス SR-1 シリコーン系 石 MS-2 変成シリコーン系 外壁乾式工法の目地 PS-2 ポリサルファイド系 上記以外の目地 PS-2 ポリサルファイド系 コンクリート プレキャストコンクリート MS-2 変成シリコーン系 打継目地 仕上げなし PS-2 ポリサルファイド系 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 透発目地 (注1) PS-2 ポリサルファイド系 石、タイル 仕上げなし MS-2 変成シリコーン系 A L C (注1) 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 (注1) 仕上げなし MS-2 変成シリコーン系 押し成形セメント板 (注1) 仕上げなし PU-2 ポリウレタン系 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 A L C (注1) 仕上げなし PU-2 ポリウレタン系 押し成形セメント板 (注1) 仕上げあり PU-2 ポリウレタン系 浴室、浴槽 SR-1 シリコーン系 キッチン、キャビネット回り SR-1 シリコーン系 洗面、化粧台回り (注2) SR-1 シリコーン系 タイル (伸縮調整目地) PS-2 ポリサルファイド系 アルミニウム製建具等の工場のシール (注4) PS-2 ポリサルファイド系 (注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上げ塗料、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。なお、仕上げを行わない場合は特記による。 2. 被着体がA L Cパネルの場合に用いるシーリング材は、JIS A 1439 (建築用シーリング材の試験方法) に基づく養生後の引張接着性試験における50%引張応力が0.2N/mm ² 以下の製品を使用する。 3. 防かびタイプの1成分シリコーン系とする。 4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。 5. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。 6. 外壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(4)による。	4 セメントモルタルによるセラミックタイル張り (11.2.5)	・タイル張りの種類 工法 (表11.2.2) 施工箇所 形状(mm) きき うわぐすり 工法 便所4.5(補修部) 100x100 BI 施 施 密着張り 壁 ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル ・ユニットタイル ・その他のタイル 床 (11.3.1)(11.3.2) 有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	6 造作用集成材 (12.2.1.3)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1.3) ・造作用集成材 単材の樹種及び厚さ 施工箇所 樹種名 単材の厚さ(mm) 施工箇所 樹種名 単材の厚さ(mm) 化粧ばり造作用集成材 施工箇所 見付け材の品質 芯材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 柱 ※1等 杉 ※1.0以上 かも眉、なげし、廻縁 ※1等 杉 ※0.6以上 天井板 ※1等 杉 ※0.2以上 敷居 ※1等 杉 ※1.5以上 カウンター - - メラミン樹脂化粧板 ※1.0以上 化粧ばり構造用集成材 施工箇所 芯材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ・造作用集成材 単材の樹種及び厚さ 施工箇所 見付け材の品質 樹種名 単材の厚さ(mm) 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ※15%以下 化粧ばり造作用集成材 施工箇所 見付け材の品質 芯材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ※15%以下 化粧ばり構造用集成材 施工箇所 見付け材の品質 芯材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ※15%以下	12 防虫処理 (12.3.2)	・行う (J A S 保存処理の性能区分K1) ・行わない (12.3.2) 13 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1) 間仕切軸組に用いる木材 (・杉 ・松) (12.4.1) 床組に用いる木材 (・杉 ・松) (12.4.1) 14 窓、出入口その他 (12.5.1) 窓、出入口その他に用いる木材 (・ひのき) (12.5.1) 吊元棒、水掛りの下枠及び敷居 (・ひのき) (12.5.1) その他 (・松 ・杉) (12.5.1) 15 床板張り (12.6.1) 縁甲板及び上がりがまに用いる木材 (・ひのき) (12.6.1) 16 壁及び天井下地 (12.7.1) 木材 (・杉 ・松) (12.7.1)
8 シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9.7.5)	5 接着剤によるセラミックタイル張り (11.3.1~2)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	7 造作用単板積層材 (12.2.1.4)	「JAS0701」に規定する造作用単板積層材 (12.2.1.4) ・単板積層材 施工箇所 表面の品質 防虫処理 「JAS0701」に規定するもの以外の造作用単板積層材 ・単板積層材 施工箇所 表面の品質 防虫処理 含水率 ※14%以下 ※14%以下 「JAS 3079」に規定する直交集成材 ・直交集成材 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種名 寸法 「合板の日本農林規格」による下地用合板 ①普通合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※5.5 ※1類 ・2類 ・1等 ※2等 ②構造用合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※1.2 ・特類 ※1類 ※C-D その他合板 ・「JIS A 5908」によるパーティクルボード 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ ※1.5 ・Mタイプ ・Pタイプ ・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ ・「JAS 0360」による構造用パネル 厚さ(mm) 寸法 ・「JIS A 5905」によるミディアムデンシティファイバーボード(MDF) 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ	13 屋根及びどい工事 (13.2.2~3)	1 長尺金属葺葺 (13.2.2~3) 形式 ・立て葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・積葺 (13.2.2~3) 種類 ・塗装溶融垂れめつき銅板及び銅葺 (屋根用)(GGOCR-20-Z25) (表13.2.1) ・ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属葺 (A種、S G) ・塗装溶融垂れめつき5%アルミニウム合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(GZACOR-20) ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(CGLCOR-20-AZ) JIS G3322 鋼板の厚さ(mm) 一般部 ※0.4 谷部 ※0.4 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 下葺材料 ・アスファルトルーフィング904 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 2 折葺葺 (13.3.2~3) 材種 ※ 塗装溶融垂れめつき銅板及び銅葺(屋根用)(GGOCR-20-Z25) (表13.2.1) ※ ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属葺 (A種、S G) ・塗装溶融垂れめつき5%アルミニウム合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(GZACOR-20) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき銅板及び銅葺(屋根用) 種類 山高 mm 山のピッチ mm (13.3.2) 厚さ mm 形による区分 ※重ね形 ・はげ縁形 ・かん合形 タイトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。 建築基準法に基づき定まる耐風圧力に対応した工法 ※ 図示による 3 とい (13.5.2) 軒どい ○ 塩ビ製補強芯入り 角型カラー前高130 (13.5.2) たてどい ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) とい受け金物 ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) 足金物 ※ 溶融垂れめつき ・ ステンレス (SUS304)
10 天然石 (10.2.1~2)	・石材の品質 床 ※2等品 その他 ※1等品 (10.2.1) ・石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1)(10.2.2) 施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 建築基準法に基づき定められた風速(メ/時)及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による ・適用しない	11 セラミックタイル張り (11.2~3.7)	① 製材 「製材の日本農林規格」による製材 ・下地用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状(耳付材・押角)、含水率、保存処理、表面の材質 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状(耳付材・押角) 含水率 保存処理 表面の材質 ・1級 ※2級 ・%以下 ・1級 ※2級 ・%以下 ・1級 ※2級 ・%以下 ・1級 ※2級 ・%以下 ② 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状(板類・角類)、含水率、保存処理、表面の品質 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状(板類・角類) 含水率 保存処理 表面の材質 床、壁見切り 桧 図示 ・無節 ※上小節 板類 ○5%以下 ・小節 廻縁、巾木 桧 図示 ・無節 ※上小節 板類 ○5%以下 ・小節 ・無節 ※上小節 ・%以下 ・小節 ・無節 ※上小節 ・%以下 ・小節 ・特等 ※1等・2等 ※10%以下 ・特等 ※1等・2等 ※10%以下 ・特等 ※1等・2等 ※10%以下 ・特等 ※1等・2等 ※10%以下 「製材の日本農林規格」以外の製材 ・下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、表面の品質、防虫処理、含水率 施工箇所 樹種 寸法 表面の品質 防虫処理 含水率 ・%以下 ・%以下 ・%以下 ・%以下 ・造作材の材質の品質 ※A種 ・B種 (表12.2.2) 樹種 区分 下地材 樹種 壁・天井下地 ・杉 ・松 () 畳下・下張り用床板等 造作材 ・杉 ・松 ・ひのき ()	8 直交集成材 (12.2.1.5)	「JAS 3079」に規定する直交集成材 ・直交集成材 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種名 寸法 「合板の日本農林規格」による下地用合板 ①普通合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※5.5 ※1類 ・2類 ・1等 ※2等 ②構造用合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※1.2 ・特類 ※1類 ※C-D その他合板 ・「JIS A 5908」によるパーティクルボード 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ ※1.5 ・Mタイプ ・Pタイプ ・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ ・「JAS 0360」による構造用パネル 厚さ(mm) 寸法 ・「JIS A 5905」によるミディアムデンシティファイバーボード(MDF) 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ	14 金属の垂れめつき (14.2.2)	1 銅管製といの防露 防露巻き仕様 防露部 巻工法 高さ(mm) 床 ※150 天井 ※30 防露材 防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ (表13.5.3) 屋内見え掛りの場合 ※ 図示による ※ 図示による ※ ステンレス製シーリングプレートを取り付ける(床、天井共)
11 セラミックタイル張り (11.2~3.7)	タイルの種類 ※標準色 ・特注色 (11.2~1.4) 役物使用箇所 ※各部の形状は図による 内装 出隅 天端 (標準一体成型品以外は接着成型品とする) 外装 出隅、窓台、マグサ タイルの試験張り ※行わない ・行う () タイルの見焼き ※行わない ・行う () 下地コンクリート素地面 (11.2~3.7) 適用タイル 躯体表面 下地モルタル塗り 工法 ・小口タイル ・MCR工法 ※ポリマーセメント ※密着工法 ・二丁掛タイル ・目荒し工法 ・モルタル下塗り ・改良圧着張り (高圧水洗) ・行わない ・接着剤張り MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 目荒し工法 高圧水洗による目荒しは、50N/mm ² の水圧で2.5分/㎡とし、仕上げの程度は監督員の承諾を受ける。 施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。 ポリマーセメントモルタルの割合は、15.2.3(4)による。	9 接合剤によるセラミックタイル張り (11.3.1~2)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	9 合板等 (12.2.1.6)	「合板の日本農林規格」による下地用合板 ①普通合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※5.5 ※1類 ・2類 ・1等 ※2等 ②構造用合板 厚さ(mm) 接着の程度 表面の品質 ※1.2 ・特類 ※1類 ※C-D その他合板 ・「JIS A 5908」によるパーティクルボード 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ ※1.5 ・Mタイプ ・Pタイプ ・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ ・「JAS 0360」による構造用パネル 厚さ(mm) 寸法 ・「JIS A 5905」によるミディアムデンシティファイバーボード(MDF) 厚さ(mm) 耐水性 曲げ強さ	15 折葺葺 (13.3.2~3)	材種 ※ 塗装溶融垂れめつき銅板及び銅葺(屋根用)(GGOCR-20-Z25) (表13.2.1) ※ ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属葺 (A種、S G) ・塗装溶融垂れめつき5%アルミニウム合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(GZACOR-20) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき銅板及び銅葺(屋根用) 種類 山高 mm 山のピッチ mm (13.3.2) 厚さ mm 形による区分 ※重ね形 ・はげ縁形 ・かん合形 タイトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。 建築基準法に基づき定まる耐風圧力に対応した工法 ※ 図示による 3 とい (13.5.2) 軒どい ○ 塩ビ製補強芯入り 角型カラー前高130 (13.5.2) たてどい ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) とい受け金物 ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) 足金物 ※ 溶融垂れめつき ・ ステンレス (SUS304)
12 天然石 (10.2.1~2)	・石材の品質 床 ※2等品 その他 ※1等品 (10.2.1) ・石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1)(10.2.2) 施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 建築基準法に基づき定められた風速(メ/時)及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による ・適用しない	12 セラミックタイル張り (11.2~3.7)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	10 接合剤によるセラミックタイル張り (11.3.1~2)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	16 壁及び天井下地 (12.7.1)	木材 (・杉 ・松) (12.7.1)
13 天然石 (10.2.1~2)	・石材の品質 床 ※2等品 その他 ※1等品 (10.2.1) ・石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1)(10.2.2) 施工箇所 種類・産地・名称 厚さ 仕上げの種類 工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 建築基準法に基づき定められた風速(メ/時)及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分 ※ 図示による ・適用しない	13 セラミックタイル張り (11.2~3.7)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	11 接合剤によるセラミックタイル張り (11.3.1~2)	有機質接着剤の種類 (11.3.3) ・タイプI ・タイプII ・その他() ※F☆☆☆☆	17 屋根及びどい工事 (13.2.2~3)	1 長尺金属葺葺 (13.2.2~3) 形式 ・立て葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・積葺 (13.2.2~3) 種類 ・塗装溶融垂れめつき銅板及び銅葺 (屋根用)(GGOCR-20-Z25) (表13.2.1) ・ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属葺 (A種、S G) ・塗装溶融垂れめつき5%アルミニウム合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(GZACOR-20) ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(CGLCOR-20-AZ) JIS G3322 鋼板の厚さ(mm) 一般部 ※0.4 谷部 ※0.4 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 下葺材料 ・アスファルトルーフィング904 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 2 折葺葺 (13.3.2~3) 材種 ※ 塗装溶融垂れめつき銅板及び銅葺(屋根用)(GGOCR-20-Z25) (表13.2.1) ※ ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属葺 (A種、S G) ・塗装溶融垂れめつき5%アルミニウム合金めつき銅板及び銅葺(屋根用)(GZACOR-20) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき銅板及び銅葺(屋根用) 種類 山高 mm 山のピッチ mm (13.3.2) 厚さ mm 形による区分 ※重ね形 ・はげ縁形 ・かん合形 タイトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。 建築基準法に基づき定まる耐風圧力に対応した工法 ※ 図示による 3 とい (13.5.2) 軒どい ○ 塩ビ製補強芯入り 角型カラー前高130 (13.5.2) たてどい ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) とい受け金物 ※ 亜鉛めつき ○ ステンレス (SUS304) 足金物 ※ 溶融垂れめつき ・ ステンレス (SUS304)

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 7, 8, 15, 16) and Description (e.g., 金属成形板張り, アルミウム製窓木, ラス系下地). Includes detailed specifications and tables for materials and performance.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 4, 5, 6, 7, 8) and Description (e.g., 網戸, 樹脂製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具, ステンレス製建具, 木製建具). Includes performance tables for wind resistance, airtightness, and water resistance.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 11, 12, 13, 14, 15, 17) and Description (e.g., 自動ドア開閉装置, 引戸装置, シャッター, 軽量シャッター, ガラス, カーテンウォール). Includes safety and performance specifications.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 3, 4) and Description (e.g., 網止め塗料塗り, 塗装, 接着剤, ビニル床シート, ビニル床シート, ビニル床シート, タイルカーペット). Includes material specifications and performance tables.

5	フロアリング張り (19.5.2~5)	単層フロアリング (19.5.2~5)				
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)
6	畳敷き (19.6.2)	種別				
		A種	B種	C種	D種(畳床:KT-III (畳床:KT-III,畳表:O2,柄ヘリHt))	(19.6.2)(表19.6.1)
7	せっこうボード その他ボード 及び合板張り (19.7.2~3)	せっこうボード製品 (19.7.2)(表19.7.1~表19.7.5)				
		材種・規格	施工箇所	張り方	厚さ(mm)等	
8	壁紙張り (19.8.2)	建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの (19.8.2)				
		施工箇所	種類(製造所)	防火性能の種類		
9	断熱材 (19.9.3~4)	断熱材打込み工法 (19.9.3)				
		材種	種別	厚さ	施工箇所	
10	フリーアクセス フロア (20.2.2)	フリーアクセスフロア (20.2.2)				
		施工箇所	材質	寸法・高さ	所定荷重	耐震性能
11	スクリーン	種別 ※ ホワイトスクリーン (19.8.2)				
		形式	※ スプリング巻上(ノーショック)式			
12	くつきマット	種別 ※ ステンレス製・黄銅製 (19.8.2)				
		材質	※ 塩化ビニル製・ゴム製・アルミ合金製・鉄製			
13	厨房器具	器具名 (19.8.2)				
		規格・施工箇所等				
14	ピクチャーレール	タイプ (19.8.2)				
		安全荷重	※ 天井面付け・壁面付け			
15	ブラインドボックス カーテンボックス	材質 ※ アルミニウム製 (19.8.2)				
		表面処理	※ C-1 C-2 (色調:)			
16	消火器ボックス	材質 (19.8.2)				
		規格	※ 300×300			
17	視覚障がい者用 誘導ブロック	材質 (19.8.2)				
		規格	※ 300×300			
18	家具類	合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量 (19.8.2)				
		種別	※ F☆☆☆☆			
19	排水工事	種別 (21.2.1)				
		材質	※ VU VP			
20	可動間仕切 (20.2.3)	パーティション (20.2.3)				
		構造形式種別	構成材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能
21	階段 (21.2.1)	種別 (21.2.1)				
		材質	※ SUS			
22	舗装工事	種別 (22.2.1)				
		材質	※ SUS			

23	施工計画調査 (5.1.2)(7.1.3)	特別管理産業廃棄物等 (5.1.2)(7.1.3)				
		特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	除去工事共通事項 (6.2.1~6.2.9)			
24	事前調査 (1.4.1)	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりま (1.4.1)				
		特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	除去工事共通事項 (6.2.1~6.2.9)			
25	石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	石綿含有成形板等の仕様 (6.5.1~6.5.4)				
		仕様	使用部位			

26	スクリーン	種別 ※ ホワイトスクリーン (19.8.2)				
		形式	※ スプリング巻上(ノーショック)式			
27	くつきマット	種別 ※ ステンレス製・黄銅製 (19.8.2)				
		材質	※ 塩化ビニル製・ゴム製・アルミ合金製・鉄製			
28	厨房器具	器具名 (19.8.2)				
		規格・施工箇所等				
29	ピクチャーレール	タイプ (19.8.2)				
		安全荷重	※ 天井面付け・壁面付け			
30	ブラインドボックス カーテンボックス	材質 ※ アルミニウム製 (19.8.2)				
		表面処理	※ C-1 C-2 (色調:)			
31	消火器ボックス	材質 (19.8.2)				
		規格	※ 300×300			
32	視覚障がい者用 誘導ブロック	材質 (19.8.2)				
		規格	※ 300×300			
33	家具類	合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量 (19.8.2)				
		種別	※ F☆☆☆☆			
34	排水工事	種別 (21.2.1)				
		材質	※ VU VP			
35	可動間仕切 (20.2.3)	パーティション (20.2.3)				
		構造形式種別	構成材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能
36	階段 (21.2.1)	種別 (21.2.1)				
		材質	※ SUS			
37	舗装工事	種別 (22.2.1)				
		材質	※ SUS			

38	施工計画調査 (5.1.2)(7.1.3)	特別管理産業廃棄物等 (5.1.2)(7.1.3)				
		特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	除去工事共通事項 (6.2.1~6.2.9)			
39	事前調査 (1.4.1)	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりま (1.4.1)				
		特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	除去工事共通事項 (6.2.1~6.2.9)			
40	石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	石綿含有成形板等の仕様 (6.5.1~6.5.4)				
		仕様	使用部位			
41	養生等	石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			
42	除去工事	原則、手ばらして行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態 (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			
43	除去工事	除去した石綿含有成形板等の集積及び積み込に当たっては、高所より落下しないこと、粉じんの (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			
44	除去工事	除去した石綿含有成形板等の保管、運搬、処分等 (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			
45	除去工事	除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			
46	除去工事	確認及び後片付け (6.5.1~6.5.4)				
		除去工事	養生シートの養生を行う。			

福山市工事区分表		分類	項目	区分					分類	項目	区分				
1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。 2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。				建	電	給	空	ガ			昇	建	電	給	空
分類	項目	建	電	給	空	ガ	昇	分類	項目	建	電	給	空	ガ	昇
1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎	※						9 ビット・マンホール・水槽等	1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ	※					
	2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※	※		2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置	※					
	3. 建物外部の機器類の基礎	※	※	※	※	※	※		3. 屋内の排水溝、配管ビット、配線ビットの内外の防水及び仕上げ	※					
	4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※	※		4. 同上付属蓋類及びタラップの設置	※					
	5. 外灯基礎の製作及び設置	※							5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置	※	※	※	※	※	
2 設備機器類取付下地	1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置	※	※	※	※	※	※		6. 屋内マンホールのRC造躯体、鉄蓋及び化粧蓋の設置	※					
	2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置	※	※	※	※	※	※		7. 屋外マンホールのRC造躯体、鉄蓋の設置	※	※	※	※	※	
	3. 設備機器類の取付け用下地補強	※	※	※	※	※	※		8. 同上化粧蓋の仕上	※					
									9. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ	※	※				
									10. 同上マンホール蓋及びタラップの設置			※			
3 躯体貫通	1. 地中梁の連通管、通気管及び人孔の製作、設置及び開口補強	※							11. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く）			※			
	2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	※							12. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置			※			
	3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強	※						13. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付けの設置	※						
	4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置	※	※	※	※	※	※	14. 同上各種減水警報、液面電極取付け	※						
	5. 同上開口補強	※						15. 同上電気配管配線工事	※						
	6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置	※	※	※	※	※	※								
	7. 同上開口補強	※													
	8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※								
	9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※								
4 躯体以外の貫通・開口	1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む）	※						10 電気設備等	1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事	※					
	2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む）	※					2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ		※						
	3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口	※	※	※	※	※	3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事				※				
	4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	4. 自家発電運転給排水設備工事				※				
	5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※					5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事				※	※	※	※	
	6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※					6. 自動制御などの現場盤への電源接続				※				
	7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口	※					7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事				※				
	8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※									
	9. ユニットバスの換気扇の開口（メーカー規格外の場合）	※						11 空調・換気設備等	1. 一般換気扇（壁付型を含む）、全熱交換器の設置				※		
5 点検口・ガラリ	1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	※							2. 同上用の取付け枠の製作及び設置				※		
	2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置	※			※				3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む）			※			
	3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置				※				4. ユニットバスの換気扇の設置				※		
	4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置	※			※				5. 同上一次側電気配管配線工事			※			
	5. 各室建具ガラリの製作及び設置	※							6. 空調機器のスイッチの設置				※		
							7. 同上二次側電気配管工事				※				
							8. 同上二次側電気配線工事			※					
							9. 同上一次側電気配管配線工事			※					
							10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置			※					
							11. 同上一次側電気配管配線工事			※					
								12 消火設備等	1. 消火栓ボックスの設置			※			
							2. 同上起動押釦、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事				※				
							3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事				※				
							4. 同上一次側電気配管配線工事				※				
							5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置				※				
							6. 同上一次側電気配管配線工事				※				
							7. ガス漏れ警報設備				※				

項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項
1 基礎	※ 直接基礎 (・ 地盤改良 (・ 表層改良 ・ 柱状改良)) 設計地耐力 KN/m ² ・ 杭基礎	5 場所打ちコンクリート地盤	施工管理技術者 ※適用する (4.5.2) 寸法等 (4.5.1~7)	7 コンクリートの材料	セメント セメントの種類 使用部位 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	6 ターンバックル	鋼の種類 ※割切式 (7.2.6) ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト
2 試験及び報告書	試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による (4.2.2) 杭の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による (4.2.3) 地盤の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による (4.2.4)	6 場所打ちコンクリート地盤	材料 コンクリートの種類 ・ A種 ※B種 ・ 評定等の内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm ² 以上 構造体強度補正值 ・ 3N/mm ² ・ 構造図による ・ 評定等の内容による セメントの種類 ※高炉セメントB種 スランプ値 ※18cm 鉄筋の種類 ※5章鉄筋工事の鉄筋の種類による 鋼管巻きの材料 ・ SKK400 ・ SKK490 鋼管径・板厚・長さ ※構造図による 掘削工法 ・ アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・ 使用しない) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (孔内の水強 ・ 行う ・ 行わない) 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・ SKK00 ・ SKK490 (・) ・ 底底杭工法 (安定液 ※使用する ・ 使用しない) 孔壁測定 ※行う 測定方法 ※超音波測定器 測定場所 ※試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 行わない 鉄筋ごとの補強 ・ 標準仕様書4.5.4(1)(f)(g)による ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm 鉄筋の重ね継手長さ、主筋の基礎底盤への定着長さ ※構造図による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による	8 コンクリート製造工場の選定	※ レディミクストコンクリート工場の選定は、監督員の承諾を受ける。 (6.4.1)	7 デッキプレート	鋼の種類 ※割切式 (7.2.6) ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト
3 既製コンクリート杭地盤	施工管理技術者 ※適用する (4.3.2) 種類 (4.3.1~8) ・ 適心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 寸法、継手、性能等	7 捨コンクリート地盤	厚さ (mm) ※ 60 (100、625~700) (4.6.3) 材料 ・ 直接基礎 ※ 切込砂利又は切込砕石 (4.6.2) ・ その他 ※ 再生クラッシュラン	9 強度	構造体強度補正值 S (N/mm ²) 適用箇所 ※建物本体 (6.3.2)(表6.3.2)	8 柱底均しモルタル	材 料 ・ モルタル ・ 無収縮モルタル (表7.2.5) (7.2.9) 工 法 ※A種 ・ B種 (表7.10.2)
	先端部材形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 なお、特定埋込杭工法における杭材はJIS又は認定条件に適合するものとする ネガティブフリクション対策 ※不要 ・ 要 (構造図による) ・ アーク溶接継手 ・ 標準仕様書4.3.6による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 切断しない ・ 切断する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	8 床下防湿層	厚さ (mm) ※ 50 (4.6.4) ・ ポリエチレンフィルム 厚 ※ 0.15mm以上 (4.6.5)	10 雪中コンクリート	※ 日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合 (6.12.1~6.12.4) 構造体強度補正值 S (N/mm ²) 6.0 N/mm ²	9 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.12)(表7.6.2~7.6.3) ※行う ・ 行わない 工場溶接の場合 A O Q L ※4.0% ・ 2.5% 検査基準 ※第6水準
	杭の継手 ・ アーク溶接継手 ・ 標準仕様書4.3.6による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 切断しない ・ 切断する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	9 断熱材	※ 19章「内装工事」9項「断熱材」による	11 寒中コンクリート	適用期間 () (6.11.1~6.11.6)	10 鋼止め塗装	工事現場溶接の場合 ※ 全ての溶接部 鉄面 ○ JIS K5674 工場 2 回塗り 現場 1 回塗り (7.8.1~7.8.4) ・ JIS K5551、5552 工場 回塗り 現場 回塗り (18.7.2) 亜鉛めっき面 ※18章 塗装工事による 耐火被覆材の接着面 ・ 行う ・ 行わない (7.8.2)
	杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による	10 鉄筋の種類	鉄筋 (表5.2.1)	12 コンクリートの強度試験	※ (表6.9.2)による (6.9.1~6.9.5)	11 耐火被覆	種別及び性能 (7.9.1~7.9.9)
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	11 鋼杭地盤	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・ SKK400 ・ SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	13 外部に面するコンクリート打直し仕上	※ 打増厚さ () (6.8.2)	12 溶融亜鉛めっき工法	種 別 ※ A種 (軽量形鋼は板厚によりB種・C種とする。) (7.12.4) 表14.2.2
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	12 鉄骨工事	1 鉄筋の種類	14 型枠のせき板	※ 合板 (12mm) ・ 合板 (15mm) (6.8.2) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (実績等の資料を提出) ・ メッシュ型枠 () ・ 断熱材用型枠 (25mm以下かつ熱抵抗値1m ² /Kcal以上) ・ MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)	13 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	摩擦面の処理 詳細は鉄骨工事仕様書による (7.12.5) ・ リン酸塩処理 ※ プラスト処理
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	2 溶接金網	網目の形状、寸法及び径 (mm) (5.2.2) 施工場所 ()	15 マスコンクリート	セメントの種類 () (6.13.2) 混和材料 () 適用箇所 ()		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	3 柱・梁の鉄筋の継手	・ ガス圧接 (SD295は不可) ○ 重ね継手 () (5.3.4) ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 (5.4.2) 継手位置 ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 図示による ※ 鉄筋工事仕様書による ・ 各部配筋参考図7.1 ・ 図示による	16 水密コンクリート	水セメント比 (/wt) スランプ (cm) 適用箇所 ※50 ・ ※15 ()		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	4 梁貫通孔補強	※ 鉄筋工事仕様書による ・ 各部配筋参考図7.1 ・ 図示による	17 打継部	止水板 止水ゴムの製造所 () 適用箇所 () 打継ぎ地盤 ※ 図示による 打継ぎ位置 ※ 標準による		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	5 圧接完了後の検査	検査方法 ※ 超音波探傷試験 (5.4.10) ・ 引張試験 ・ 組み立ての形はS P形とする。 (鉄筋工事仕様書)	18 無筋コンクリート	適用箇所 ※ 6.14.1による (6.14.1) 粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) (6.14.2) ※ 25mm以下 コンクリートの品質 (6.14.1)		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	6 柱の帯筋	・ 組み立ての形はS P形とする。 (鉄筋工事仕様書)	19 流動化コンクリート	・ 適用 () (6.15.1)		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	10 コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	20 鉄骨製作工場及び施工管理技術者	鉄骨製作工場 ・ 次表による加工能力のある工場 ○ 監督員の承諾する工場 (7.1.3~4) 製作工場の加工能力		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	11 コンクリートの種類	※ I 類 ・ II 類 (6.2.1)(表6.2.1)	21 鋼材	(7.2.1)(表7.2.1)		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	12 水セメント比	○ 65% (6.3.2) (6.3.2)	22 高力ボルト	・ トルシア形高力ボルト (セツトの種類 ※ 2種 (S10T)) (7.2.2) ・ JIS形高力ボルト (セツトの種類 ※ 2種 (F10T)) () ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (セツトの種類 ※ 1種 (F8T相当)) () ボルト径 ※ 図示による		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	13 コンクリート中の塩化物量	※ 0.30kg/m ³ 以下 (6.3.2)	23 普通ボルト	ボルト及びナットの材料等 ※ 表7.2.3による (7.2.3) ボルト径 ※ 図示による		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	14 アルカリ総量	○ アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート中の総アルカリ量を3.0kg/m ³ 以下とする。 (6.5.4)	24 アンカーボルトの材質及び設置	材質 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ・ ABR520 SUS (7.2.4)(7.10.3) 建方用アンカーボルト ・ S400 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 (表7.10.1) ※ 図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A種 ※ B種 ・ その他		
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	15 打直し仕上の種類	打直し仕上の種類 (6.2.5)(表6.2.3)				
	杭の現場継手 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 構造図による ・ 機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) ()	16 合板せき板を使用する場合	種 別 せき板の種類 表面・せき板の程度 適用箇所 ・ A種 JAS (表面加工品) 表6.2.4 ※ 図示 ・ B種 JAS B-C 表6.2.4 ・ C種 JAS B-C 表6.2.4				

鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁設備部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

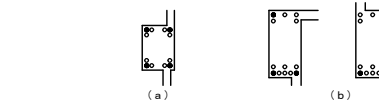
鉄筋の折曲げ基準

Table with columns for bending angle (折曲げ角度), bending diagram (折曲げ図), and bending method diameter (折曲げ内法直径(D)). It specifies standards for 180°, 135°, 90°, and 135°/90° bends.

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

異形鉄筋のフック

- 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。
7) 柱の四隅にある主筋の重ね継手（下図(a)の●印で示す鉄筋）
イ) 最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着（下図(a)の●印で示す鉄筋）
ウ) 梁の出隅及び下端の両隅にある梁主筋の重ね継手（基礎梁を除く。）



鉄筋の継手及び定着

1. 鉄筋の継手

- 鉄筋の重ね継手は、次による。原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継ぎ手を用いない。
7) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継ぎ手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継ぎ手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は下表の重ね継ぎ手の長さのうちいずれか大きい値とする。

Table showing lap length (鉄筋の重ね継ぎ手の長さ) for different concrete types and reinforcement grades. Columns include reinforcement type, concrete design strength, and lap length for various conditions.

(注) 1. L1, L2, L3: 重ね継ぎ手の長さ及びフックありの重ね継ぎ手の長さ
2. L1, L2, L3: 下図に示すようにフック部分には含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

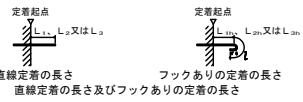


2. 鉄筋の定着

- 7) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

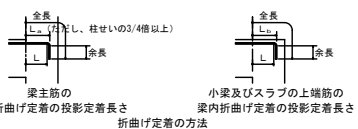
Table showing anchoring length (鉄筋の定着の長さ) for different concrete types and reinforcement grades. Columns include reinforcement type, concrete design strength, and anchoring length for various conditions.

(注) 1. L1, L2, L3: 2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
2. L2, L3: 割壊破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
3. L2: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。



1) 定着の方法

- 仕口内に縦に折曲げして定着する鉄筋の定着長さsが、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下図により、下記の条件を全て満足するものとする。
(a) 全長は、7) の直線定着の長さ以上とする。
(b) 余長は、8d以上とする。
(c) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さs1及びs2は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。



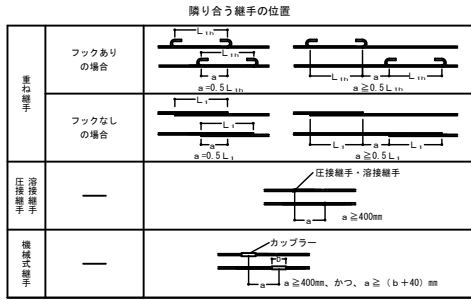
3. 鉄筋の投影定着長さ

Table showing projection anchoring length (投影定着長さ) for different reinforcement types and concrete strengths. Columns include reinforcement type, concrete design strength, and projection length for various conditions.

(注) 1. L1, L2: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持ちスラブを含む。）
2. L1, L2: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

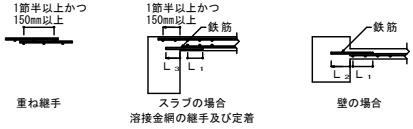
4. 隣り合う継手の位置

- 隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。なお、先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に入れる場合は、特記による。

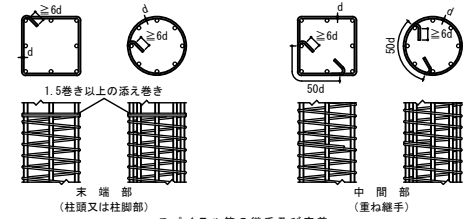


5. 溶接金網の継手及び定着

- L1, L2 は、1. イ)、L2 及び L3 は、2. 7) による。



6. スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 1. 鉄筋（溶接金網含む）の最小かぶり厚さ（mm）
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上に確保するように最小かぶり厚さを定める。

Table showing minimum cover and spacing (鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ) for different structural parts and reinforcement types.

(注) 1. 普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗料、塗料）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含めない。
4. 杭基礎の場合の基礎下筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

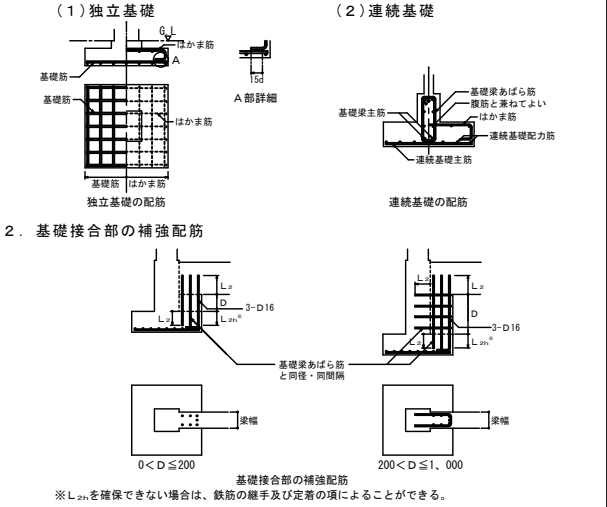
2. 鉄筋相互のあき

- 1) 次の値のうち最大のもの以上とする。
(7) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(8) 25mm
(9) 隣り合う鉄筋の径の平均の1.5倍
2) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
3) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

Table showing reinforcement notation (鉄筋の表示記号) with symbols for various reinforcement types and diameters.

基礎の配筋

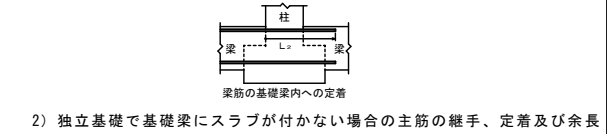
1. 直接基礎の配筋



基礎梁の配筋

1. 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

- 1) 一般事項
(7) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
(イ) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋 1. 1) (イ) による。



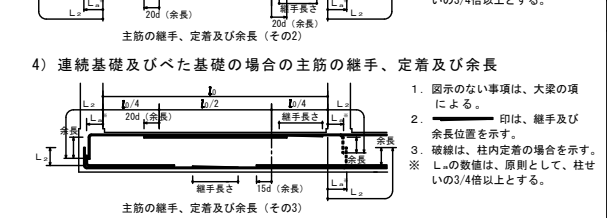
2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長



4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



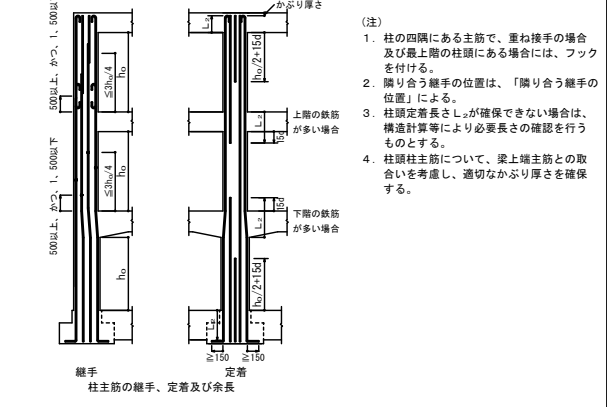
2. 基礎梁のあばら筋

- あばら筋組立の形及びフックの位置は、梁の配筋 2. 1) による。ただし、梁の上下にスラブがつく場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることができる。

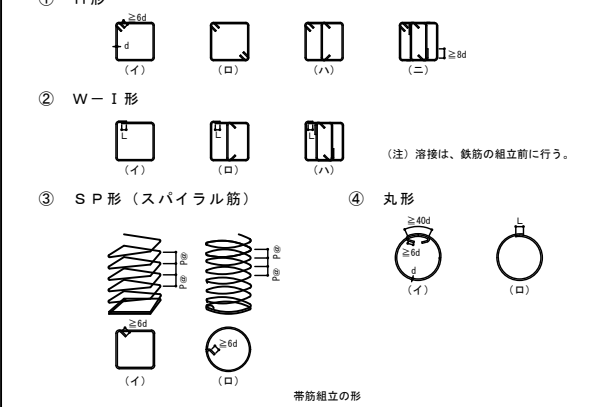


柱の配筋

1. 柱主筋の継手、定着及び余長

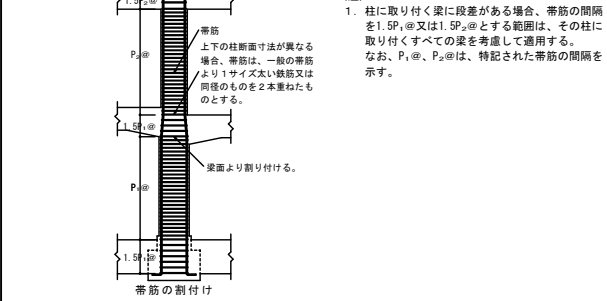


2. 帯筋組立の形及び割付け



- (1) H形を標準とする。
(2) フック及び継手の位置は、交互とする。
(3) 溶接する場合の溶接長さは、両面重ねアーク溶接の場合は5d以上、片面重ねアーク溶接の場合は10d以上とする。
(4) S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。
(5) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

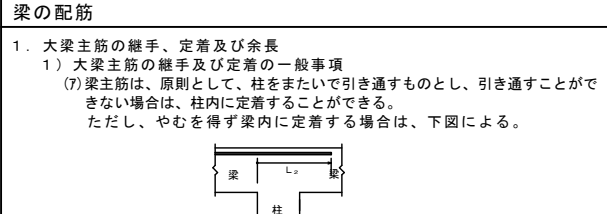
4. 柱の打ち増し補強



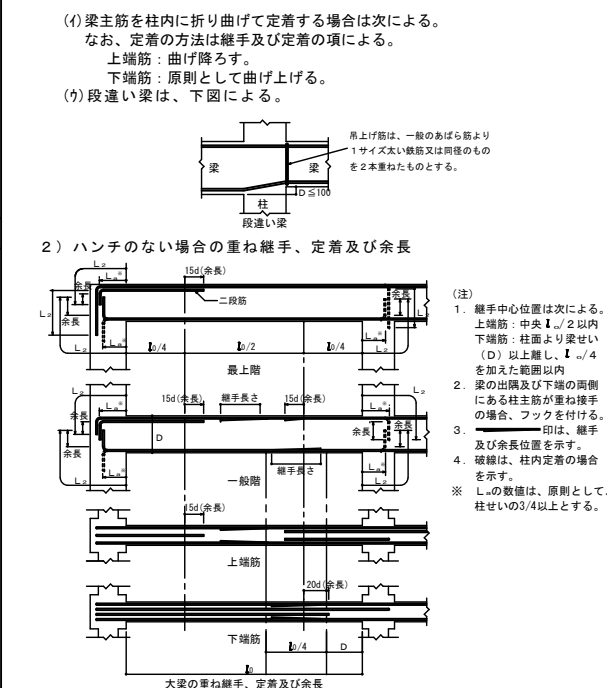
梁の配筋

1. 大梁主筋の継手、定着及び余長

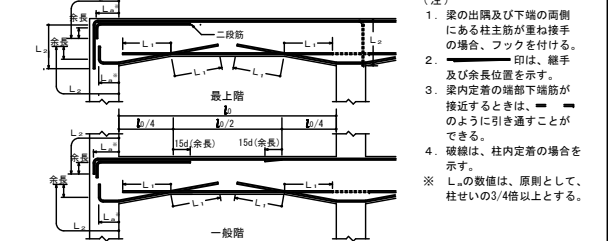
- 1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(7) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
ただし、曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
(7) 段違い梁は、下図による。



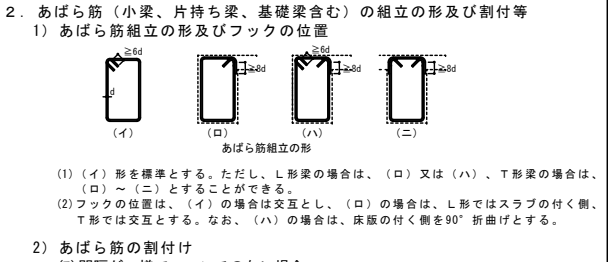
2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



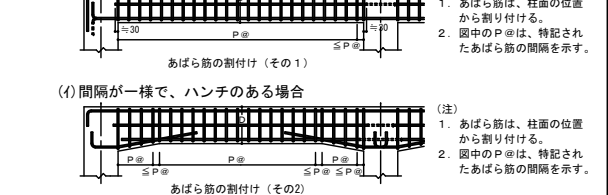
3) ハンチのある場合の定着及び余長



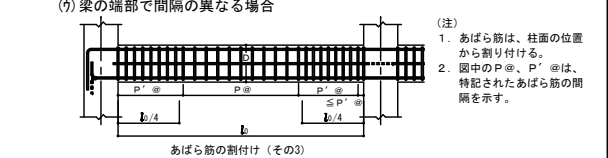
2. あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け等



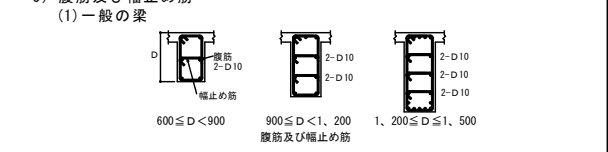
4) 間隔が一律で、ハンチのある場合



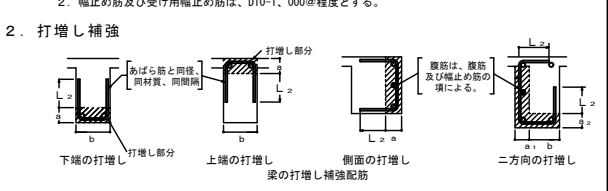
5) 梁の端部で間隔の異なる場合



3) 腹筋及び幅止め筋

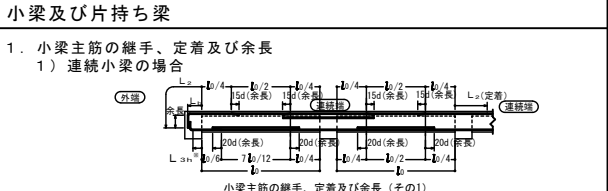


2. 打ち増し補強

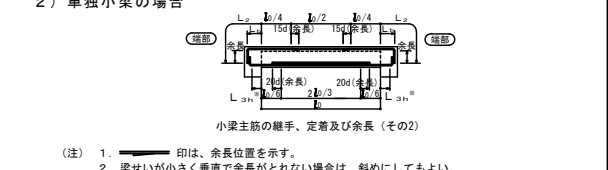


小梁及び片持ち梁

1. 小梁主筋の継手、定着及び余長



2) 単独小梁の場合



- (注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 L1/2 以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、L1/4 を加えた範囲以内
2. 梁の出隅及び下端の両側にある柱主筋が重ね手の場合、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長位置を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L1, L2 を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。



鉄筋工事仕様書 No. 2

2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合

(注)

- 印は、余長位置を示す。
- 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
- 図示のない事項は、大梁の項による。

※1. L₁の數値は、原則として、柱せい×3/4倍以上とする。

※2. L₂を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合

(注)

- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
- 先端小梁先端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

壁の基準配筋		
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-300@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	180	KA1 KA3
KW2	縦筋 D13-150@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	200	KA2 KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着

(注)

- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
- 壁配筋の重ね継手はL₁、定着長さはL₂とする。
- 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
- 原則として、柱及び梁内、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

壁の交差部及び端部の配筋

4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)				壁開口部補強筋 (B形)			
壁の種別	補強筋		壁の種別	補強筋		補強筋	
W12, W15	1-D13	1-D13	W12, W15	縦筋	斜め	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	W18, W20	4-D13	2-D13		

2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。

3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す

6. パラベットの配筋

スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

スラブの基準配筋					
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

補強筋を上端筋の下側に配置する。

2) 片持ちスラブの出隅部

(注) 1. L₁ ≥ L₂とする。 2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にL₁定着する。

7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強

(注) 基礎梁と土間スラブを一体打ちとし、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

8. 段差のあるスラブの補強

150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

2. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

2) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。

5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。)

1) スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L₁) シングルを上下筋の内側に配筋する。

2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

6. 出隅部及び入隅部の補強

1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部

2) 片持ちスラブの出隅部

7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

8. 段差のあるスラブの補強

H ≤ 70の場合 70 < H ≤ 150の場合

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

片持ちスラブ形階段の基準配筋			
配筋種別	KA 1	KA 2	配筋図
配筋図			
配筋種別	KA 3	KA 4	配筋図
配筋図			

(注)

- 壁配筋は、片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦におろす。
- スラブ配筋の継手及び定着の長さは、鉄筋の定着長さのL₂とする。

2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		

(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

2) 縦筋が土間コンクリート上に設置される場合の補強

2. 梁貫通孔の補強形式

H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし		
H 2	2-2-D13				
H 3	4-2-D13				
H 4	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13		
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13		
M 3	4-2-D13	2-6φ-100@	
M 4	6-2-D13		

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし		
MH 2	2-2-D13			
MH 3	2-2-D13			
MH 4	4-2-D13	2-6φ-100@		
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16			
MH 7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

(注) 1. 大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

3. コンクリートブロック壁との取合い

1) 控壁の配筋

控壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 縦筋が土間コンクリート上に設置される場合の補強

壁付土間コンクリートの補強配筋

鉄骨工事仕様書 No. 2

9. 溶接部の形状・寸法
Table with 3 columns: 項目 (Item), 図 (Diagram), 限界値 (Limit Value). Items include ①ダイヤフラムとフランジのずれ, ②突合せ継手の食い違い, ③アンダーカット.

10. 工作及び組立

Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 管理許容差 (Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 測定器具 (Measuring Tools). Items include ①T継手のすき間, ②重ね継手のすき間, ③突合せ継手の食い違い, etc.

11. 高力ボルト

Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 管理許容差 (Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 測定器具 (Measuring Tools). Items include ①孔の心ずれ, ②孔相互の間隔, ③孔の食い違い, etc.

12. 溶接

Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 管理許容差 (Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 測定器具 (Measuring Tools). Item: ①隅肉溶接のサイズ.

Table with 5 columns: 図 (Diagram), 0$\Delta a \le 0.4S$ / $\Delta a \le 4mm$, 0$\Delta a \le 0.6S$ / $\Delta a \le 6mm$, 溶接ゲージ (Welding Gauge). Items include ②隅肉溶接の余盛の高さ, ③完全溶込み溶接, ④完全溶込み溶接, etc.

13. 溶接継手の種類別開先標準

Table with 4 columns: 図 (Diagram), H (被覆アーク溶接, ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接), A (サブマージアーク自動溶接). Items include ①突合せ継手 (1) 突合せ継手 (B) の開先標準.

Table with 4 columns: 図 (Diagram), H (被覆アーク溶接, ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接), A (サブマージアーク自動溶接). Items include ②T形継手 (T) の開先標準.

③かど継手 (L) の開先標準

Table with 4 columns: 図 (Diagram), H (被覆アーク溶接, ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接), A (サブマージアーク自動溶接). Item: ③かど継手 (L) の開先標準.

2. 隅肉溶接

Table with 4 columns: 図 (Diagram), H (被覆アーク溶接, ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接), A (サブマージアーク自動溶接). Item: (1) 隅肉溶接 (F) の開先標準.

(2) 隅肉溶接のサイズ

Table with 2 columns: 図 (Diagram), 図表 (Diagram Table) showing dimensions for corner weld sizes.

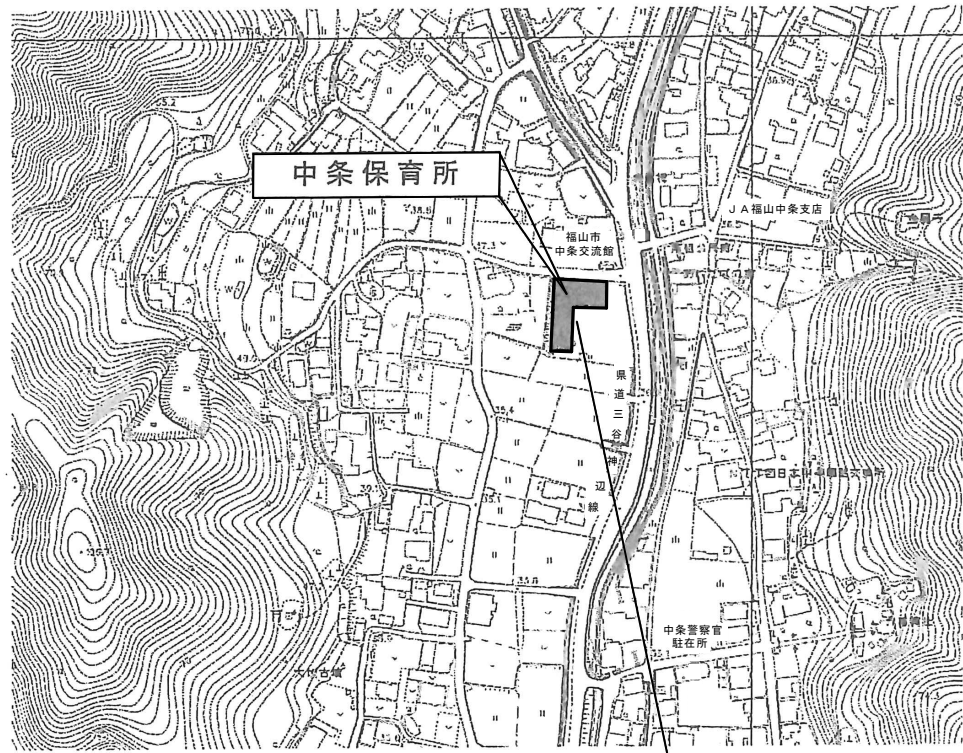
14. 鉄骨工事精度

Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 製作管理許容差 (Manufacturing Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 備考 (Remarks). Items include ①梁の長さ, ②柱の長さ, ③階高.

Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 製作管理許容差 (Manufacturing Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 備考 (Remarks). Items include ④梁の曲り, ⑤柱の曲り, ⑥せい, ⑦幅, ⑧溶接組立, etc.

2. 工事現場

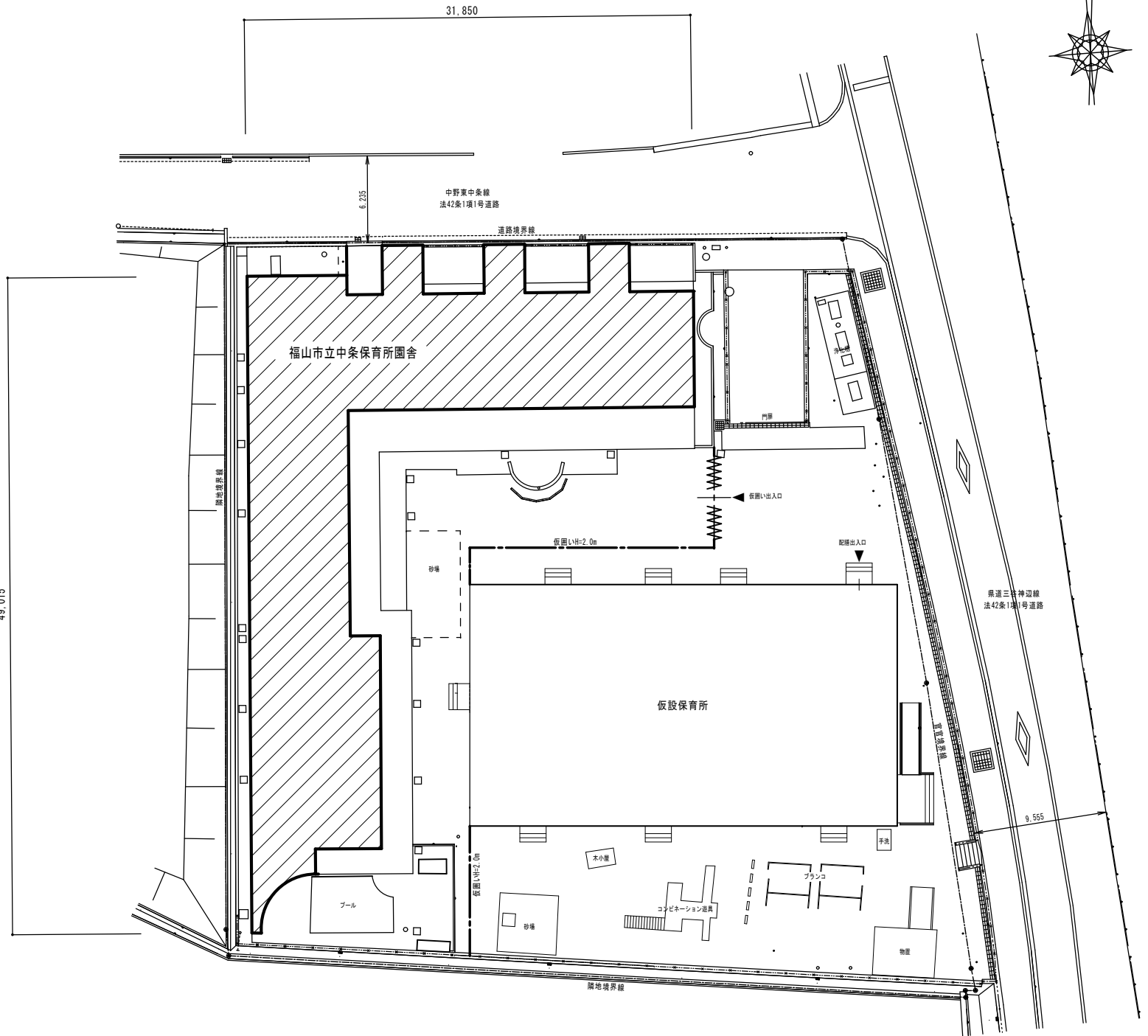
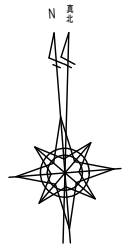
Table with 5 columns: 名称 (Name), 図 (Diagram), 製作管理許容差 (Manufacturing Management Allowance), 限界許容差 (Limit Allowance), 備考 (Remarks). Items include ①建物の倒れ, ②建物のわん曲, ③アンカーボルトの位置のずれ, etc.



工事場所：福山市神辺町字東中条32番地

附近見取図

建物概要		
用途	保育所（園舎棟）	
構造	鉄筋コンクリート造	
階数	平家建て	
建築年度	1981年（S40）	
規模	敷地面積	2,597.59 m ²
	建築面積	730.62 m ²
	延床面積	729.31 m ²



配置図 S=1:200

凡例	
	仮囲い（成形鋼板）H=2.0m（31.0m）
	キャスターゲート W6.0m×H2.0m

- 仮設工事特記事項
1. 工事車両出入口は、原則として門とする。
 2. 工事車両出入口：キャスターゲート程度とする。
 3. 保育所の園児の移動が集中する時間帯（登園時等）は、重機・資材の搬入を避ける。
 4. 車両通行部は地均し復旧を行う。
 5. 仮設図に記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
 6. 仮設計画は、関係部署及び監督員と十分協議し承諾を得ること。

変更年月日・変更事項



福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町2丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000

1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士
(登録183507号) (登録7233号) (登録2832号)

高橋啓之

工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事

図面名称 付近見取図・面積表・配置図

図面番号 A-01

縮尺 1:200

設計年月 2024年1月

■ 外部仕上表				■ 開放廊下仕上表				■ 中廊下仕上表				■ ポーチ底(一部新設)			
屋根	既存	折板葺き屋根	建具	既存	アルミサッシ	床	既存	ノンスリップ床シートt=2.5 撤去	床	既存	ノンスリップ床シートt=2.5 撤去	屋根	ポリカーボネート屋根 t=1.0 (スレート小波) 張替とし、一部新設とする 水切り部: t=1.0 鋼板 t=0.4加工 既存鉄部: ケレン後 (RB種) 錆止 (JIS K5625)の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り 新設鉄部: 錆止 (JIS K5625)の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り 軒種: 角型カラ- 前高130型(SUS受金物)…既存の軒種へ接続		
	改修	現状のまま		改修	現状のまま 網戸: 張替え及び調整		改修	下地調整後、防滑性複層ビニル床シート貼りt=2.5		改修	下地調整後、防滑性複層ビニル床シート貼りt=2.5				
軒裏	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	雨水樹蓋	既存	チェッカープレート	巾木	既存	樹脂モルタル塗り	巾木	既存	木製 H=100	■ プール(新設)	プール		
	改修	現状のまま		改修	ケレン後 (RB種) 錆止 (JIS K5625)の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り 650x650-2ヶ所 500x500-16ヶ所 ア-8廻り 500x500-1ヶ所 (とい用孔開)		改修	現状のまま		改修	下地処理の上 SOP塗		幼児用FRPプール 3600x6300 <FKC36・63 (横排水タイプ) ナック・ケイ・エス株式会社 同等品> ノンスリップシート張り (タキストロン タフスリップタイプM同等品) プール内部: SUS手摺撤去、砂吹き乾圧 H=600 砂利敷きt=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120ｽﾌﾟﾗｰへ 既存部: ノンスリップシート張替え 既存手洗: プール専用塗装 一部壁と改修 VP100 (既存雨水樹へ接続) 新設プールサイド立上: コンクリート打放し プール専用塗装 日除けネット張替え ターボスクリーンネット #1004 (平岡織物株式会社 同等品) SUSワイヤー8φ (リング50φ@450) SUSタンバケル付 SUSリングボルトM16 既存ポール一部撤去し ケレン後 (RB種) 錆止 (JIS K5625)の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り		
外壁	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	開放廊下 (保育室) 建具改修部	既存	木製建具 (木枠共) 撤去	天井	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	天井	既存	石膏ボード 撤去 CH=2.700	■ プール(新設)	プール		
	改修	現状のまま		改修	新設アルミサッシ (建具廻り取合い部仕上補修)		改修	現状のまま		改修	美装		改修	珪酸カルシウム板 t=6x910x910 EP-G塗装 (2回) 天井廻り縁: 塩ビ新設	
巾木	既存	樹脂モルタル塗り	開放廊下 (保育室) 建具改修部	既存	木製建具 (木枠共) 撤去	天井	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	天井	既存	石膏ボード 撤去 CH=2.700	■ プール(新設)	プール		
	改修	現状のまま		改修	新設アルミサッシ (建具廻り取合い部仕上補修)		改修	現状のまま		改修	珪酸カルシウム板 t=6x910x910 EP-G塗装 (2回) 天井廻り縁: 塩ビ新設				
ポーチ	既存	タイル張り	開放廊下 (保育室) 建具改修部	既存	木製建具 (木枠共) 撤去	天井	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	天井	既存	石膏ボード 撤去 CH=2.700	■ プール(新設)	プール		
	改修	現状のまま		改修	新設アルミサッシ (建具廻り取合い部仕上補修)		改修	現状のまま		改修	珪酸カルシウム板 t=6x910x910 EP-G塗装 (2回) 天井廻り縁: 塩ビ新設				
				既存	木製建具 (木枠共) 撤去	天井	既存	複層塗材E吹付 (アクリル系)	天井	既存	石膏ボード 撤去 CH=2.700	■ プール(新設)	プール		
				改修	新設アルミサッシ (建具廻り取合い部仕上補修)		改修	現状のまま		改修	珪酸カルシウム板 t=6x910x910 EP-G塗装 (2回) 天井廻り縁: 塩ビ新設				

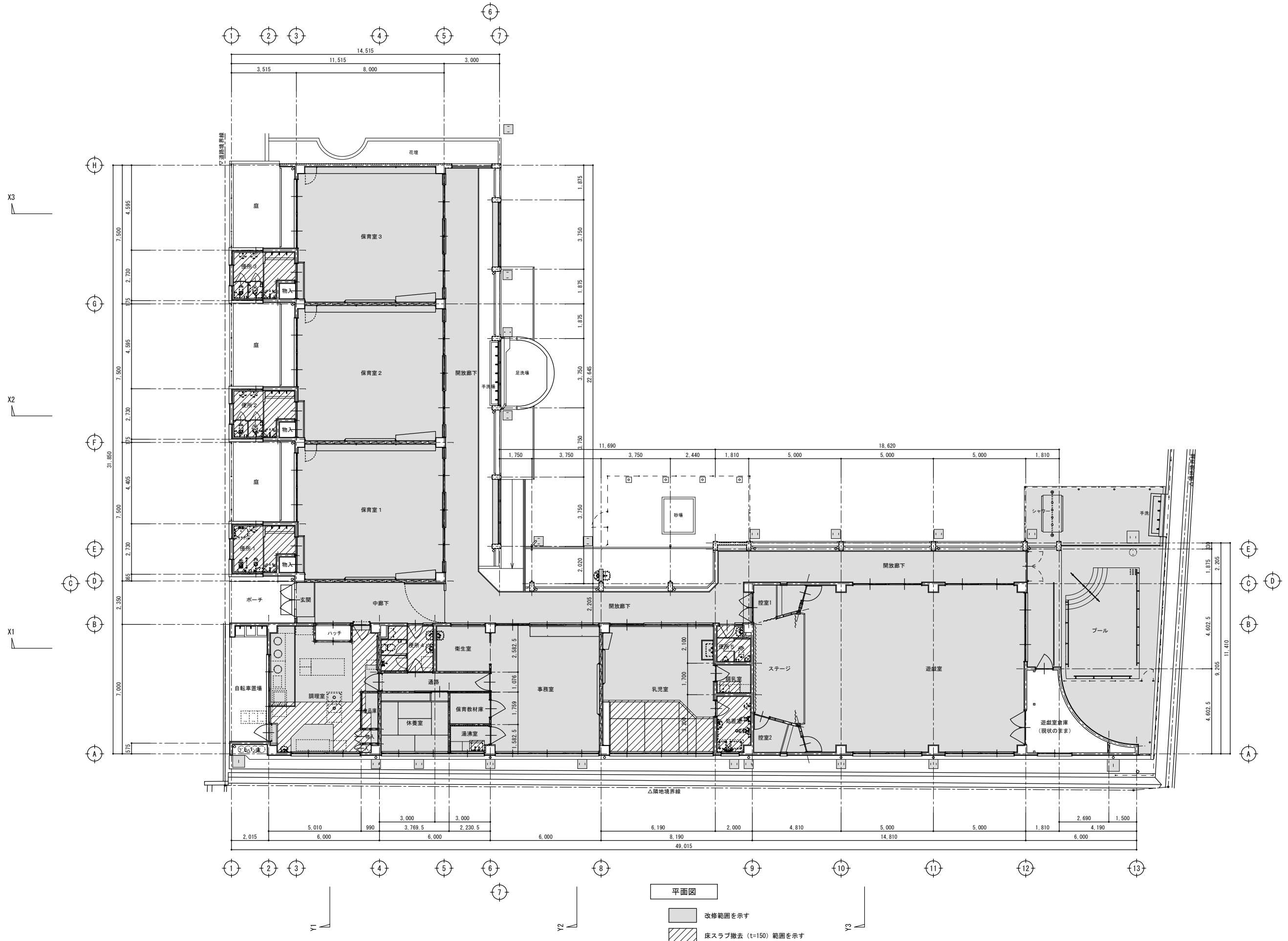
防火材料認定番号	
〔不燃材〕	せつこうボード t=12.5 NM-8619 強化せつこうボード t=12.5 NM-8615 耐火せつこうボード t=12.5 NM-9639 化粧せつこうボード t=12.5 NM-0128 耐火せつこうボード t=9.5 NM-9645 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 (調湿機能付) NM-8577 化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 NM-8579 けい酸カルシウム板 t=6.0 NM-8578
〔準不燃材〕	せつこうボード t=9.5 OM-9828 耐火せつこうボード t=9.5 OM-9826 化粧せつこうボード t=9.5 (トラバーチン) OM-9824 化粧せつこうボード t=9.5 (トラバーチン) OM-9822 板羽目板 t=12 OM-0529
〔壁塗料系〕	無機質ウロス 不燃 NM-0457 不燃材料 NM-9446 不燃材料 NM-8585 準不燃材料 OM-9816
〔塗料〕	

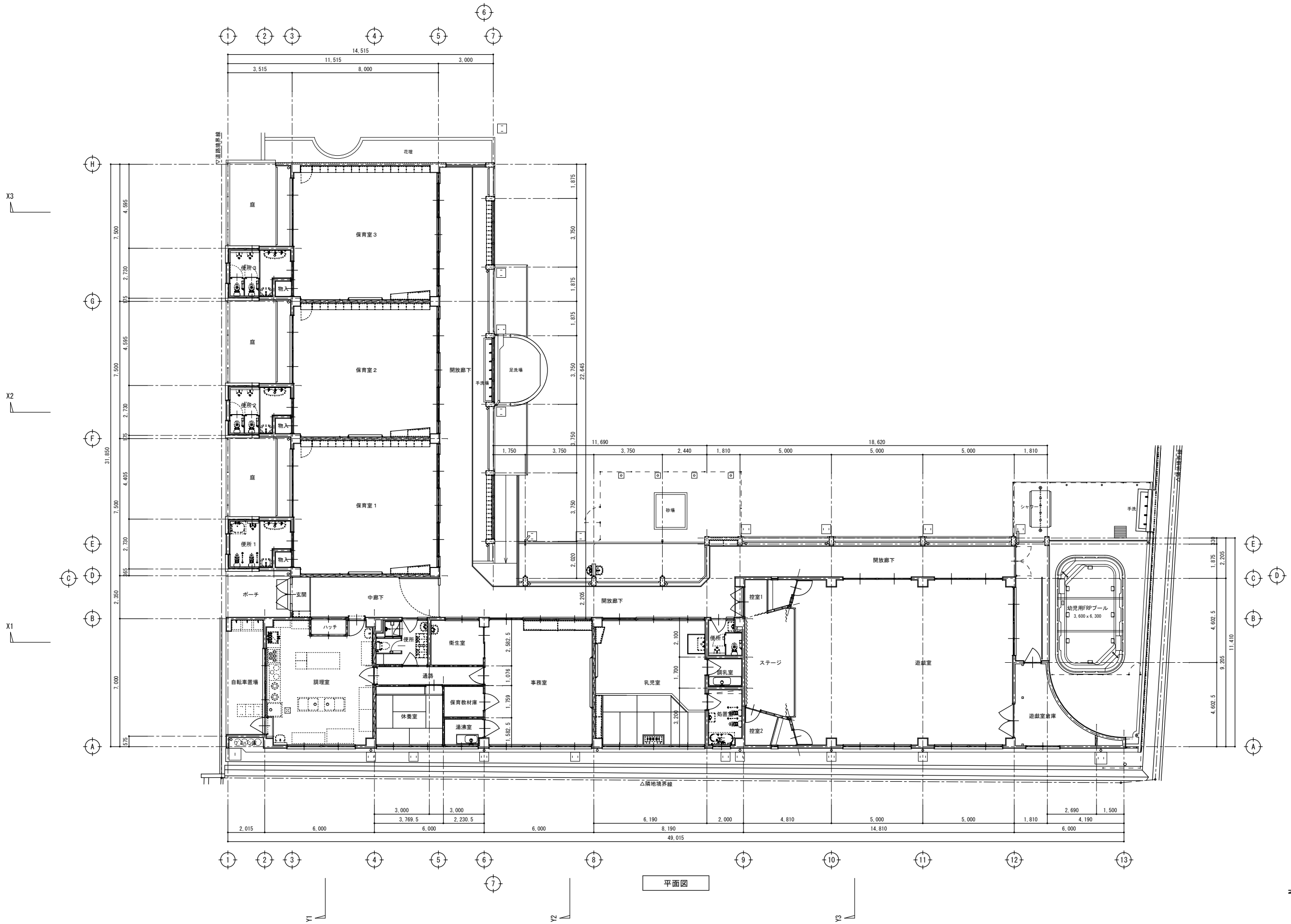
■ 内部仕上表 一部構造改修 グレーチング蓋

階	室名	床	巾木	壁 (塗装範囲はﾌﾗｲﾄﾞ処理を施す)	天井	廻り縁	備考	
1	保育室 (1~3)	既存	化粧ブライフローリング12mm 現状のまま 一部ビニル床シート(便所入口)撤去	木製 H=100	モルタル金網(梁型含む) EP	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去 梁型: PB t=9.5 EP	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去 ホワイトボード (1800x900、900x900) 撤去 黒板 (2700x1200) 撤去 ロッカー 撤去
		改修	下地調整後、ﾌｯﾄ合板t=5.5(網釘併用) 発泡複層ビニル床シート貼り t=2.8	下地処理の上 SOP塗	モルタル金網(梁型含む) 下地調整後 EP-G塗装 (2回) 新設アルミサッシ部: 建具廻り取合い部仕上補修	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910 梁型: PB t=9.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	塩ビ新設 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 SOP塗装
	便所 (1~3)	既存	手洗前: 土間コン、ビニル床シート及びSUS種 撤去 便所: 土間コン、モザイクタイル 撤去	――	100角タイル 撤去	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	手洗前: 土間コン、ビニル床シート及びSUS種 撤去 便所: 土間コン、モザイクタイル 撤去
		改修	手洗前: ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 発泡複層ビニル床シート貼りt=2.8 便所: ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 複層ビニル床シートt=2.0貼り (消臭、抗菌) 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	床シート立上げ H=100 (ﾌﾙ立上見切)ｽｲｯﾁ	既存下地調整後 キッチンパネル t=3 (目地: アルミT型ジョイナー)	珪酸カルシウム板 t=6x910x1820 EP-G塗装 (2回) (目地: 変性シリコン、防カビ)	2,700 2,750	塩ビ新設 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 SOP塗装
	乳児室	既存	化粧ブライフローリング12mm 撤去 畳敷 (8.5畳) 範囲の土間が撤去	木製 H=100	モルタル金網 EP	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去 ホワイトボード (1800x900) 撤去 黒板 (1800x1200) 撤去
		改修	下地調整後(ﾙﾝﾌﾞﾙｸﾞ t=10 ｷﾞﾗｽ)発泡複層ビニル床シート貼りt=2.8 畳敷範囲: ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 複層ビニル床シートt=2.0貼り (消臭、抗菌) 手洗前: ｺﾙｸﾀｲﾙ t=4 張り 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	下地処理の上 SOP塗	クッションボード貼り美装	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	塩ビ新設 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 SOP塗装
	調乳室	既存	土間ｺﾝ(一部) 及び ビニル床シート 撤去	――	100角タイル 撤去	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去 ホワイトボード (1800x900) 撤去 黒板 (1800x1200) 撤去
		改修	一部ｺﾝｸﾘｰﾄ打、下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	ビニル巾木 H=100	既存下地調整後 キッチンパネル t=3 (目地: アルミT型ジョイナー)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設
	処置室	既存	土間ｺﾝ及びモザイクタイル 撤去	――	100角タイル 撤去	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 複層ビニル床シートt=2.0貼り (消臭、抗菌) 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	床シート立上げ H=100 (ﾌﾙ立上見切)	腰(窓下): 100角タイル貼り 上部壁: モルタル金網ｷﾞﾗｽ EP-G塗装(2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設
	事務室	既存	ビニル床シート 撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回) モルタル範囲は下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 SOP塗装
	衛生室	既存	ビニル床シート 撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回) モルタル金網(柱型) 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 SOP塗装
	湯沸室	既存	土間ｺﾝ(一部) 及び ビニル床シート 撤去	――	100角タイル 撤去 (一部軽量間仕切ﾌﾞﾗﾝｸﾞﾙﾝｸﾞﾙﾝｸﾞ下地)	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	一部ｺﾝｸﾘｰﾄ打、下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	ビニル巾木 H=100	既存下地調整後 キッチンパネル t=3 (目地: アルミT型ジョイナー)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設
	保育教材庫	既存	ビニル床シート 撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設
	調理室	既存	土間ｺﾝ(一部)、ビニル床シート及びﾌﾞﾗｰﾘﾝｸﾞ、SUS見切等 撤去	木製 H=100	腰: 100角タイル張り H=1,200 モルタル金網ｷﾞﾗｽ EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 防滑性複層ビニル床シートt=2.5 勝手口ﾌﾗﾝｸﾞ美装 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	下地処理の上 SOP塗	腰: 100角タイル張り H=1,200 美装 モルタル金網範囲(梁・柱梁型): 下地処理後EP-G塗装 (2回) ﾀｲﾙ頂部の木製見切: 下地処理後SOP塗装 (2回) ﾙﾝﾌﾞﾙｸﾞﾙﾝｸﾞ 撤去後 モルタル金網ｷﾞﾗｽ EP-G塗装 (2回)	珪酸カルシウム板 t=6x910x1820 EP-G塗装 (2回) (目地: 変性シリコン、防カビ)	2,950	塩ビ新設
	食品庫・物入(家具)	既存	土間ｺﾝ(一部)、ビニル床シート及びﾌﾞﾗｰﾘﾝｸﾞ 撤去	――	食品庫・物入 撤去	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 防滑性複層ビニル床シートt=2.5 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	――	モルタル金網ｷﾞﾗｽ EP-G塗装 (2回)	珪酸カルシウム板 t=6x910x1820 EP-G塗装 (2回) (目地: 変性シリコン、防カビ)	2,950	塩ビ新設
	通路	既存	ビニル床シート 撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	化粧石膏ボード t=9.5x910x910	2,700	塩ビ新設
	休養室	既存	踏込ビニル床シート撤去、畳 (6畳)	畳寄せ	PB t=12.5下地 ジュラク系クロス貼替	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼り t=2.0 畳表ノミ張替へ (6畳)	美装	PB t=12.5下地調整後 ジュラク系クロス貼	石膏ボード t=9.5下地 ビニルクロス貼り	2,400	木廻り縁 現状のまま 木製 撤去 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 CL塗装
	遊戯室	既存	ビニル床シート 撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	下地調整後、複層ビニル床シート貼りt=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	石膏ボード 撤去 一部有孔石膏ボード 現状のまま	4,000 (3,700)	木製 既存ｶｰﾌﾟﾝｸﾞｽﾞ 下地処理の上 CL塗装
	ステージ (ｽﾃｰｼﾞ横控室)	既存	フローリング現状のまま 控室踏込: 一部ビニル床シート撤去	木製 H=100	石膏ボード t=12.5 EP	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ステージ: 下地調整後、複層ビニル床シート貼り t=2.0 踏込: 下地調整後、複層ビニル床シート貼り t=2.0	下地処理の上 SOP塗	石膏ボード t=12.5 下地調整後 EP-G塗装 (2回) モルタル範囲は下地調整後 EP-G塗装 (2回)	石膏ボード 現状のまま 既存 下地調整後 EP-G塗装 (2回)	3,700 (2.4~2.7)	――
	遊戯室倉庫	既存	モルタル金網仕上	木製 H=100	コンクリート打放し	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	現状のまま	現状のまま	現状のまま	石膏ボード 撤去	4,000	――
	便所 4	既存	土間ｺﾝ及びモザイクタイル 撤去	――	100角タイル張り	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 複層ビニル床シートt=2.0貼り (消臭、抗菌) 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	新設間仕切部: 巾木 H=100	100角タイル張り 美装 新設間仕切部: L655 耐水石膏ボード t=12.5下地 ｷｰﾌﾟﾝｸﾞﾙﾝｸﾞ t=3張り (目地: ｱﾙﾐT型ｼﾞｮｲﾅｰ)	珪酸カルシウム板 t=6x910x1820 EP-G塗装 (2回) (目地: 変性シリコン、防カビ)	2,700	塩ビ新設
	便所 5	既存	土間ｺﾝ及びモザイクタイル 撤去	――	100角タイル張り	石膏ボード 撤去	石膏ボード 撤去	掲示板: ラウンベニヤ t=4 及び ナイロンスポンジシート t=2.0 撤去
		改修	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 t=150 金網仕上 複層ビニル床シートt=2.0貼り (消臭、抗菌) 周囲定着鉄筋無し (D13-D10-#2009ﾌ33w)	――	100角タイル張り 美装	珪酸カルシウム板 t=6x910x1820 EP-G塗装 (2回) (目地: 変性シリコン、防カビ)	2,700	塩ビ新設

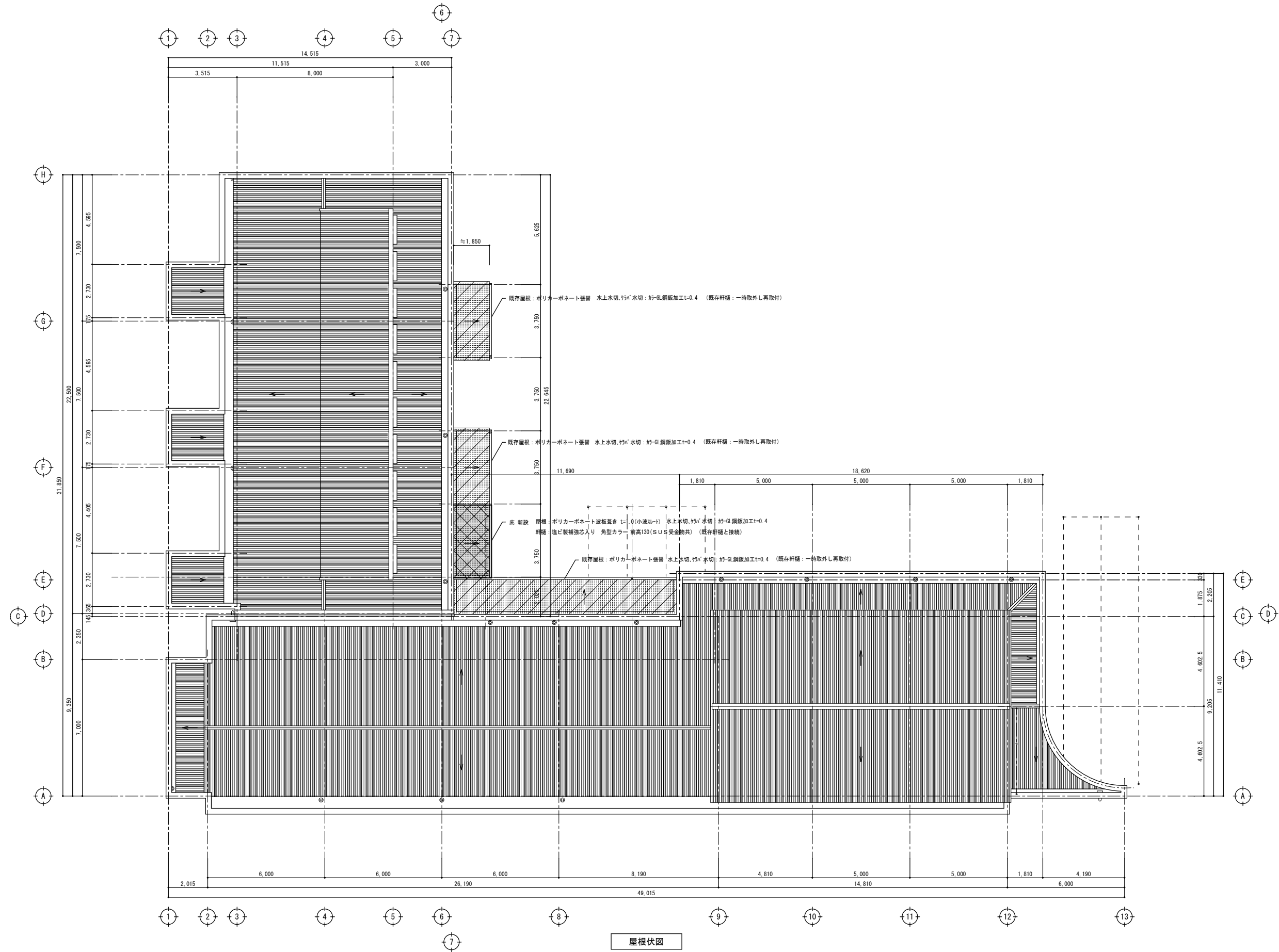
<特記事項> 各室のカーテンボックス、建具廻り及び木製見切りは全て 下地処理の上 SOP2回塗仕上とする。
 各室のカーテン、カーテンレールは撤去とする。
 保育室1~3 開放廊下側のカーテンは本工事とする。

※ アスベスト含有材
 便所、処置室、調乳室、湯沸室、石綿ｷﾞﾗｽ板 休養室: 化粧石膏ボード (ﾗﾐﾓﾝ)



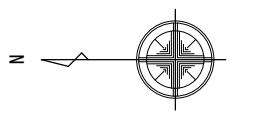


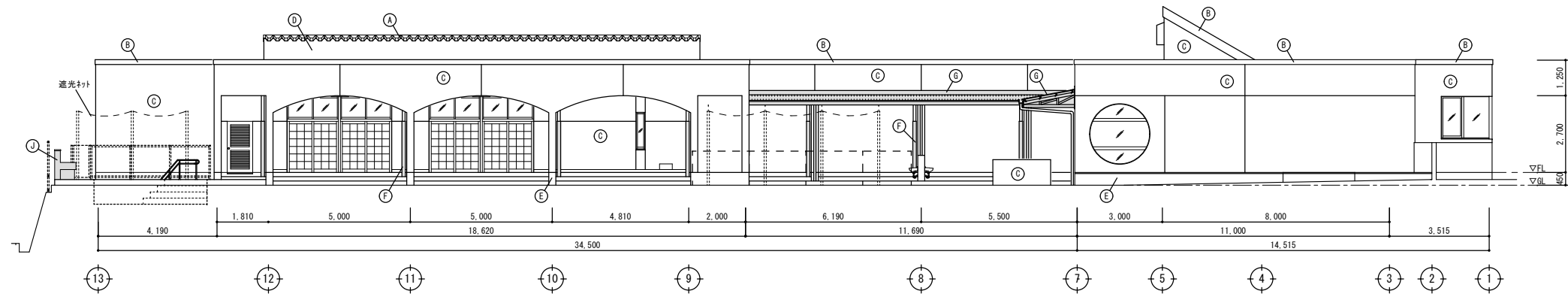
平面図



屋根伏図

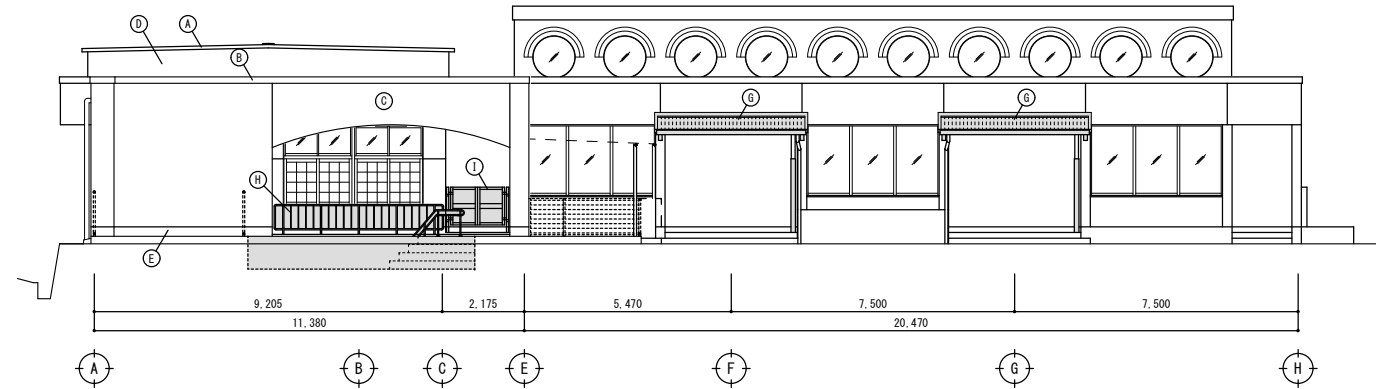
(凡例) 改修範囲
 新設範囲



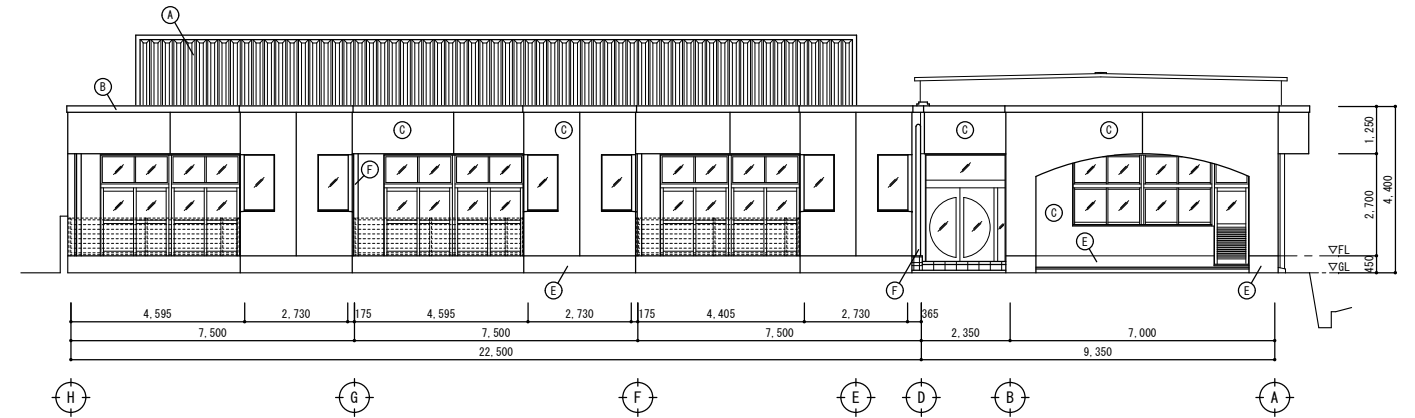


東面立面図

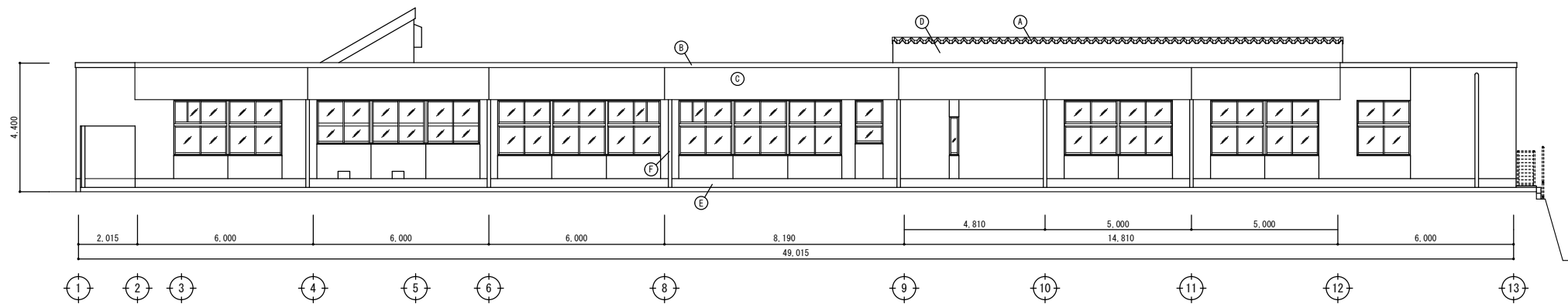
符号	仕上
(A)	屋根: カラーガルバリウム鋼板 折板葺き
(B)	笠木: カラーガルバリウム鋼板
(C)	外壁: 複層塗材E (779系)
(D)	外壁: カラーガルバリウム鋼板
(E)	巾木: 樹脂モルタル塗り
(F)	床: VP100(特) (廊下: 養生管 H2,000 SOP塗装)
(G)	庇: 6"リ-キ-ネット波板葺き/鉄部: SOP塗装 (梁・母屋等)
(H)	手摺欄: SOP塗装 (ア-キッド)
(I)	フェンス門扉: SOP塗装 (ア-キ入口)
(J)	手洗い場: ア-キ専用塗装 (ア-キッド)
改修範囲を示す	



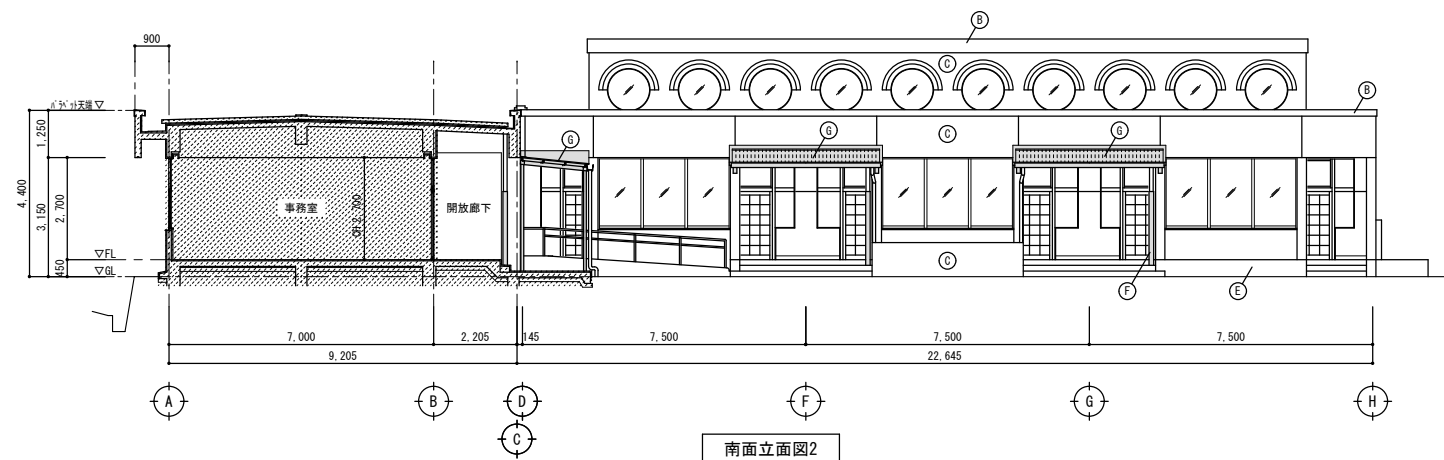
南面立面図1



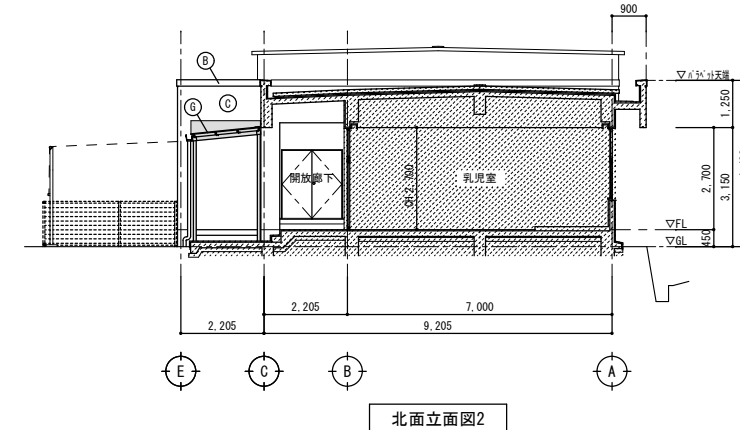
北面立面図1



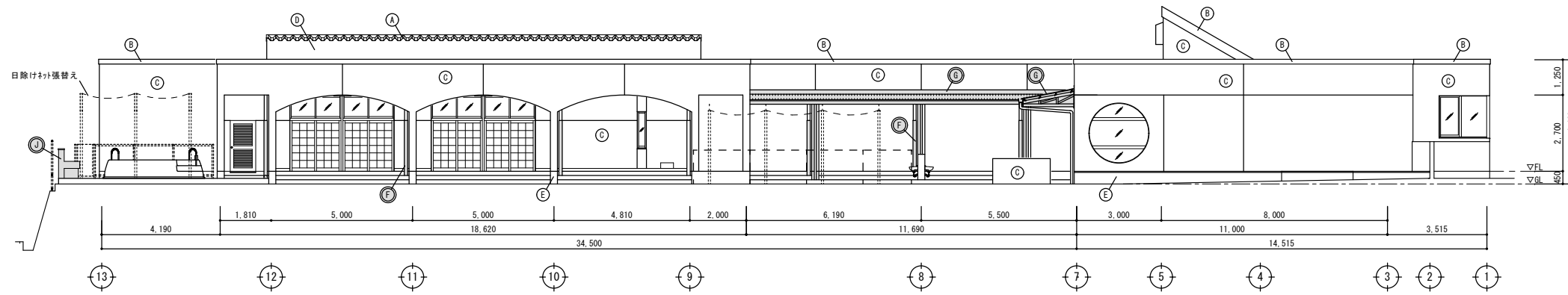
西面立面図



南面立面図2

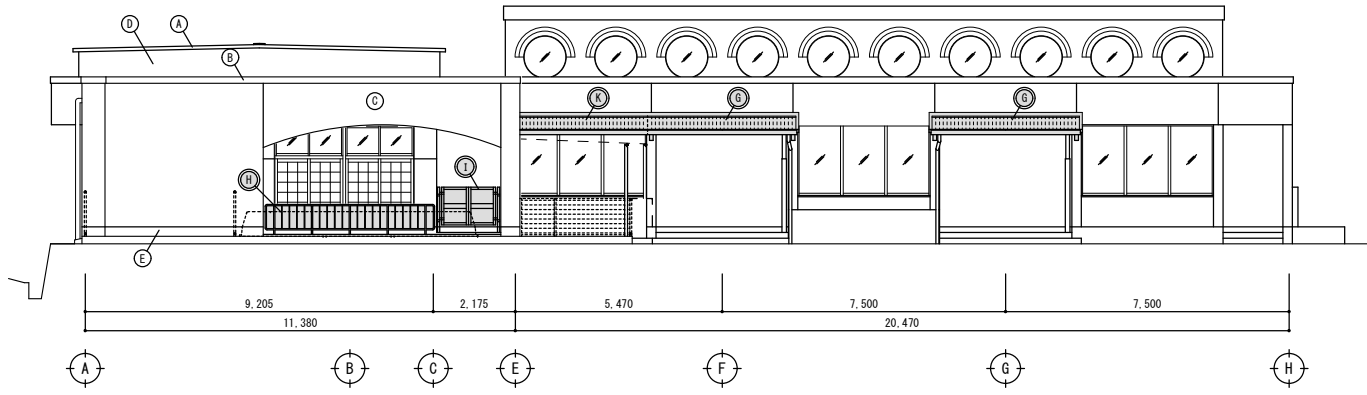


北面立面図2

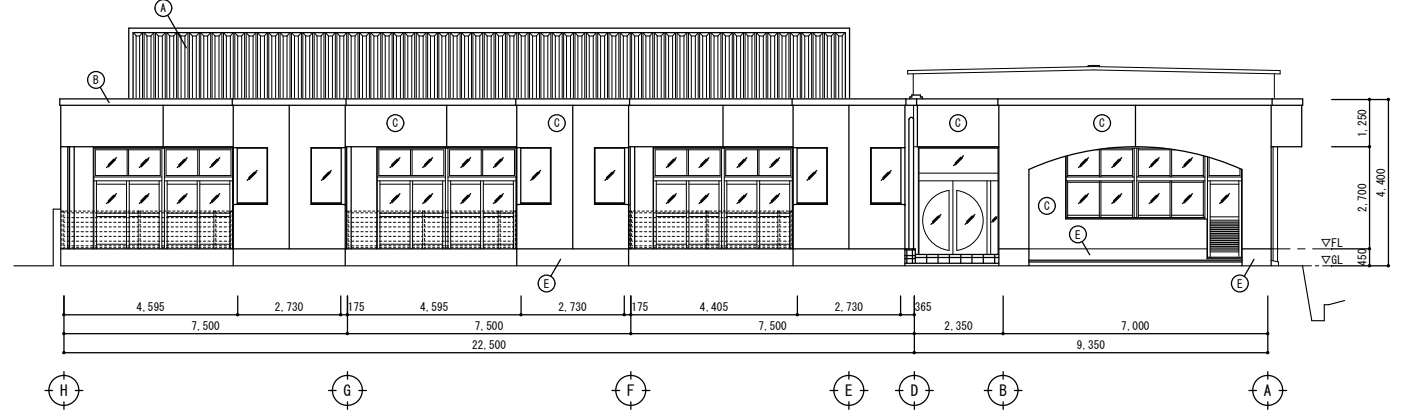


東面立面図

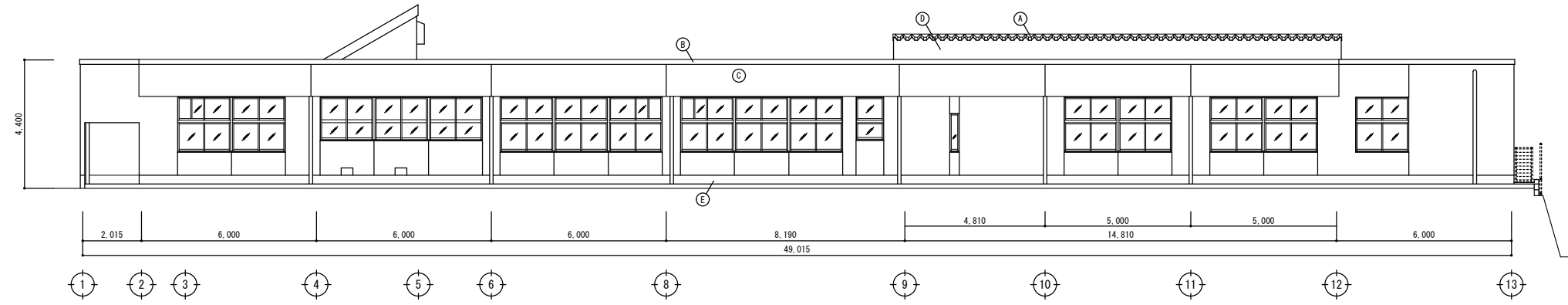
符号	仕上 (改修前)	仕上 (改修後)
△	屋根: カラーガルバリウム鋼板 折板葺き	既存のまま
○	笠木: カラーガルバリウム鋼板	既存のまま
□	外壁: 複層塗材E吹替 (779系)	既存のまま
◇	外壁: カラーガルバリウム鋼板	既存のまま
◇	巾木: 樹脂モルタル塗り	既存のまま
○	種: VP100(特) (廊下: 養生管 H2.000 SOP 3回)	養生管DP塗装改修 ※1
○	底: 樹脂モルタル吹替葺き/鉄部: SOP塗装 (梁・母屋等)	屋根葺き替え、鉄部DP塗装改修 ※1
○	手摺欄 SOP塗装 (アーク付)	DP塗装改修 ※1
○	フェンス門扉 SOP塗装 (アーク入口)	DP塗装改修 ※1
○	手洗い場 アーク専用塗装 (アーク付)	アーク専用塗装改修 ※2
○	底: 樹脂モルタル吹替葺き/鉄部: 耐候性塗料 DP塗装 (梁・母屋等)	新設
改修範囲を示す		
※1 既存鉄部: ケレン後 (R8種) 錆止 (JIS K5625)の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り		
※2 既存モルタル面: プール専用塗料 大同塗料 プールコートスペシャルAU 同等品		
下地処理: 下塗り1回、中塗り1回、上塗り2回 (メーカー仕様による)		



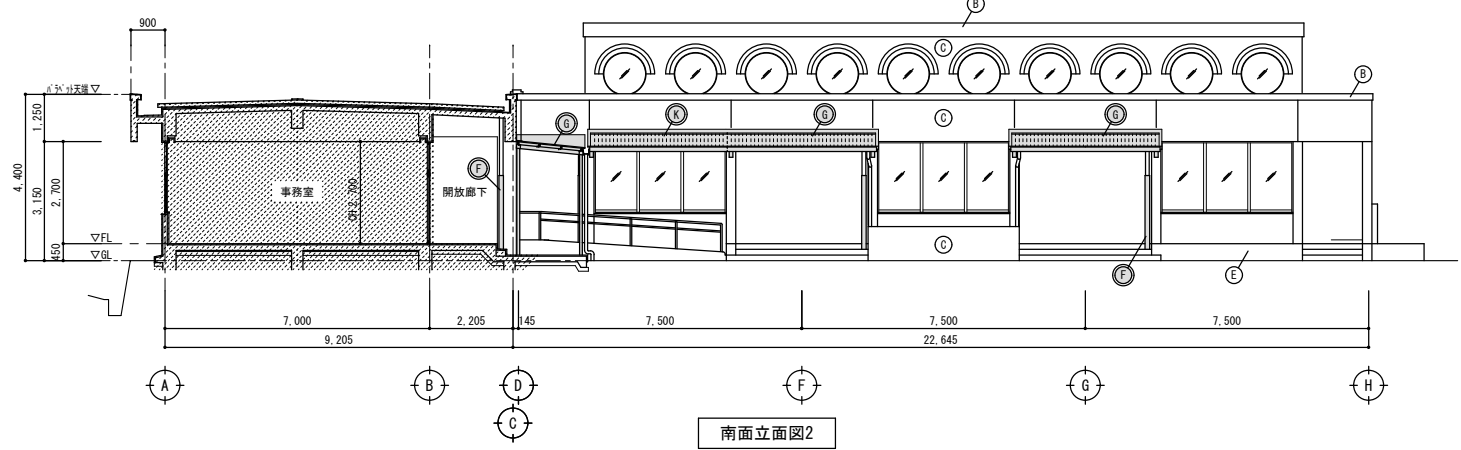
南面立面図1



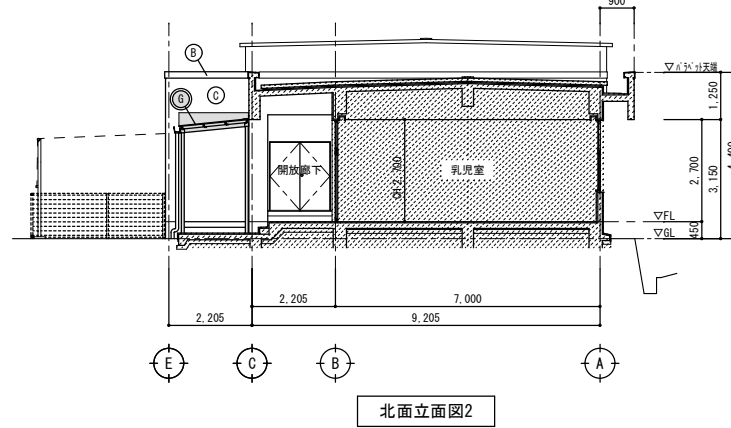
北面立面図1



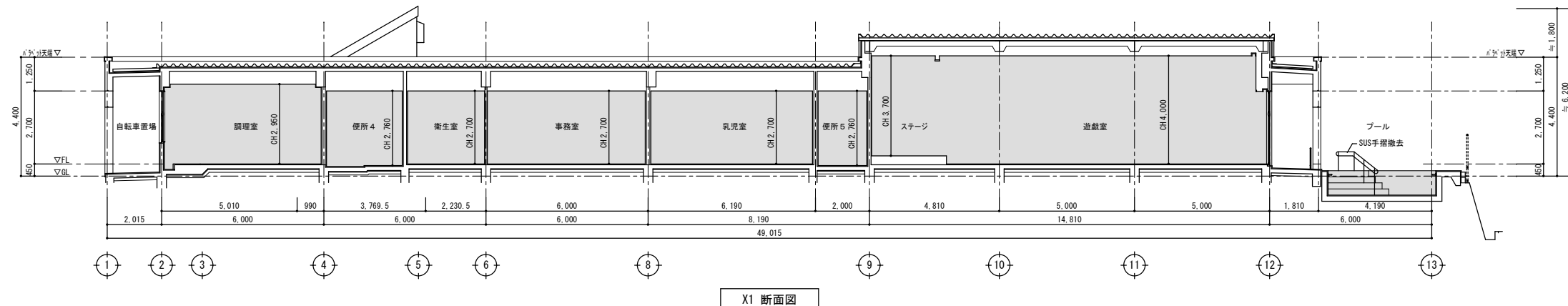
西面立面図



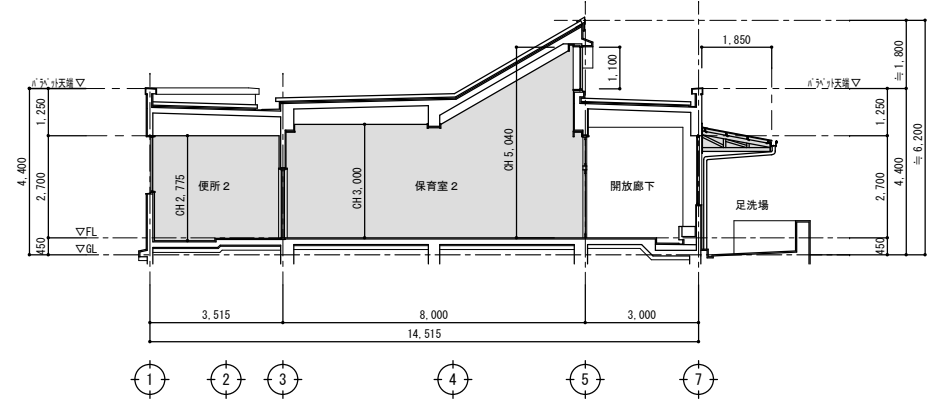
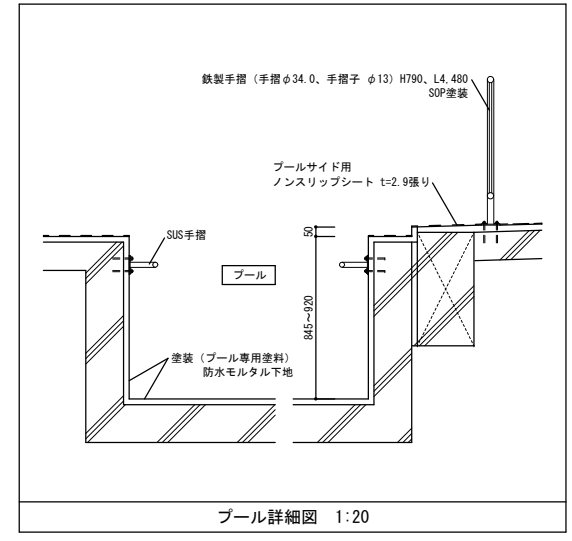
南面立面図2



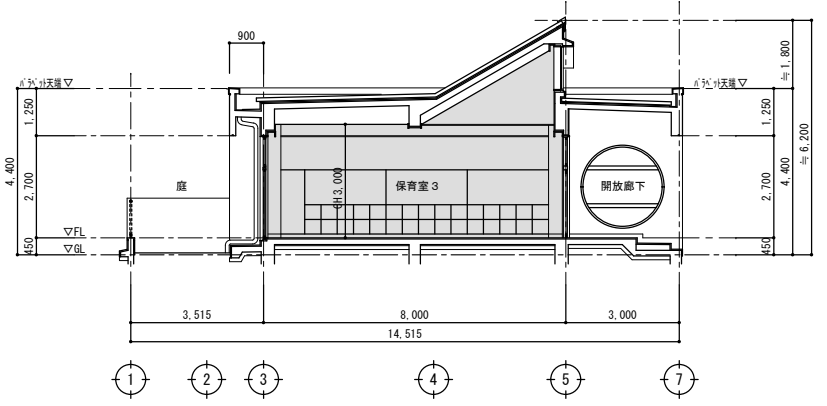
北面立面図2



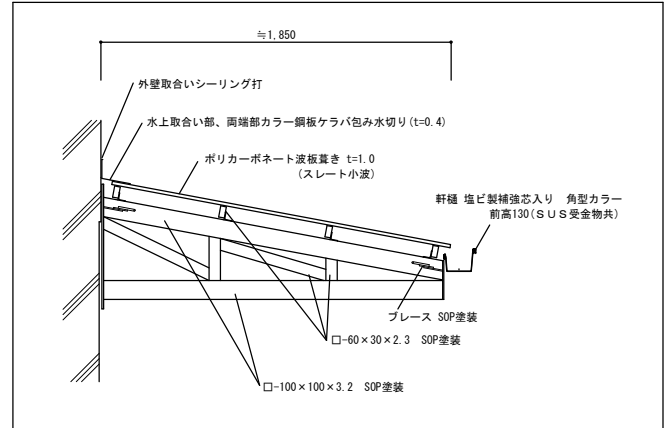
X1 断面図



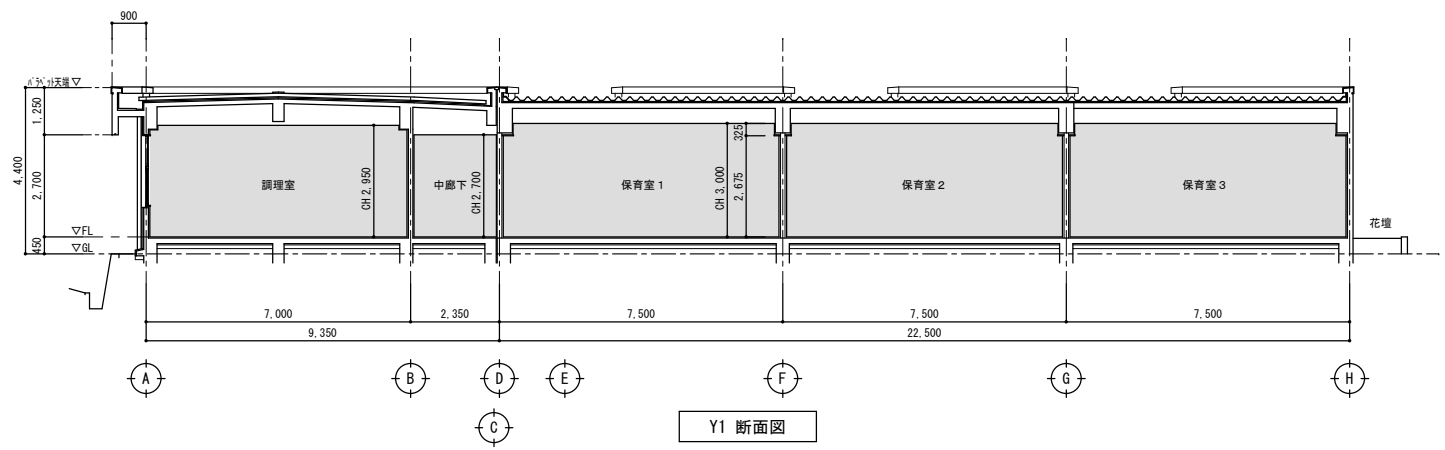
X2 断面図



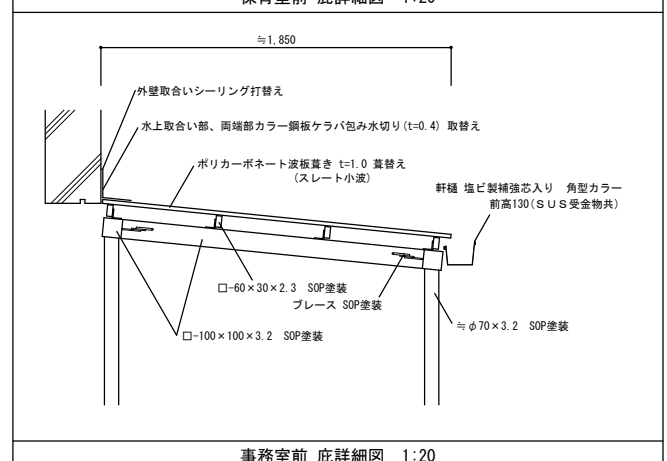
X3 断面図



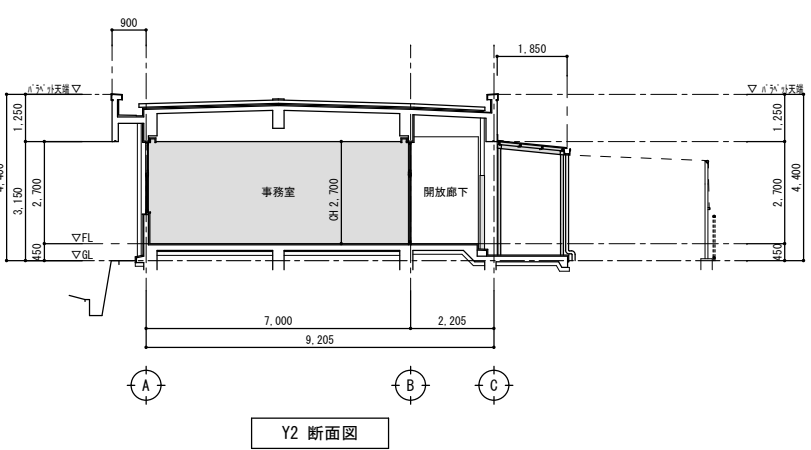
保育室前 庇詳細図 1:20



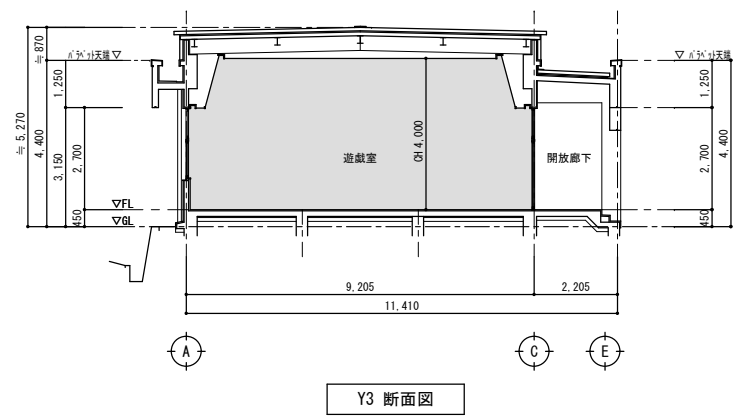
Y1 断面図



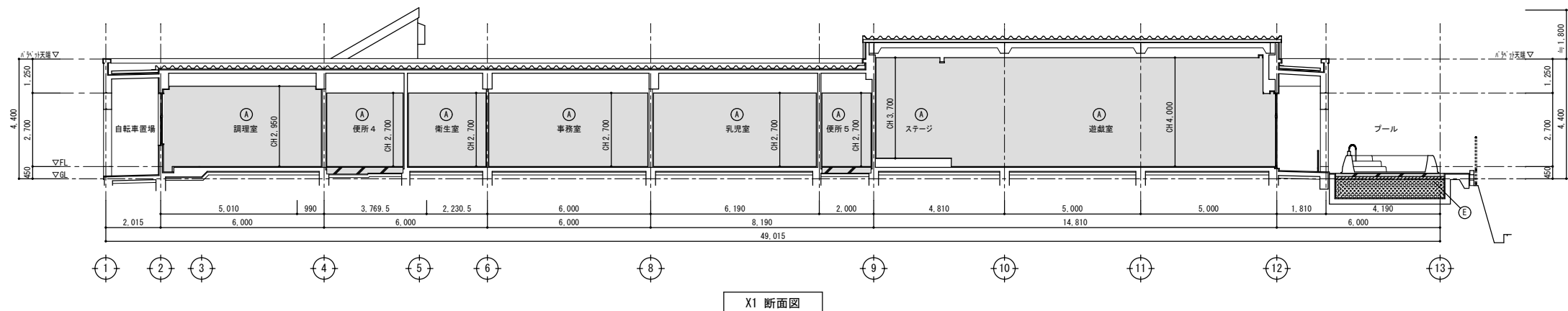
事務室前 庇詳細図 1:20



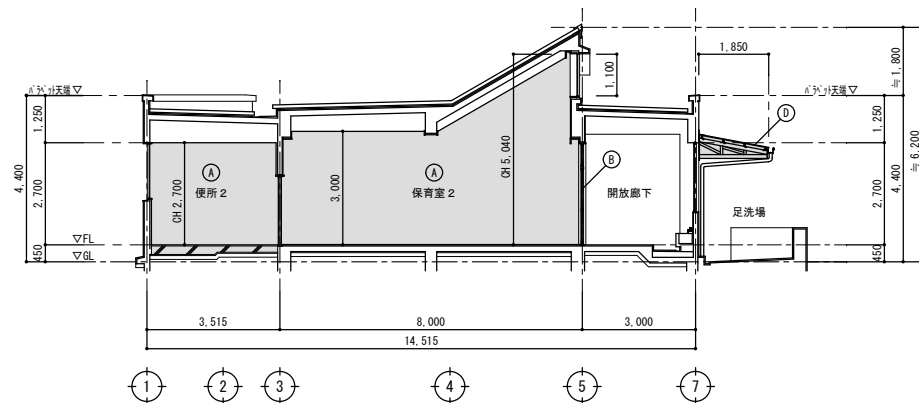
Y2 断面図



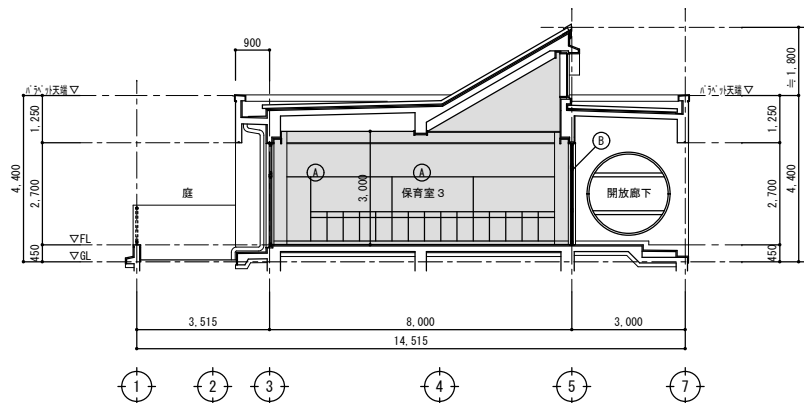
Y3 断面図



X1 断面図

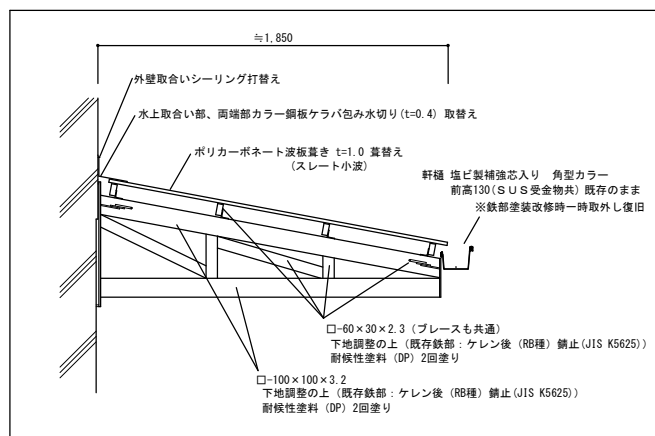


X2 断面図

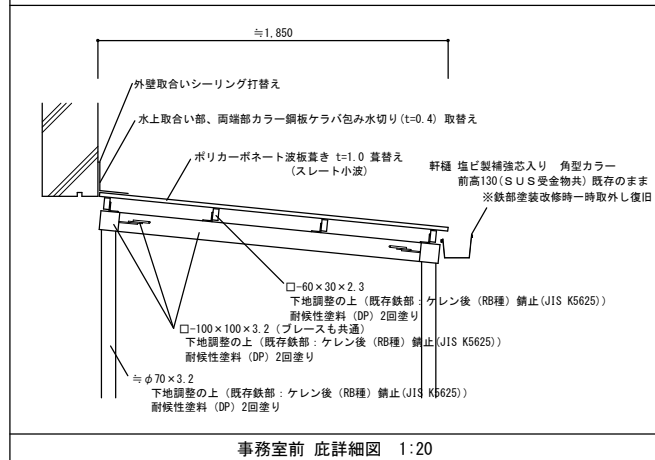


X3 断面図

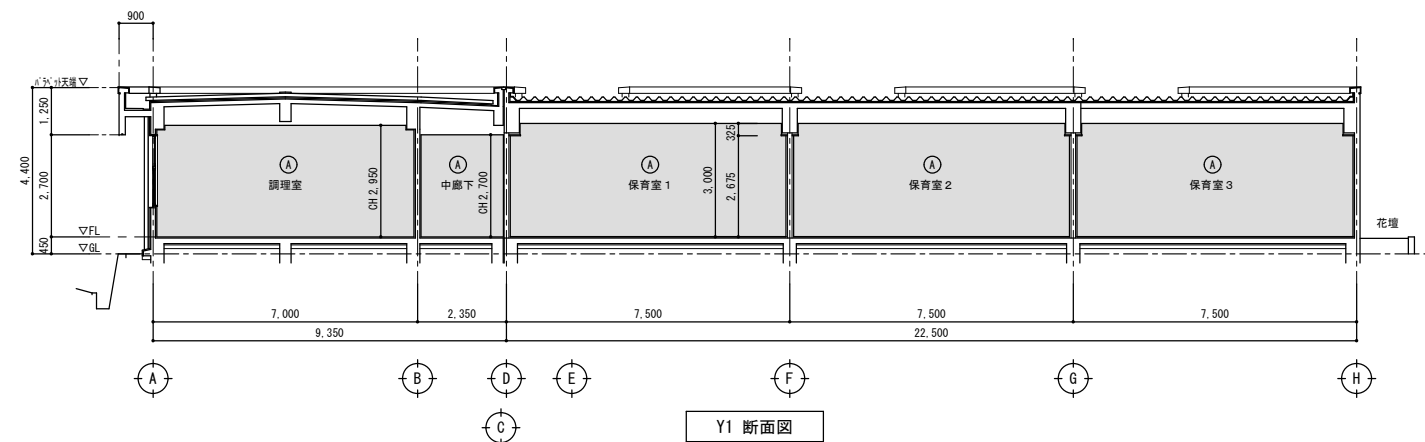
符号	仕上
Ⓐ	内部改修 (床、壁、天井仕上改修)
Ⓑ	建具改修 (WD→ADに変更)
Ⓒ	開放廊下部タテ縦養生管改修
	下地調整の上 (既存鉄部:ケレン後 (RB種) 錆止 (JIS K5625))
	耐候性塗料 (DP) 塗り 金物共
Ⓓ	庇改修 ※一部新設は仕上表参照
	※'ウレタン'防水 t=1.0 (スレート小波) 葺替え
	水切廻り: 5'x4'x1'鋼板 t=0.4 取替え
	既存鉄部: 下地調整の上 (既存鉄部:ケレン後 (RB種) 錆止 (JIS K5625))
	耐候性塗料 (DP) 2回塗り
Ⓔ	プール改修
	ノンスリップシート張り (ウレタン'ナイ' M T 同等品)
	プール内部: SUS手摺撤去、砂敷き転任 H=600
	砂利敷き t=100 コンクリート打 t=120打押へ
	既存部: ノンスリップシート張替え
	改修範囲を示す



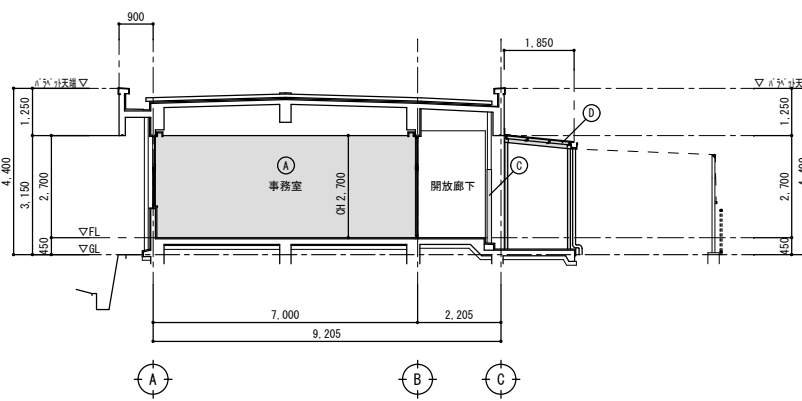
保育室前 庇詳細図 1:20



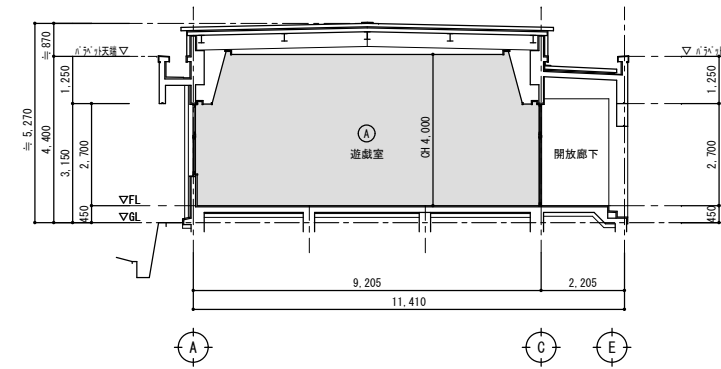
事務室前 庇詳細図 1:20



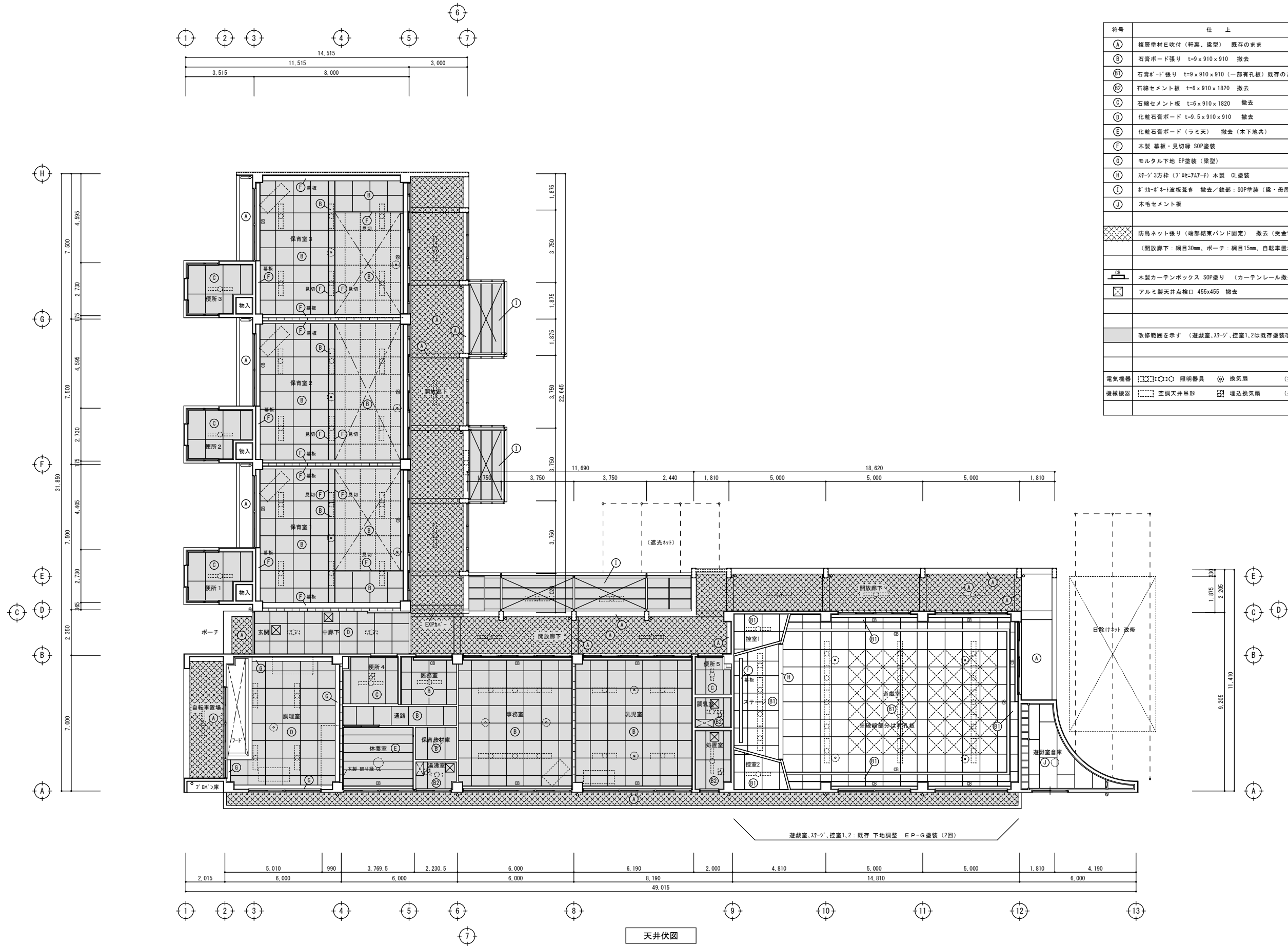
Y1 断面図



Y2 断面図

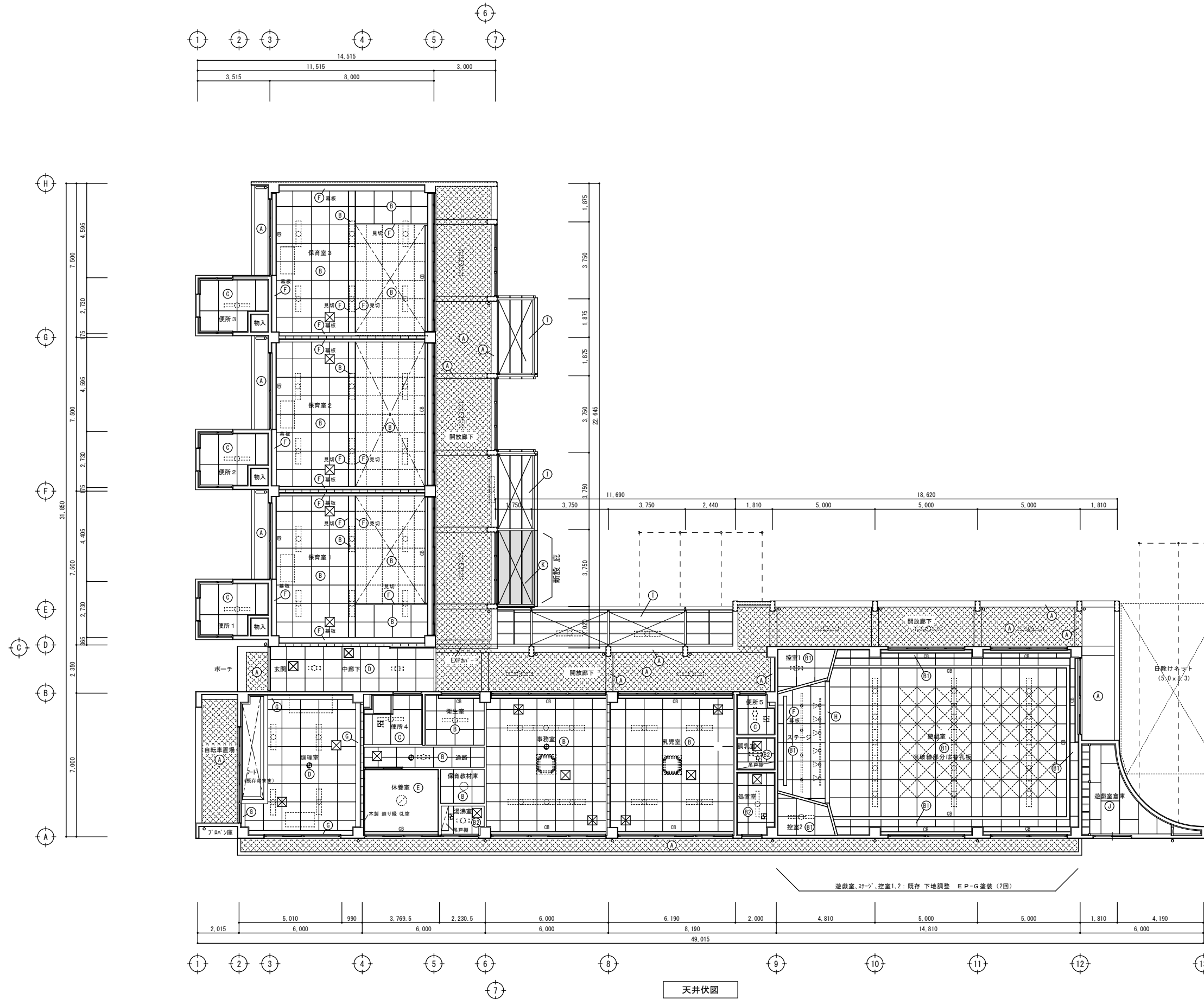


Y3 断面図



符号	仕上
①	複層塗材E吹付(軒裏、梁型) 既存のまま
②	石膏ボード張り t=9×910×910 撤去
③	石膏ボード張り t=9×910×910(一部有孔板) 既存のまま
④	石綿セメント板 t=6×910×1820 撤去
⑤	石綿セメント板 t=6×910×1820 撤去
⑥	化粧石膏ボード t=9.5×910×910 撤去
⑦	化粧石膏ボード(ラミ天) 撤去(木下地共)
⑧	本製 幕板・見切縁 SOP塗装
⑨	モルタル下地 EP塗装(梁型)
⑩	ｽﾃｰｼﾞ3方枠(ﾌﾞﾚｰｷﾝｸﾞ) 木製 OL塗装
⑪	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾚｰｷﾝｸﾞ撤去/鉄部: SOP塗装(梁・母屋等)
⑫	木毛セメント板
⑬	防鳥ネット張り(端部結束バンド固定) 撤去(受金物共) (開放廊下: 網目30mm、ポーチ: 網目15mm、自転車置場: 網目50mm)
⑭	本製カーテンボックス SOP塗り (カーテンレール撤去)
⑮	アルミ製天井点検口 455x455 撤去
改修範囲を示す (遊戯室、ｽﾃｰｼﾞ、控室1,2は既存塗装改修とする)	
電気機器	照明器具 換気扇 (撤去別途工事)
機械機器	空調天井吊形 埋込換気扇 (撤去別途工事)

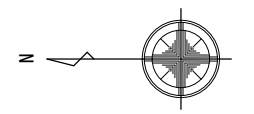
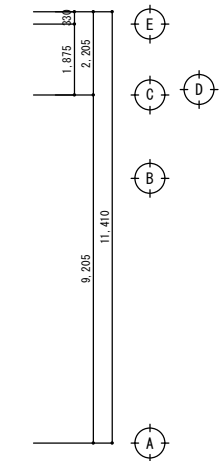
天井伏図

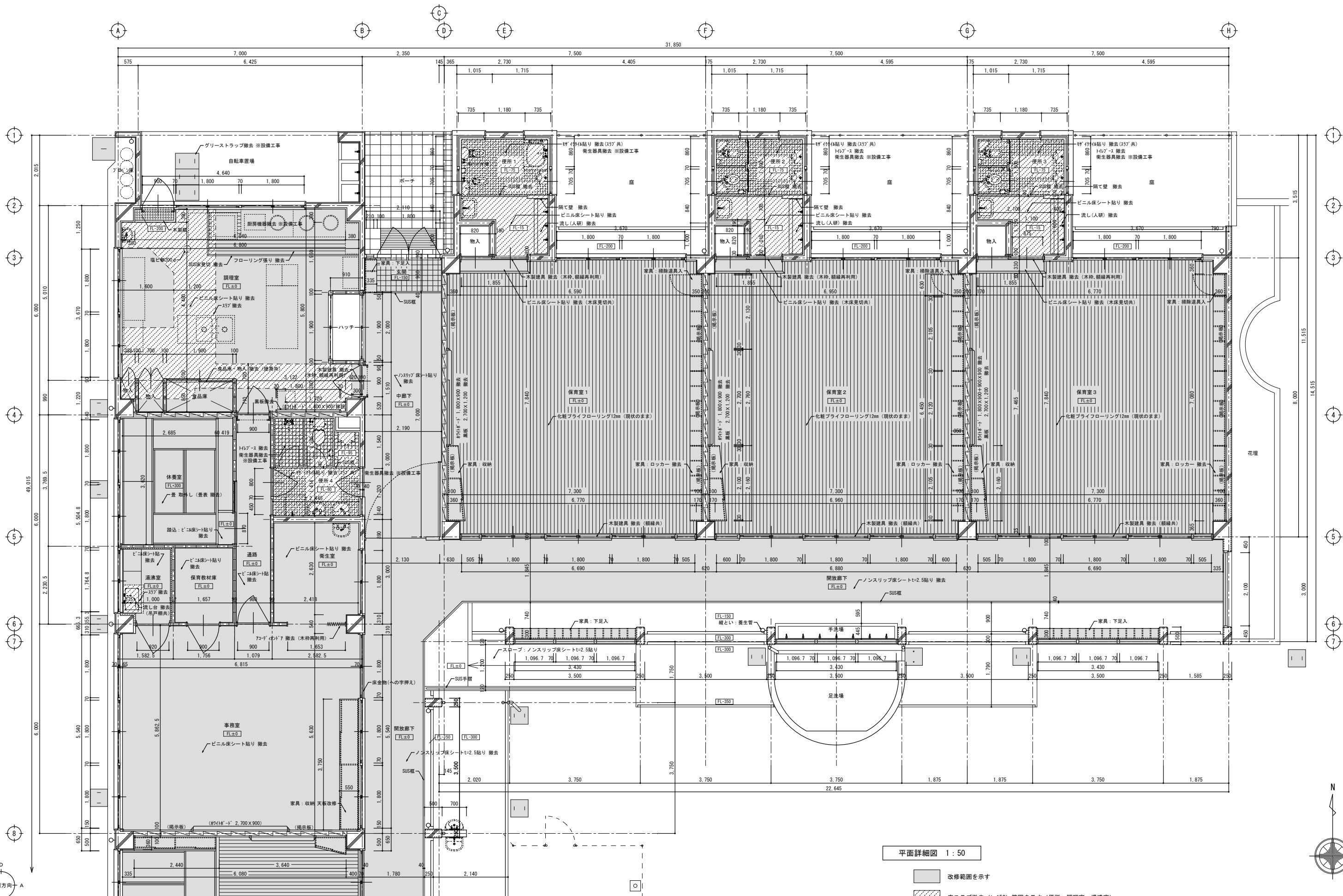


天井伏図

符号	仕上
Ⓐ	複層塗材 E 吹付 (軒表、梁型) (既存のまま)
Ⓑ	化粧石膏ボード t=9.5 x 910 x 910 (既存軽天下地)
Ⓑ1	石膏ボード張り t=9 x 910 x 910 (一部有孔板) 既存下地調整 E P-G塗装 (2回)
Ⓑ2	化粧石膏ボード t=9.5 x 910 x 910 (既存軽天下地、ジョイント調整)
Ⓒ	珪酸カルシウム板 t=6 x 910 x 1820 E P-G塗装 (2回) (既存軽天下地)
Ⓓ	珪酸カルシウム板 t=6 x 910 x 910 E P-G塗装 (2回) (既存軽天下地)
Ⓔ	石膏ボード t=9.5下地 ビニールクロス貼り (新設軽天下地)
Ⓕ	木製 幕板・見切縁 下地調整の上 SOP塗装 (既存下地調整)
Ⓖ	モルタル下地 EP-G塗装 (梁型) (既存下地調整)
Ⓗ	ｽｰｼﾞ3方枠 (ﾌﾞﾗｯﾄﾞ7A7ﾌ) 木製 OL塗装
Ⓙ	底: ｶﾞﾗｰｶﾞﾗｰﾄﾞ波板葺き/鉄部: 耐候性塗料 (DP) 塗装 (既存下地調整)
Ⓛ	木毛セメント板 (既存のまま)
Ⓨ	底新設: ｶﾞﾗｰｶﾞﾗｰﾄﾞ波板葺き/鉄部: 耐候性塗料 (DP) 塗装
Ⓜ	本製カーテンボックス SOP入り 美装
Ⓧ	アルミ製天井点検口 455x455 (縦線タイプ) 新設 (開口補強: 野縁受同材にて行う)
改修範囲 (底新設) を示す	
Ⓧ	ポリエチレン防鳥ネット (株式会社エドバンコーポレーション 同等品)
トリカットネットスーパー20 縦線用ワイヤー ホグリング	
超軽量ステンレスプレート (ｺﾝｸﾘｰﾄ) 止及び接着剤併用	
Ⓧ	日除けネット ターボスクリーンネット #1004 (平岡織染株式会社 同等品)
SUSワイヤー8φ (リング50φ@450)	
SUSリングボルトM16 SUSターンバックル付	
電気機器	Ⓧ: 照明器具 Ⓧ: 換気扇 (撤去別途工事)
機械機器	Ⓧ: 空調機 Ⓧ: 空調天井吊り Ⓧ: 埋込換気扇 (撤去別途工事)

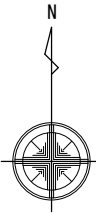
※ 開口補強: 建築工事標準詳細参照 (補強材-野縁受同材)





平面詳細図 1:50

- 改修範囲を示す
- 床スラブ撤去 (t=150) 範囲を示す (便所・調理室・湯沸室)



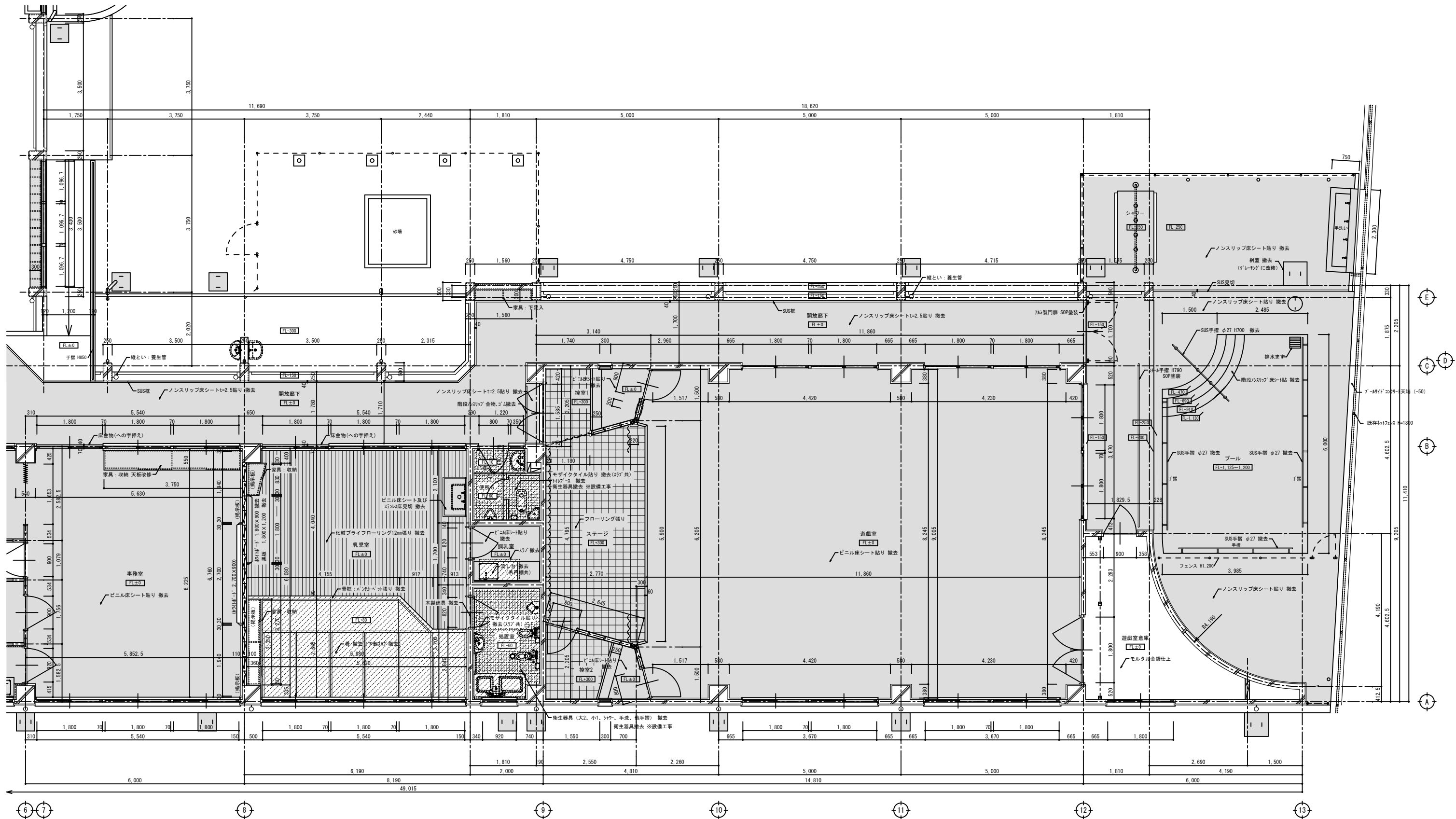
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課
 高橋啓之設計事務所
 広島県福山市明神町2丁目7番35号
 TEL 084-920-9123 構造1級建築士 設備1級建築士
 FAX 084-928-6000 (登録183507号) (登録7233号) (登録2832号)

有限会社
高橋啓之設計事務所
 1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
 1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士
 (登録183507号) (登録7233号) (登録2832号)

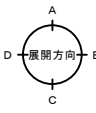
工事名称 **福山市立中条保育所園舎改修工事**
 図面名称 **改修前 平面詳細図1**

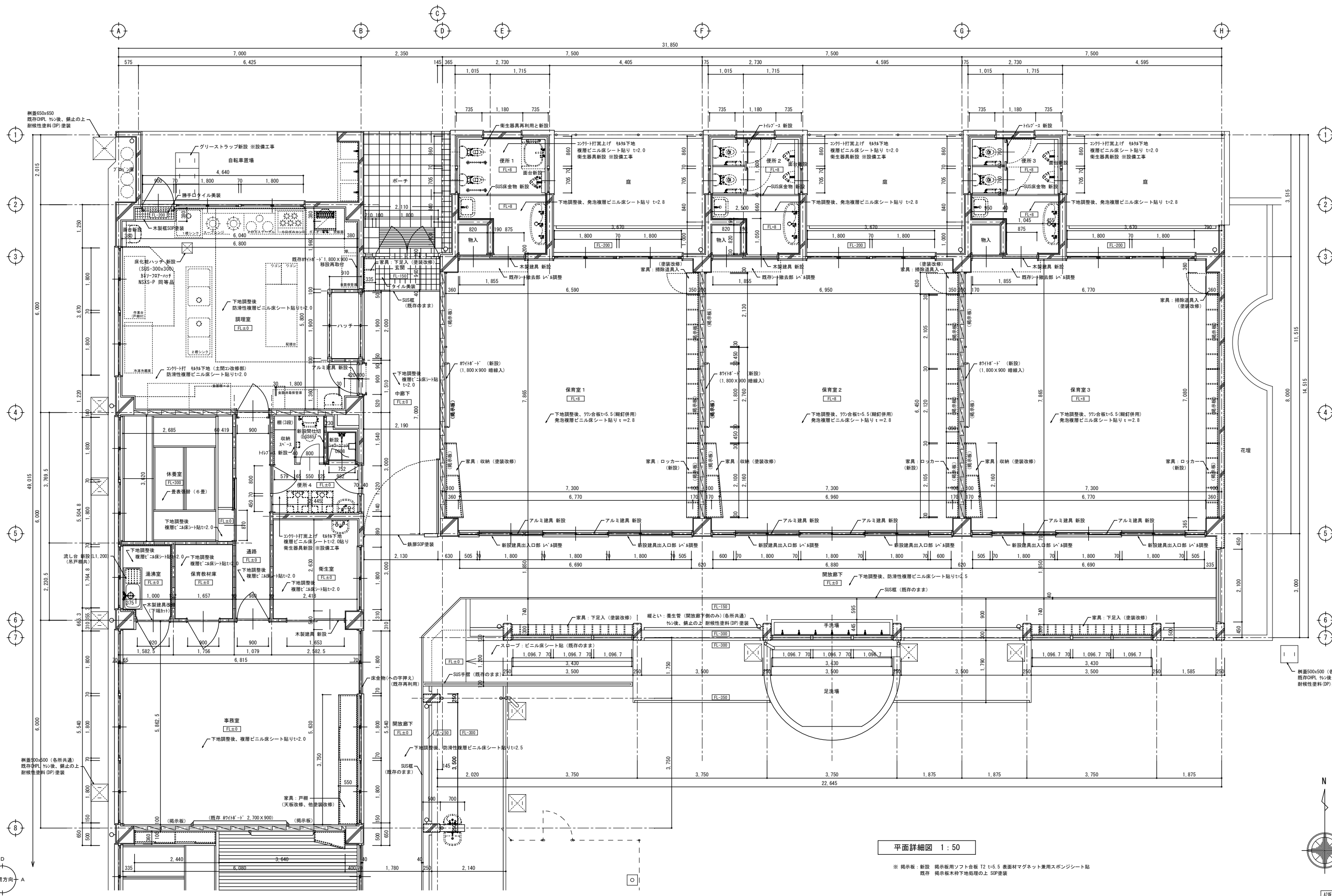
図面番号
A-12
 縮尺
1:50
 設計年月
2024年1月



平面詳細図 1:50

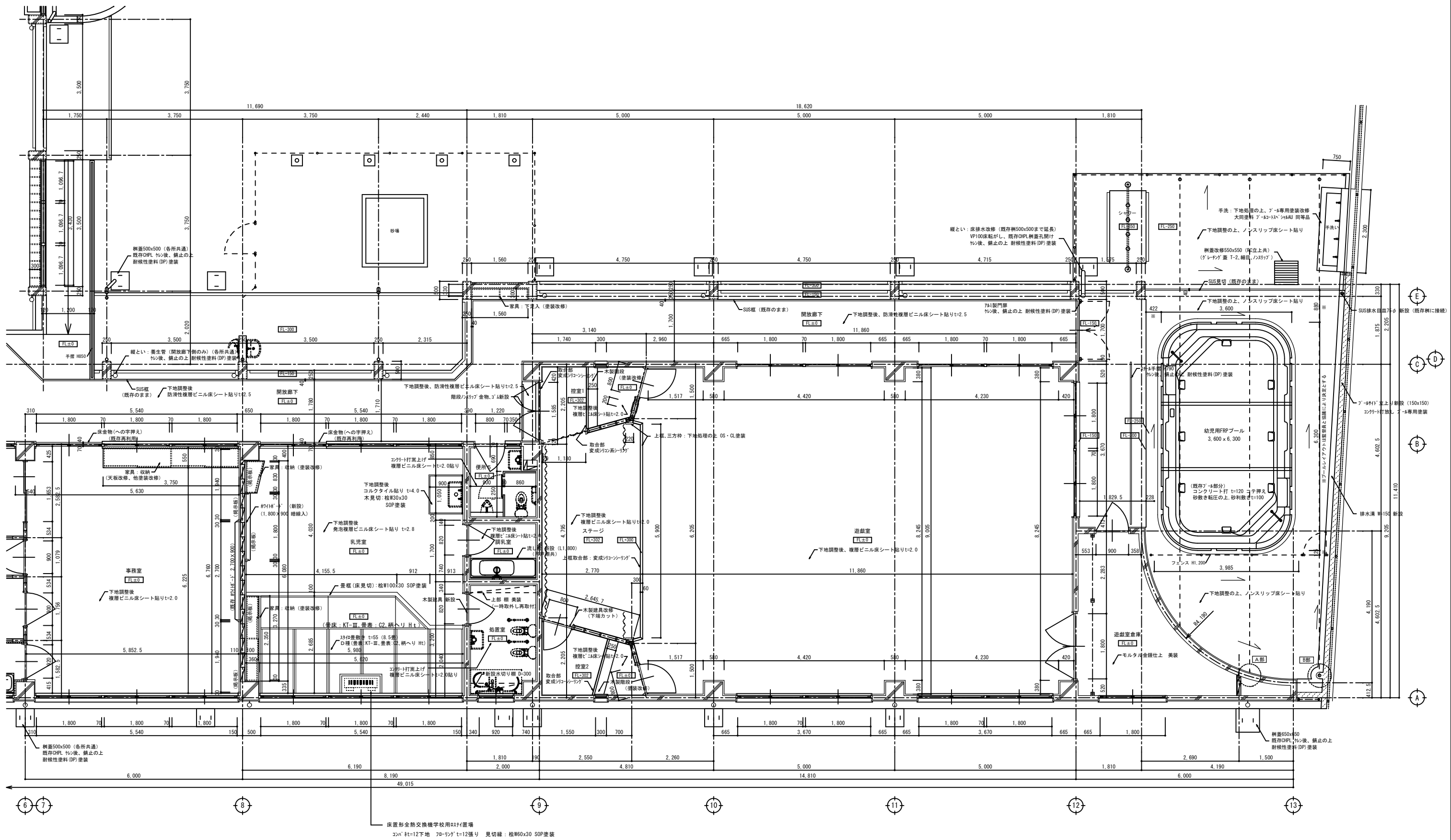
- 改修範囲を示す
- 床スラブ撤去 (t=150) 範囲を示す (便所・処置室・調乳室・乳児室) ※ プール部分は設備工事とする。





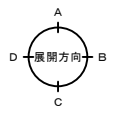
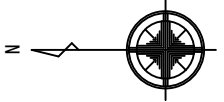
平面詳細図 1:50

※ 指示板: 新設 指示板用ソフト合板 T2 t=5.5 表面材マグネット兼用スポンジシート貼
 既存 指示板木枠下地処理の上 SUP塗装



平面詳細図 1:50

※ 指示板: 新設 指示板用ソフト合板 T2 t=5.5 表面材マグネット兼用スポンジシート貼
 既存 指示板木枠下地処理の上 SOP塗装



変更年月日・変更事項



福岡市建設局建築部営繕課

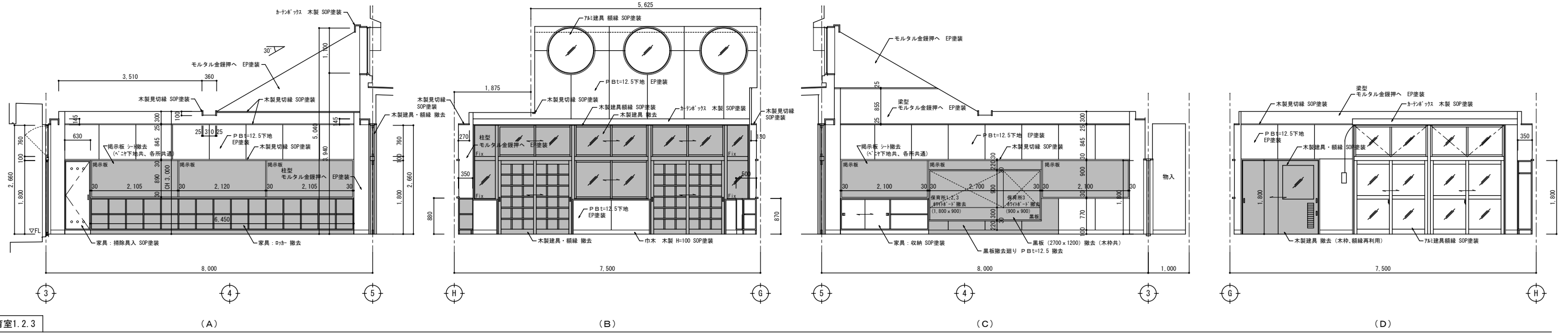
高橋啓之設計事務所
 福岡市東区東門外2丁目7番35号
 TEL 084-920-9123
 FAX 084-928-6000

工事名称 福岡市立中条保育所園舎改修工事
 図面名称 改修後 平面詳細図2

図面番号 A-15
 縮尺 1:50
 設計年月 2024年1月

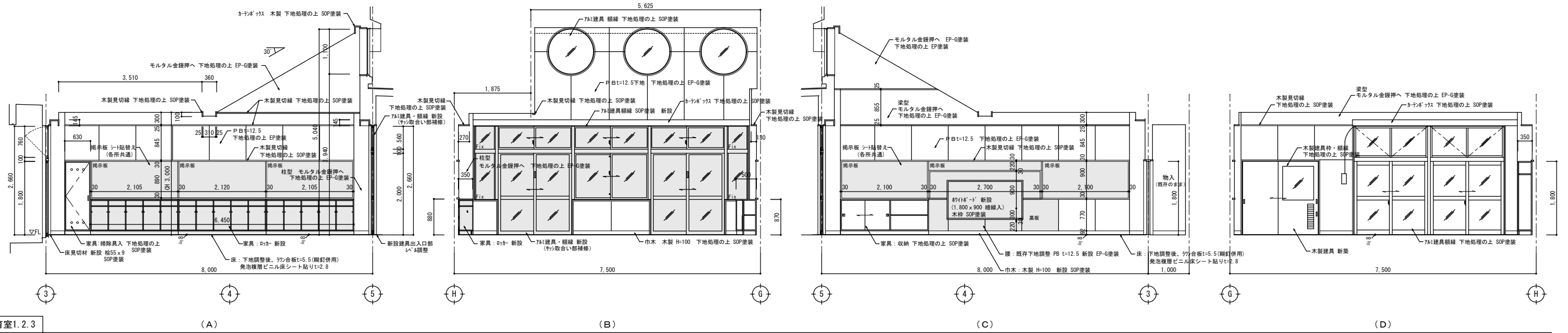
A2画(7%)
 A3画(50%)

改修前



(保育室2は展開図2による)

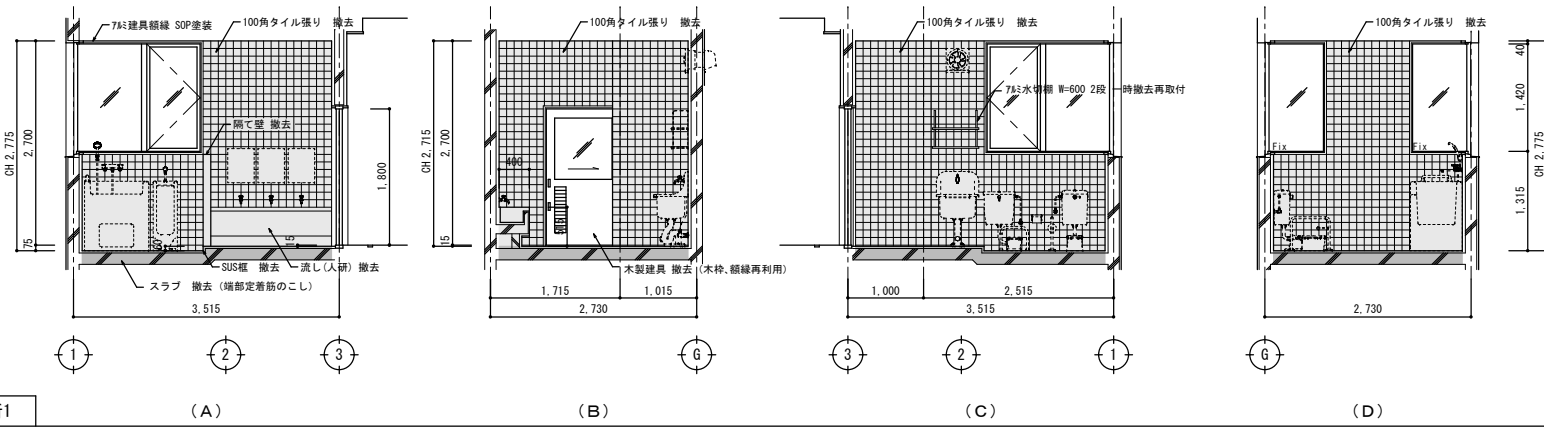
改修後



(保育室2は展開図2による)

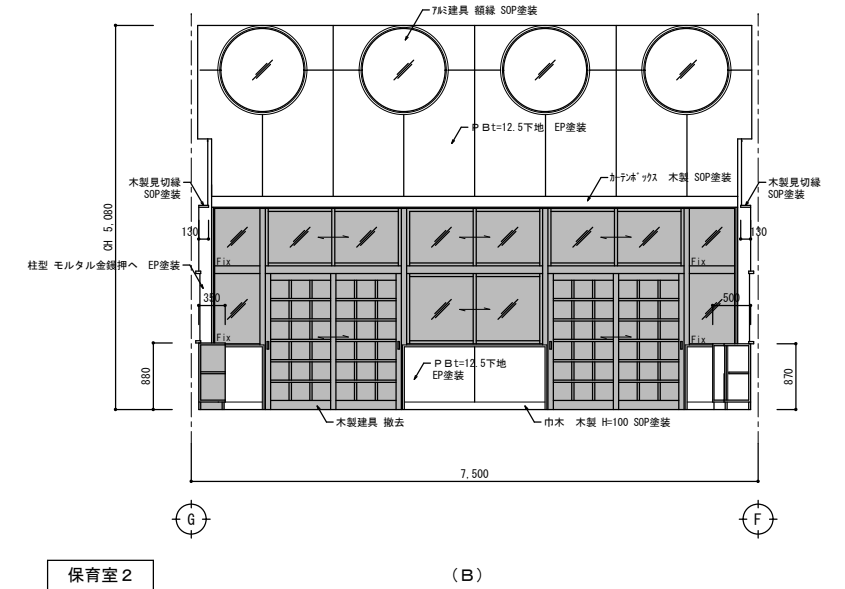
※ 掲示板: 新設 掲示板用ソフト合板 T2 t=5.5 表面材マグネット兼用スポンジシート貼
 既存 掲示板木枠下地処理の上 SOP塗装

改修前



便所1

※衛生器具は撤去（設備工事）
 ※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：上層：D10.13交互@200、下層：D10.13交互@200



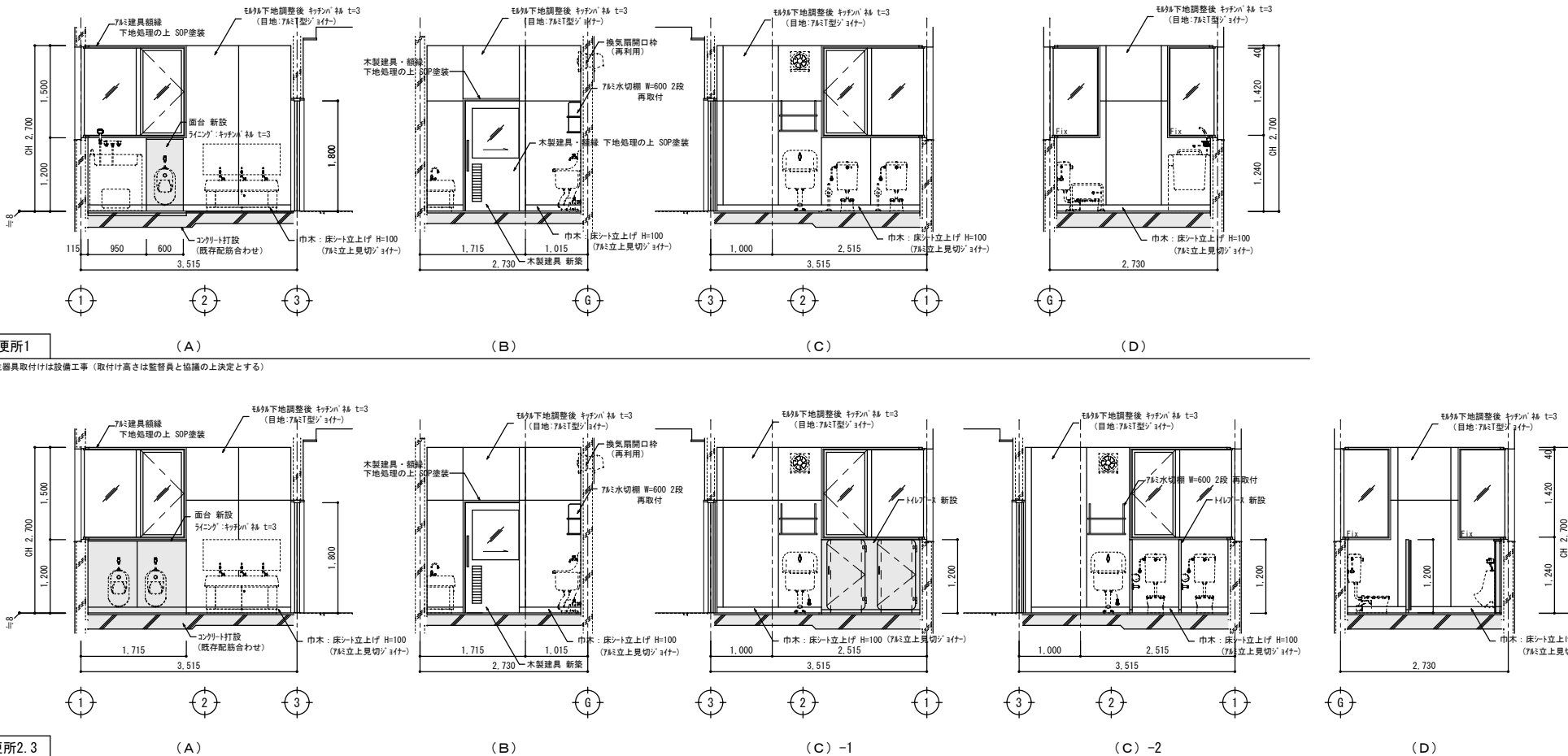
保育室2

(B)

便所2.3

※衛生器具は撤去（設備工事）
 ※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：上層：D10.13交互@200、下層：D10.13交互@200

改修後

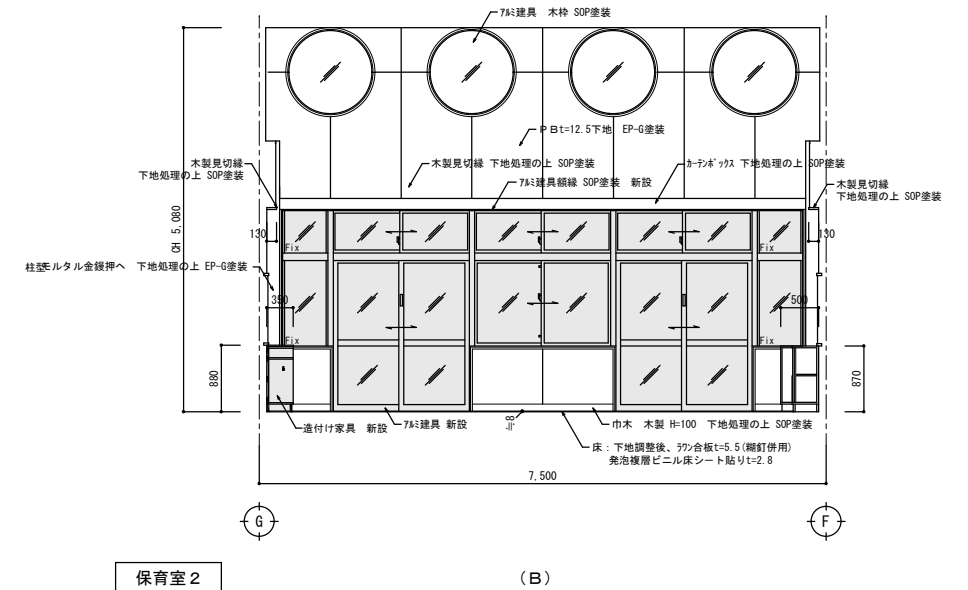


便所1

※衛生器具取付けは設備工事（取付け高さは監督員と協議の上決定とする）

便所2.3

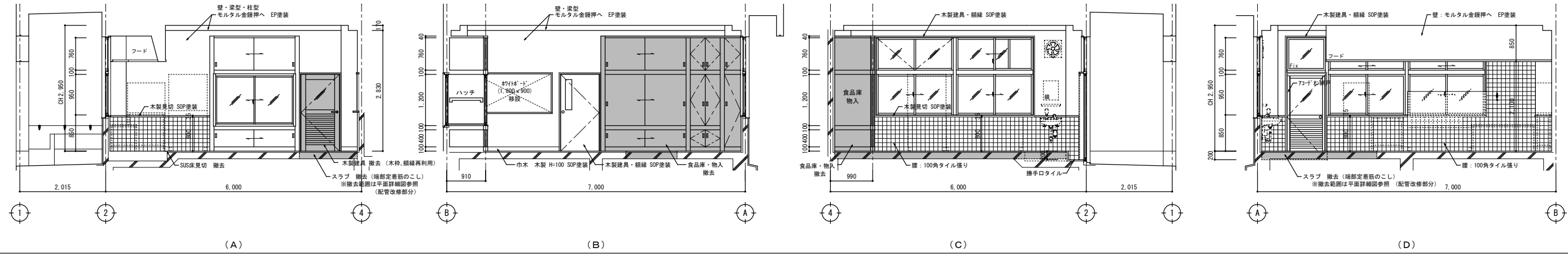
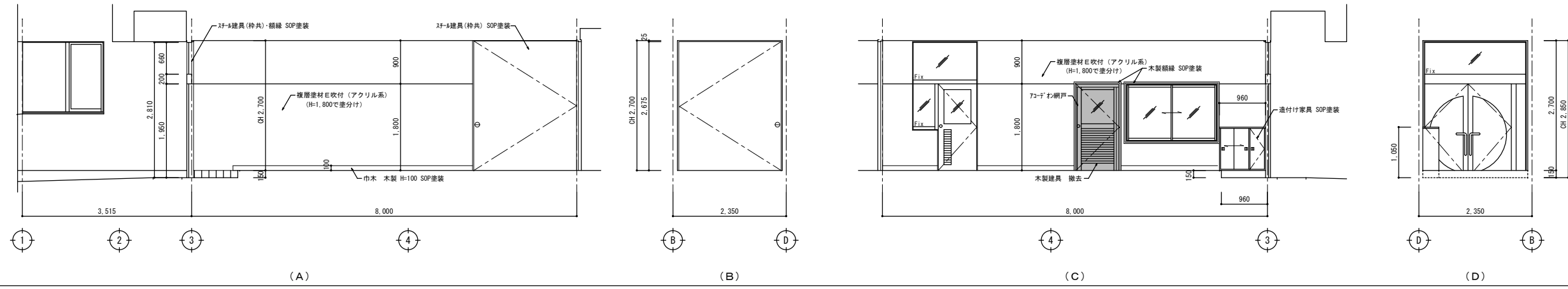
※衛生器具取付けは設備工事（取付け高さは監督員と協議の上決定とする）



保育室2

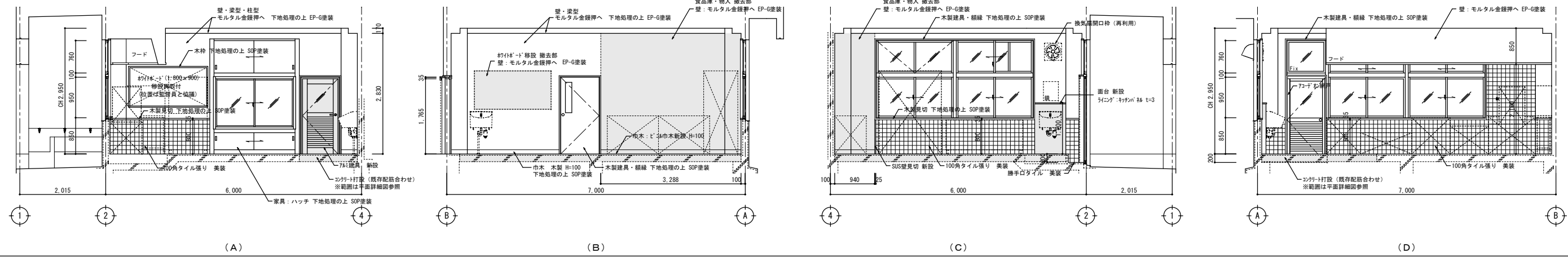
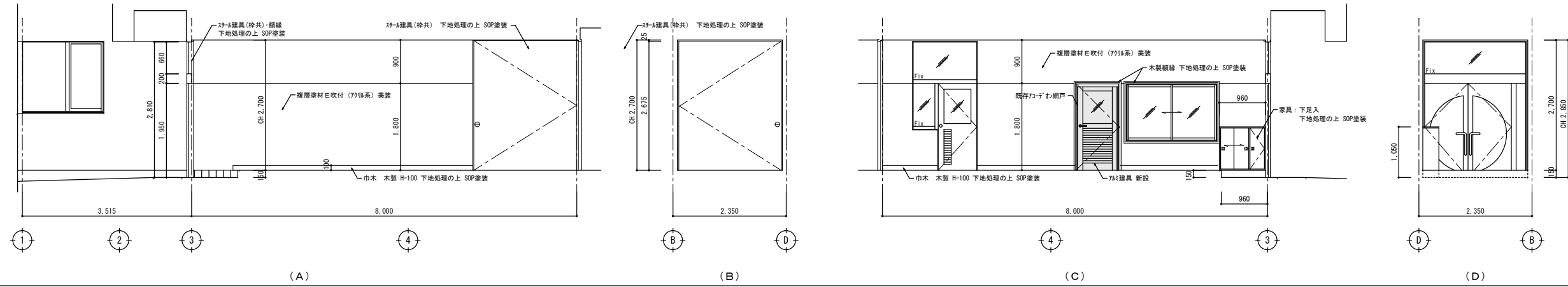
(B)

改修前



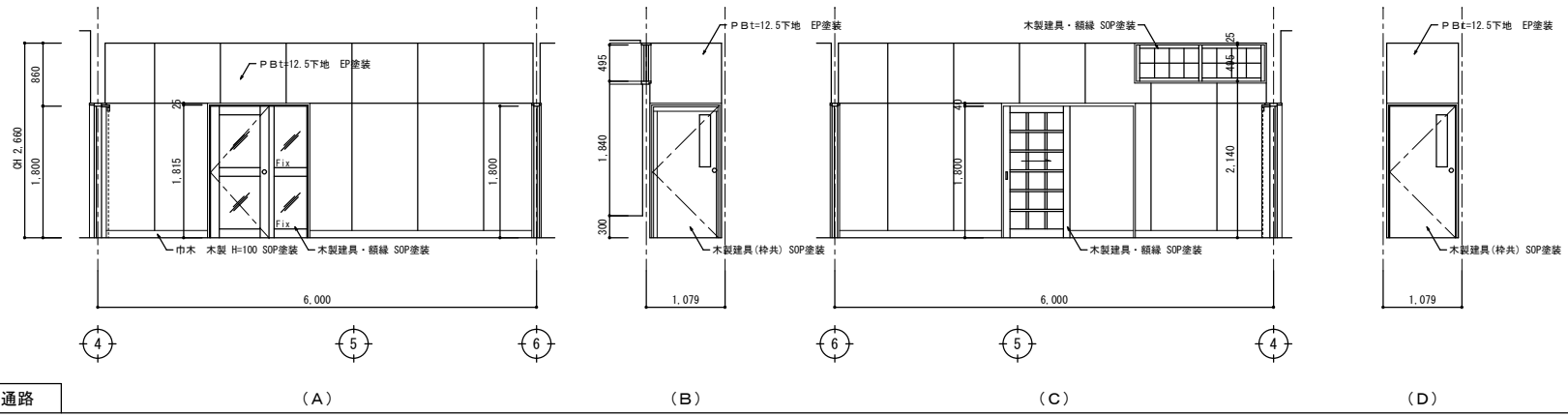
※衛生器具・厨房機器は撤去（設備工事）
 ※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：短辺 上下具D10、13交互@200、長辺 上下具D10@200

改修後

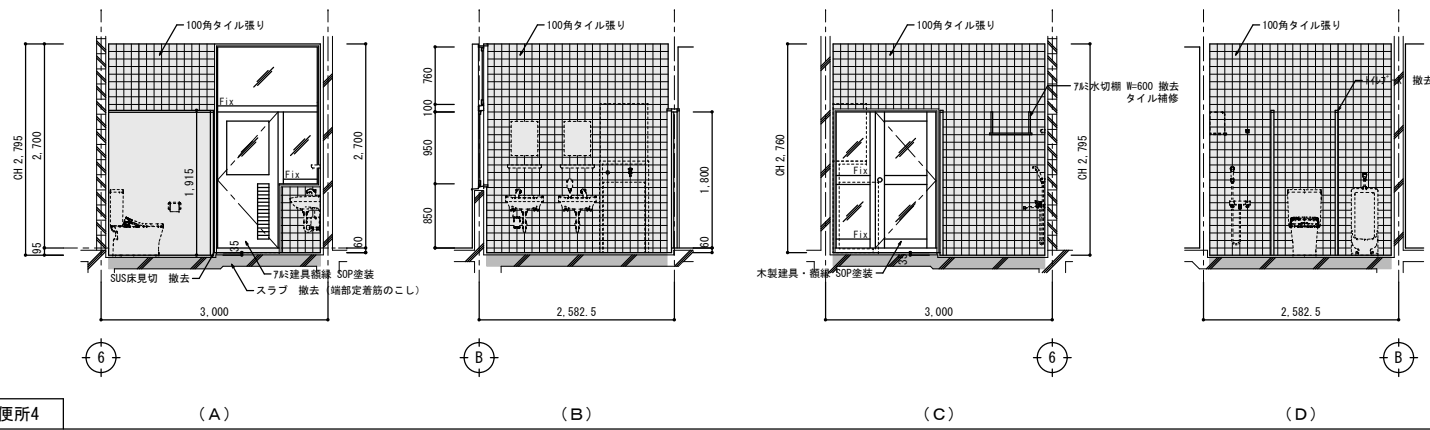


※新設床シート・既存壁タイルの取合い部はリフトアップシーリング処理とする。
 ※衛生器具・厨房機器は取付けは設備工事

改修前



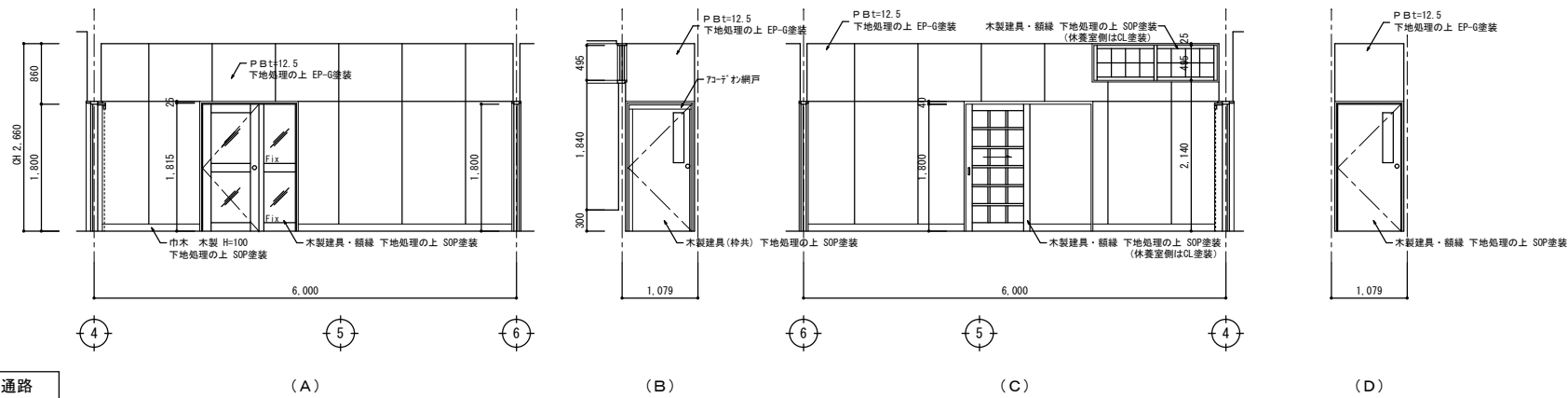
通路



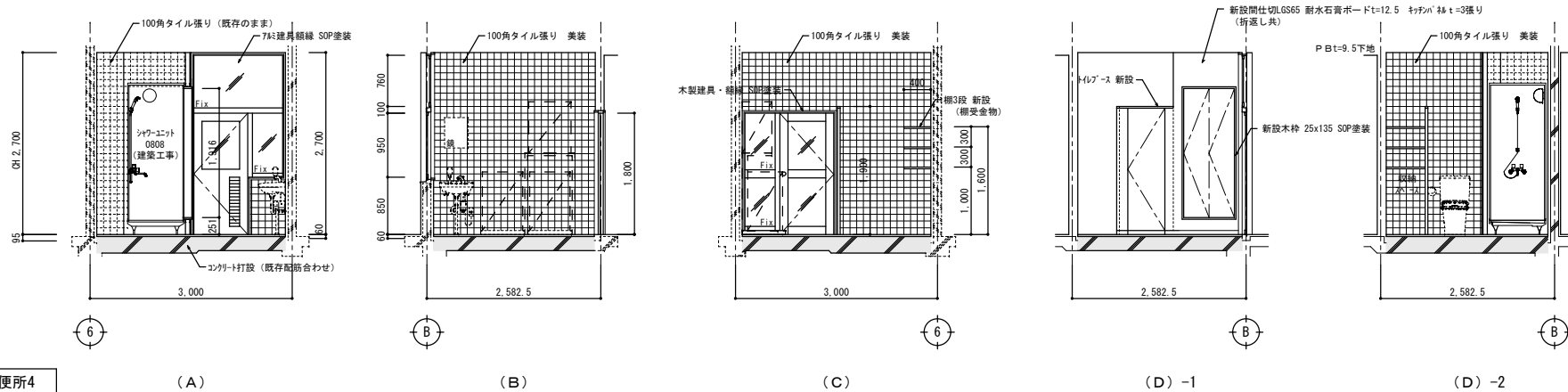
便所4

※衛生器具は撤去（設備工事）
※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：短辺 上端：D10、13交互@200、下端：D10@200、長辺 上下共D10@200

改修後



通路

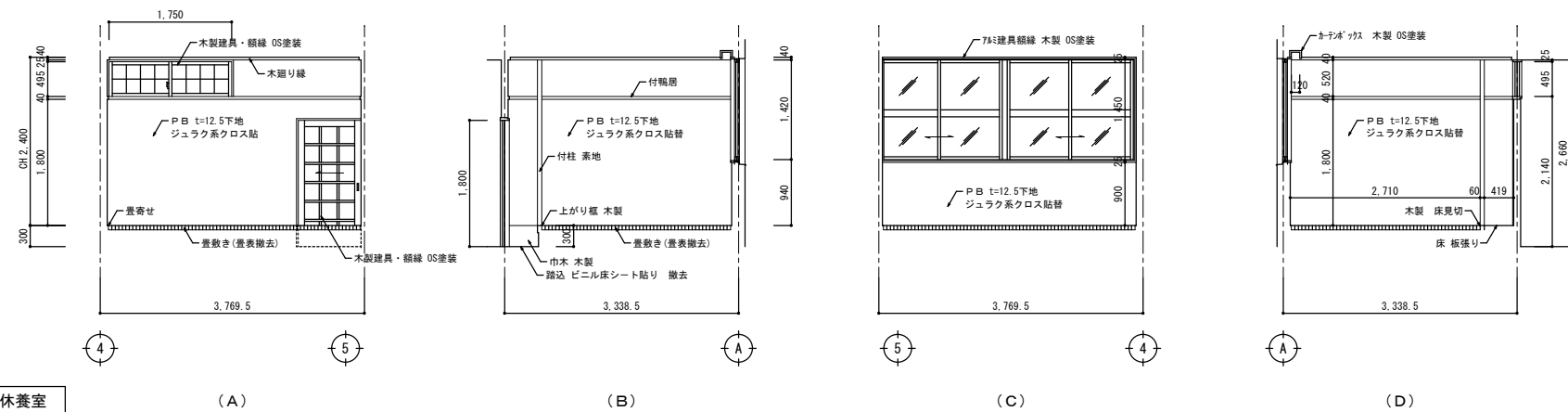


便所4

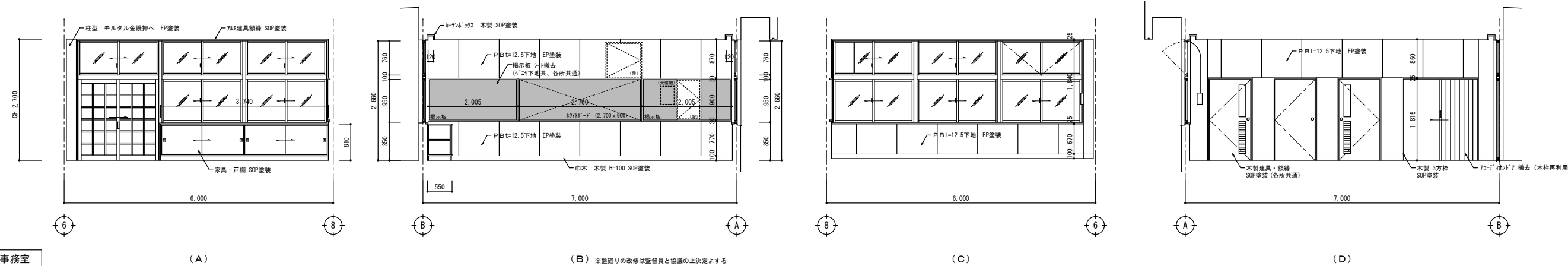
※既存衛生器具撤去部分のタイル補修は建築工事とする。 ※新設床シート、既存壁タイルの取合い部はソココン系シーリング処理とする。
※衛生器具取付けは設備工事

変更年月日・変更事項

改修前

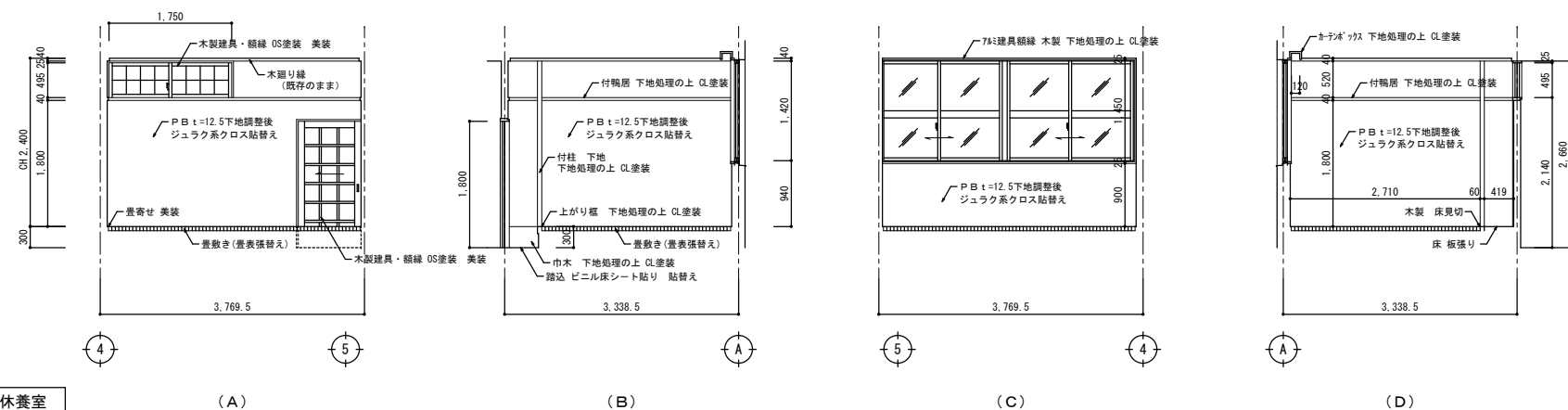


休養室

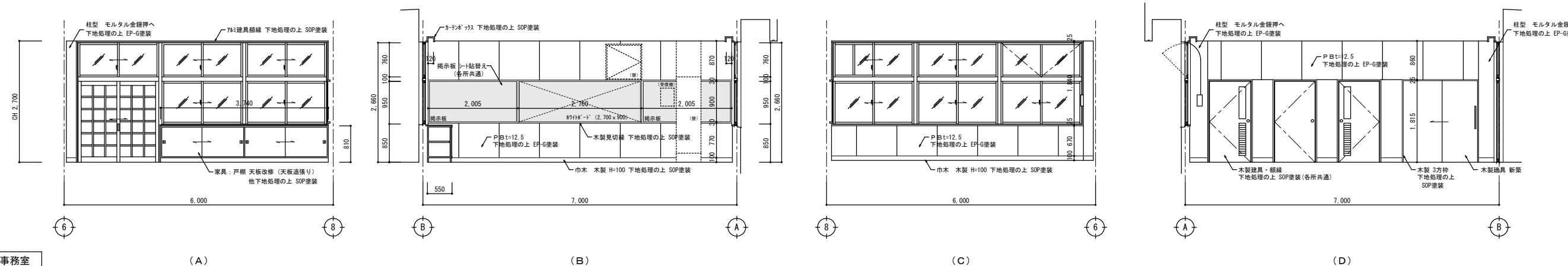


事務室

改修後



休養室



事務室

※ 掲示板: 新設 掲示板用ソフト合板 T2 t=5.5 表面材マグネット兼用スポンジシート 既存 掲示板木枠下地処理の上 SOP塗装

※ 電気設備: 既存各種壁の取外し・復旧 (設備工事)

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

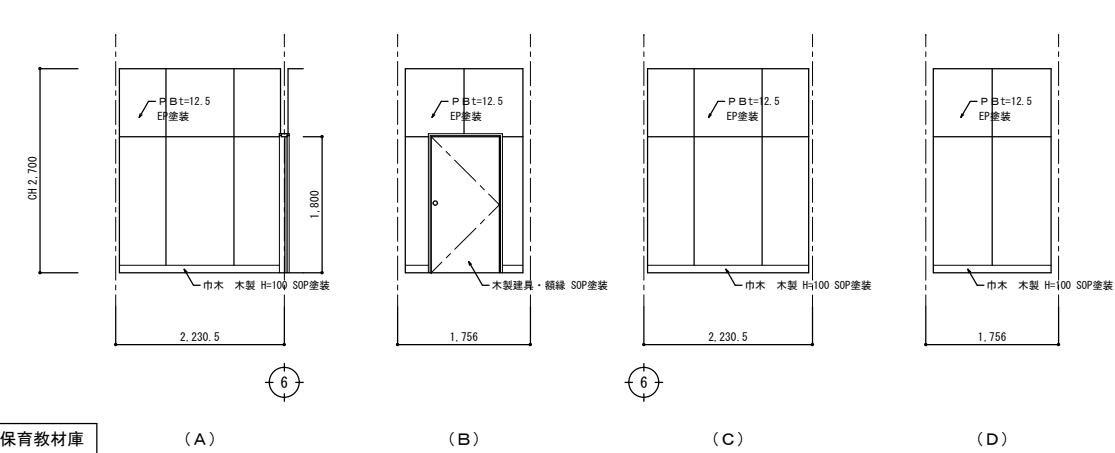
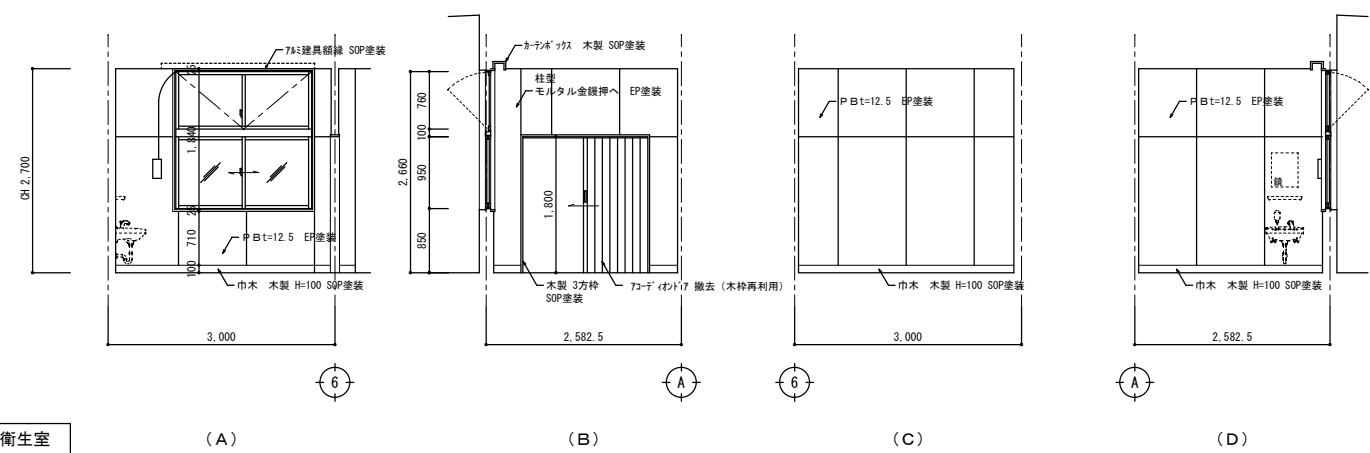
高橋啓之設計事務所
 広島県福山市明神町2丁目7番35号
 TEL 084-920-9123
 FAX 084-928-6000

1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
 1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士
 (登録183507号) (登録7233号) (登録2832号)

工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事
 図面名称 改修前後 展開図5 (休養室・事務室)

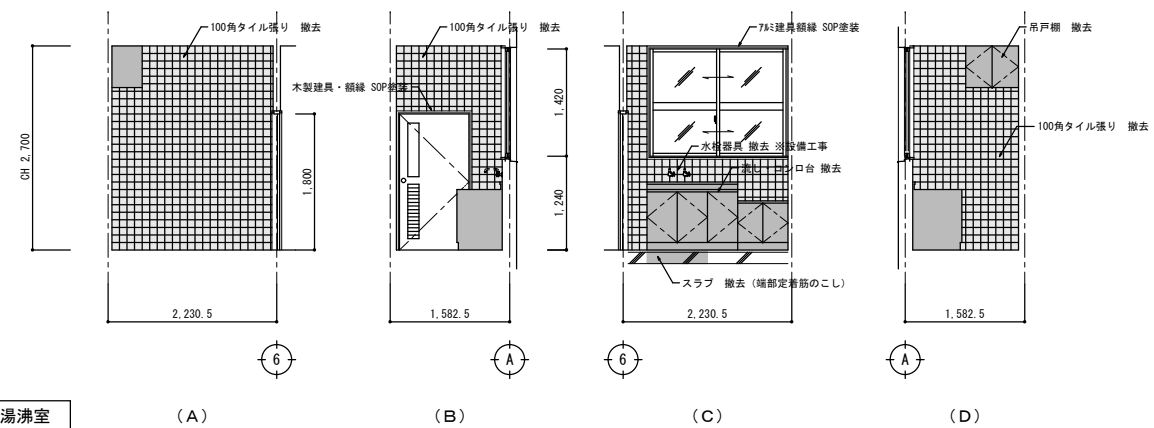
紙版(1/1)
 A3版(50%)
 図面番号 A-20
 縮尺 設計年月
 1:50 2024年1月

改修前



衛生活室

保育教材庫

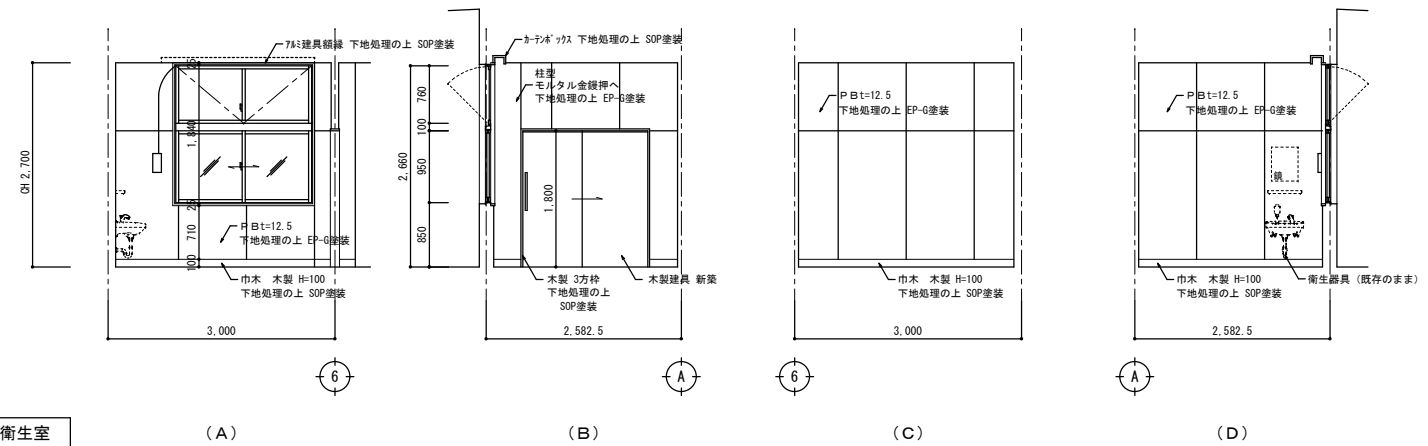


湯沸室

※衛生器具は撤去 (設備工事)
 ※参考) スラブ配筋: 短辺 上下D10.13交互@200、長辺 上下D10@200

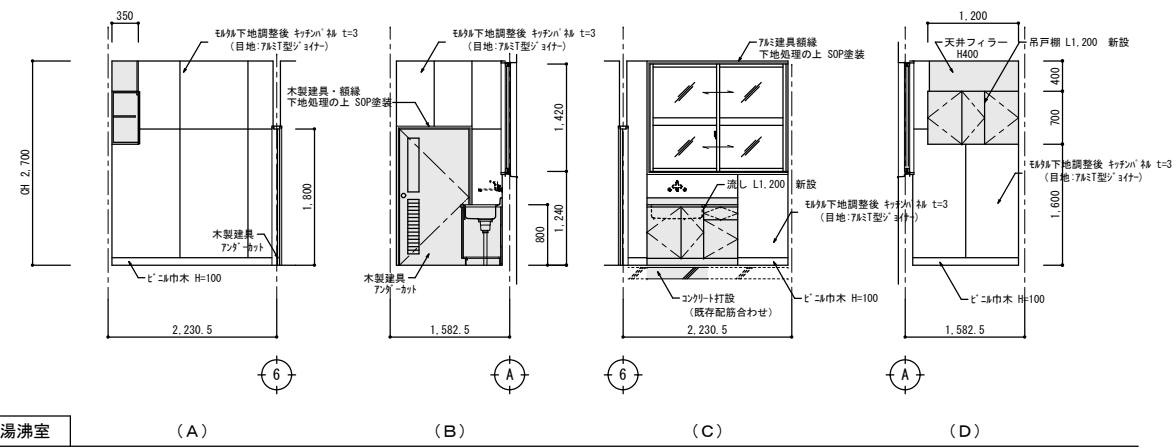
内部間仕切: 軽量間仕切 7インチ 53x53x9mm 下地 4x4張り

改修後



衛生活室

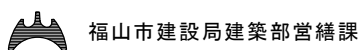
保育教材庫



湯沸室

※衛生器具取付けは設備工事

変更年月日・変更事項

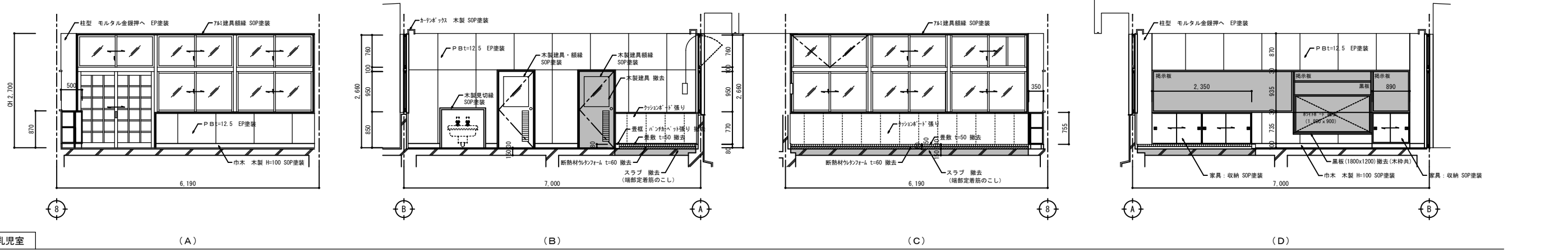


高橋啓之設計事務所
 1 級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
 広島県福山市明神町 2 丁目 7 番 35 号
 1 級建築士 構造 1 級建築士 設備 1 級建築士
 (登録 183507号) (登録 7233号) (登録 2832号)
 高橋 啓之

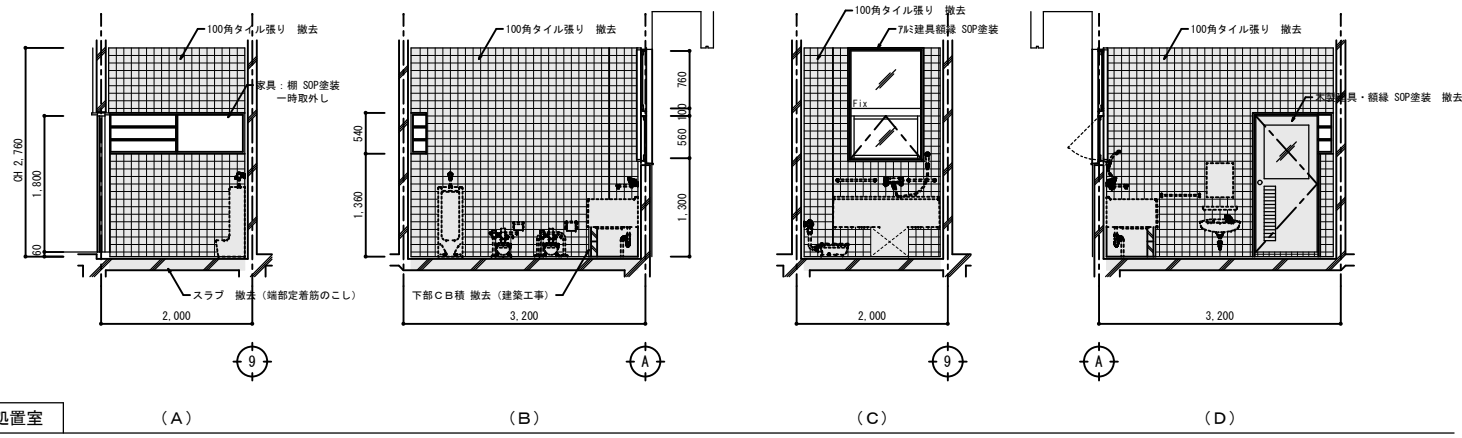
工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事
 図面名称 改修前後 展開図 6 (衛生活室・保育教材庫・湯沸室)

起版 (7/1)	図面番号
A3版 (5/2)	A-21
縮尺	設計年月
1:50	2024年 1月

改修前

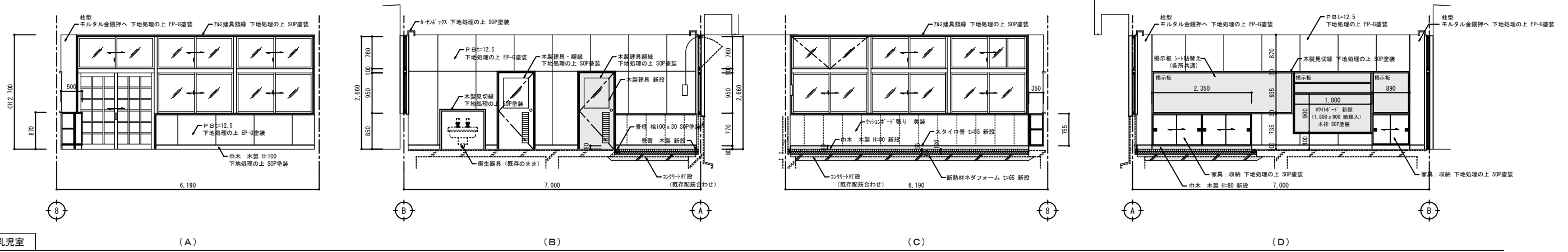


乳児室
 ※衛生器具は撤去（設備工事）
 ※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：短辺 上下共D10.13交互@200、長辺 上下共D10@200

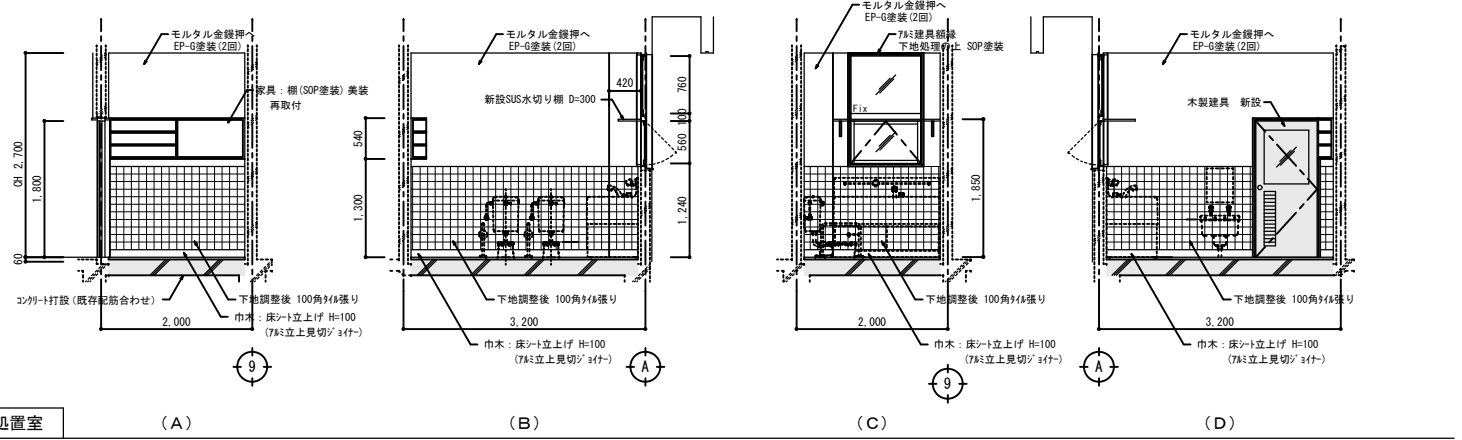


処置室
 ※衛生器具は撤去（設備工事）
 ※参考）コンクリートt=150、スラブ配筋：短辺 上下共D10.13@200、長辺 上下共D10@200

改修後

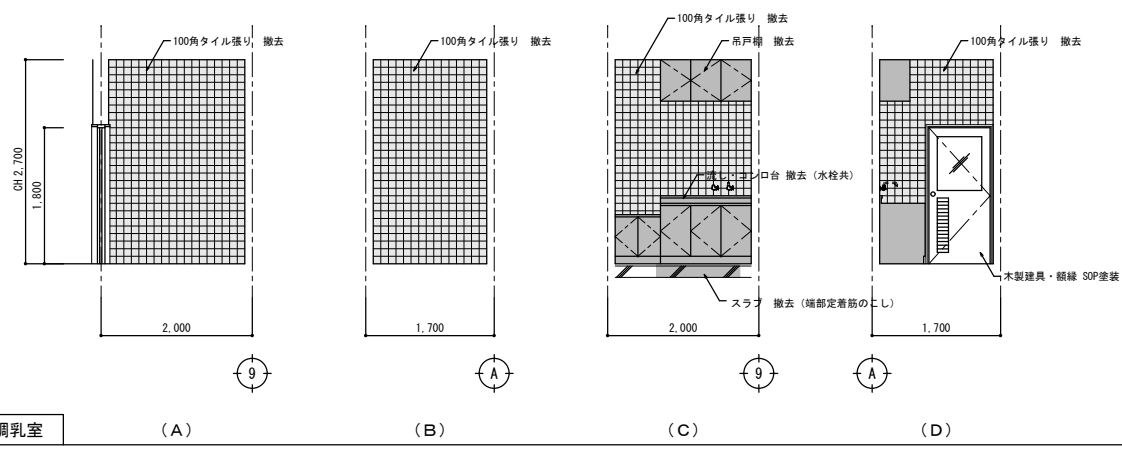


乳児室
 ※ 掲示板：新設 掲示板用ソフト合板 T2 t=5.5 表面材マグネット兼用スポンジシート貼 既存 掲示板木枠下地処理の上 SOP塗装

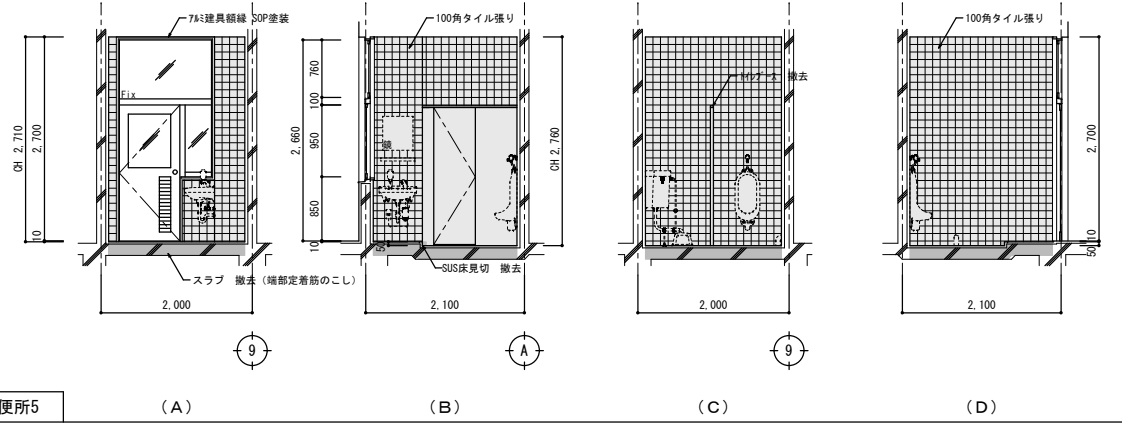


処置室
 ※衛生器具取付けは設備工事

改修前

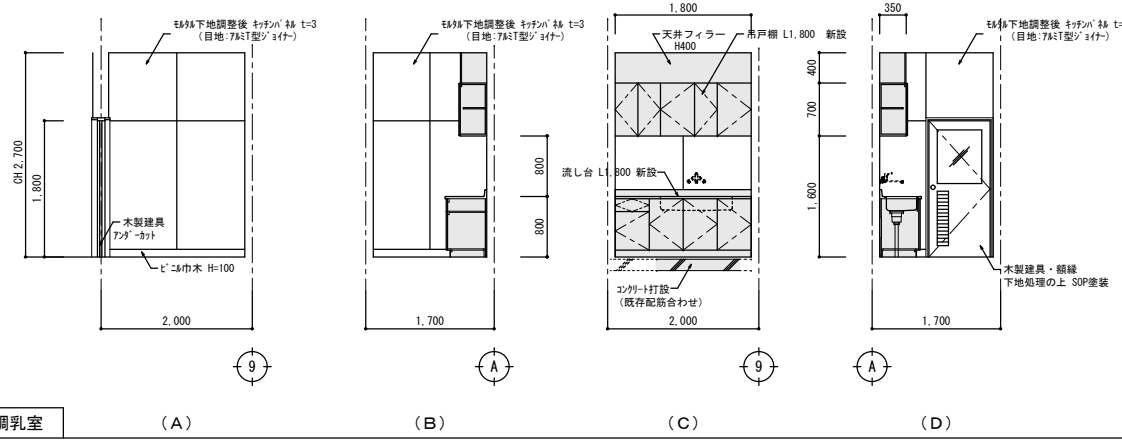


調乳室 (A) (B) (C) (D)
 ※衛生器具は撤去 (設備工事)
 ※参考) コンクリートt=150、スラブ配筋: 短辺 上下共D10@200、長辺 上下共D10@250

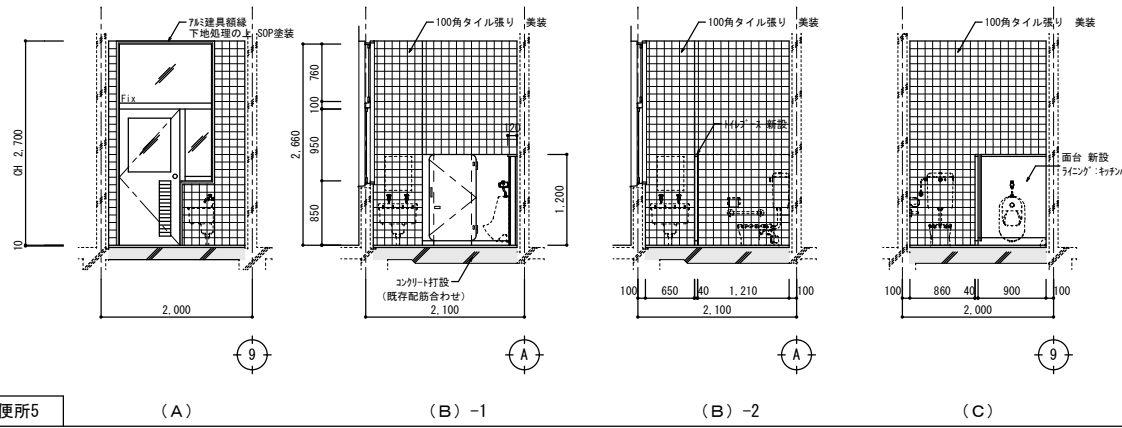


便所5 (A) (B) (C) (D)
 ※衛生器具は撤去 (設備工事)
 ※参考) コンクリートt=150、スラブ配筋: 短辺 上下共D10@200、長辺 上下共D10@250

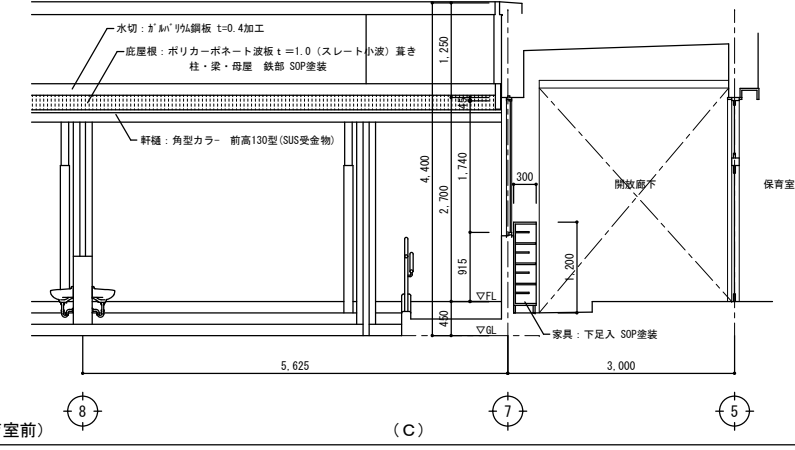
改修後



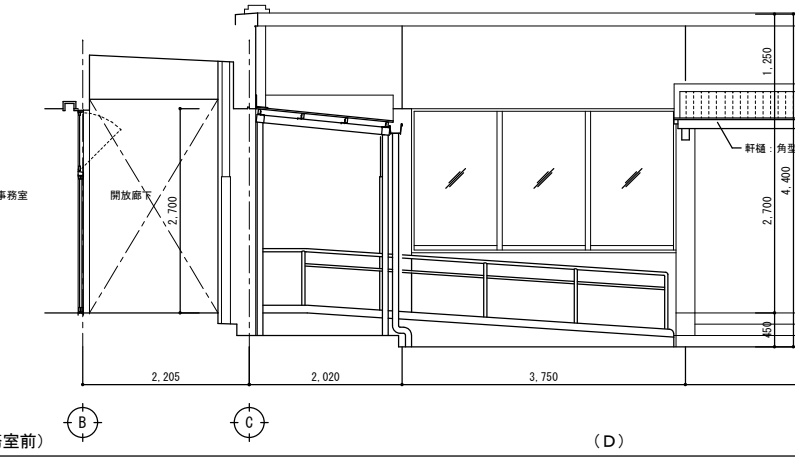
調乳室 (A) (B) (C) (D)
 ※衛生器具撤去は設備工事



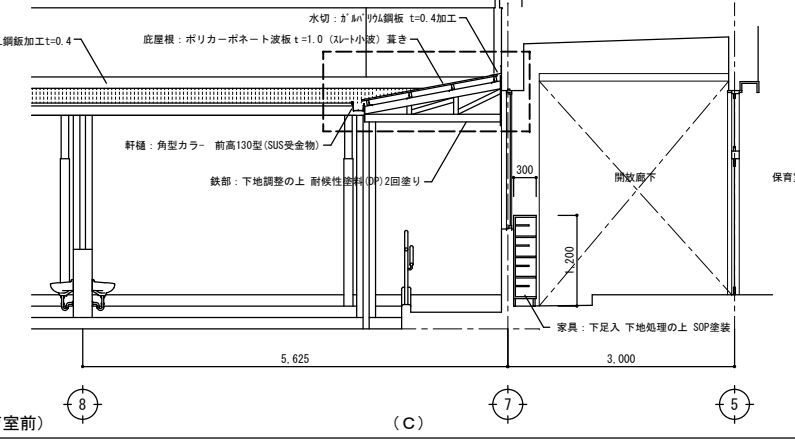
便所5 (A) (B)-1 (B)-2 (C) (D)
 ※既存衛生器具撤去部分のタイル補修は建築工事とする。 ※新設床シート、既存壁タイルの取合い部は3x3x3系シーリング処理とする。
 ※衛生器具撤去は設備工事



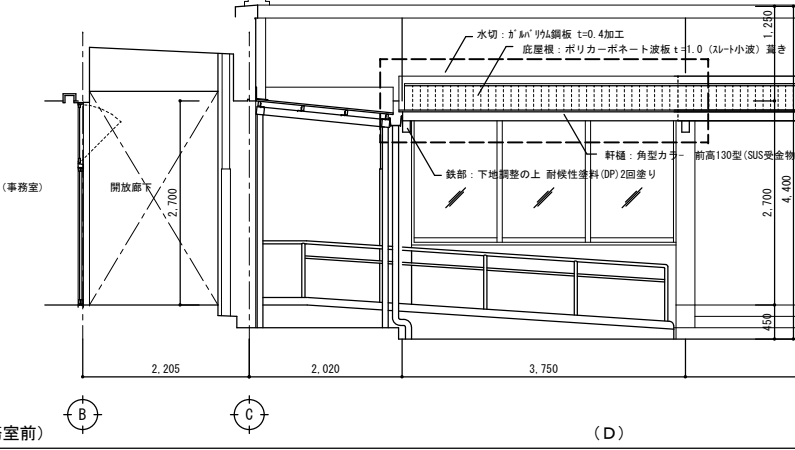
開放廊下 (保育室前) (A) (B) (C) (D) (E)



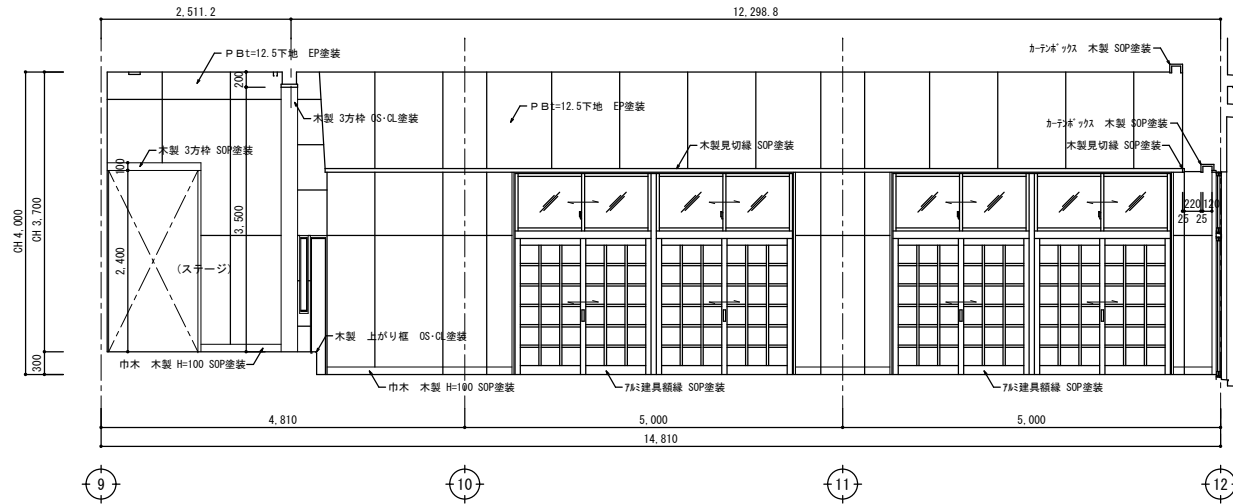
開放廊下 (事務室前) (A) (B) (C) (D) (E) (F)



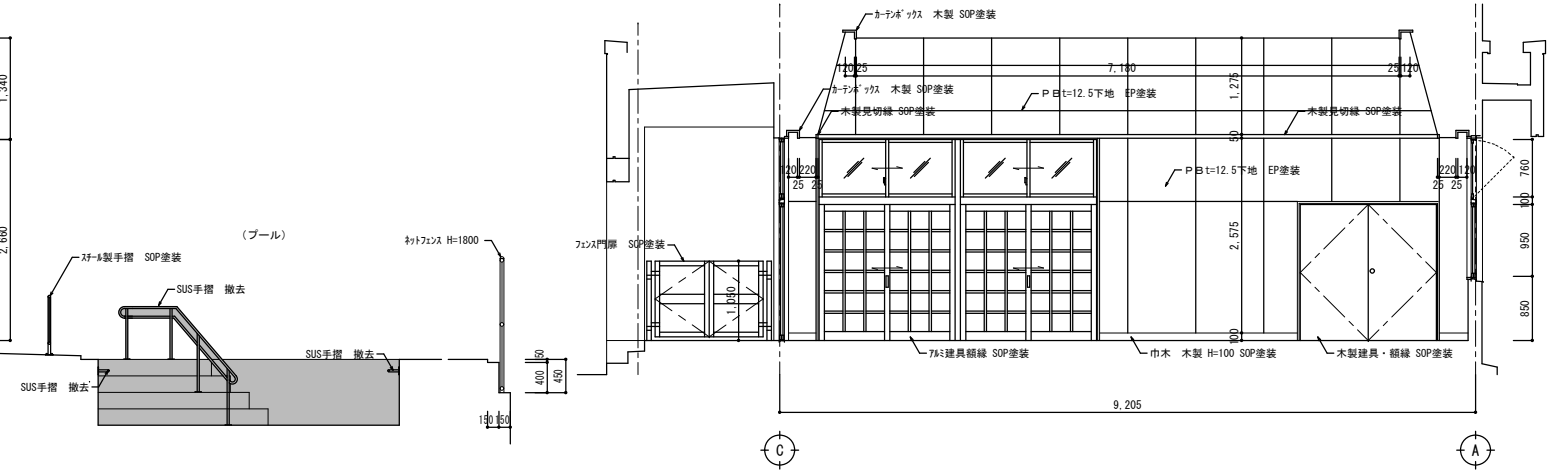
開放廊下 (保育室前) (A) (B) (C) (D) (E)
 ■■■ 庇 新設部分



開放廊下 (事務室前) (A) (B) (C) (D) (E) (F)
 ■■■ 庇 新設部分



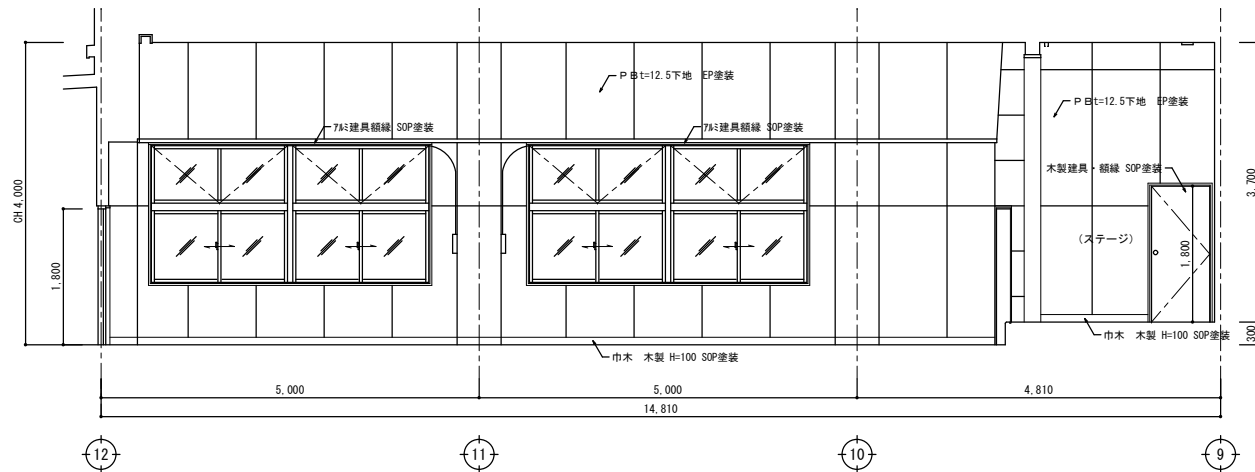
(A)



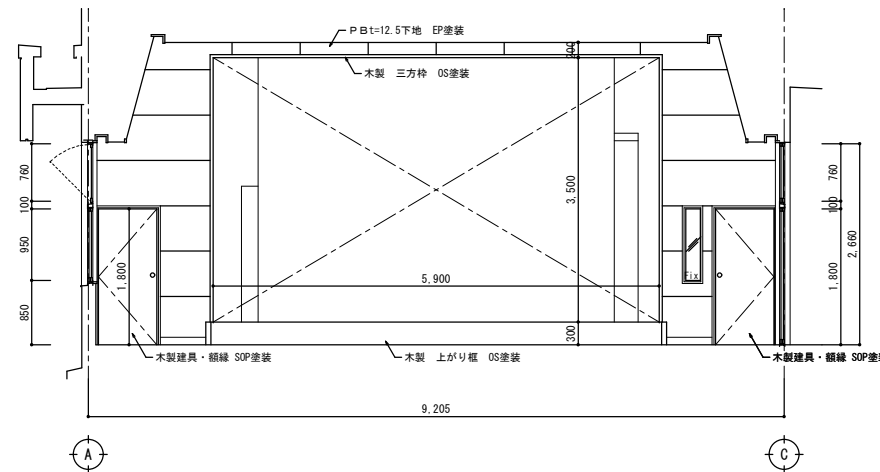
(B)

遊戯室

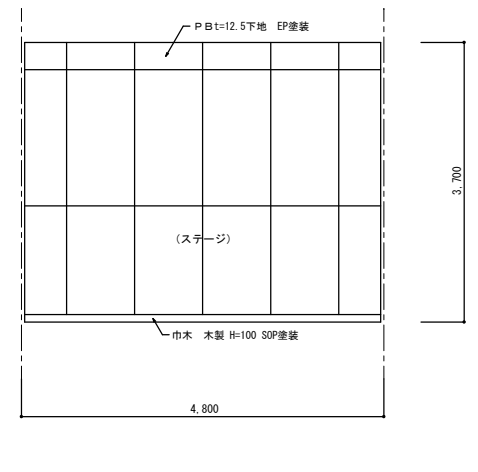
※ステージ 前幕、袖幕、一文字幕、バック幕等は一時撤去復旧とする。



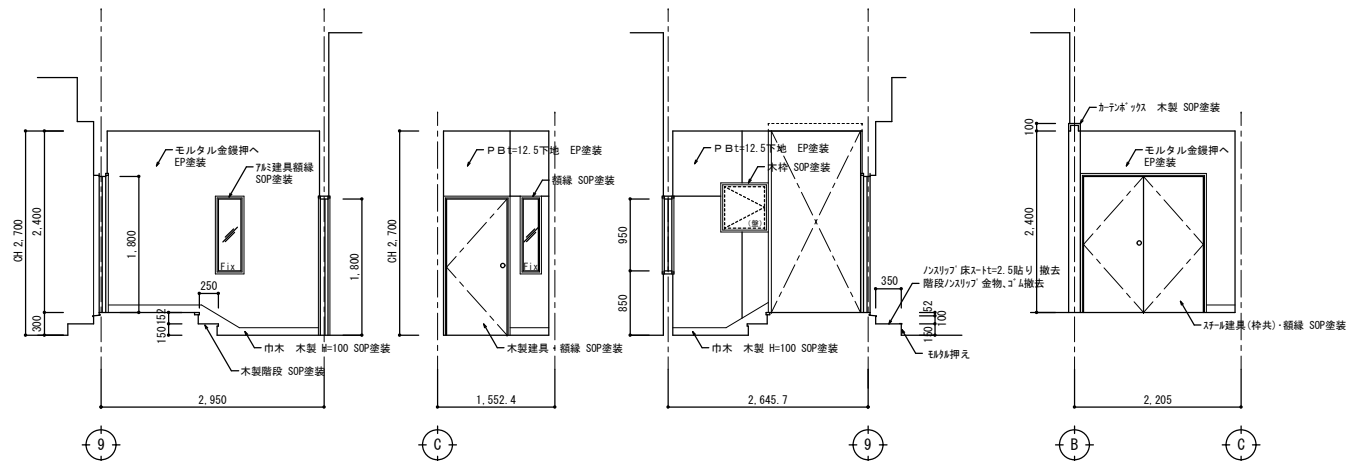
(C)



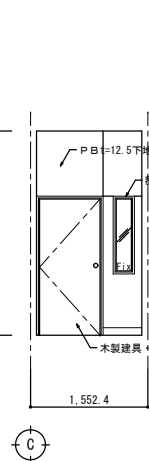
(D)



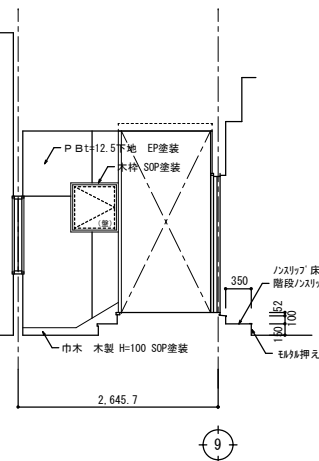
(D)



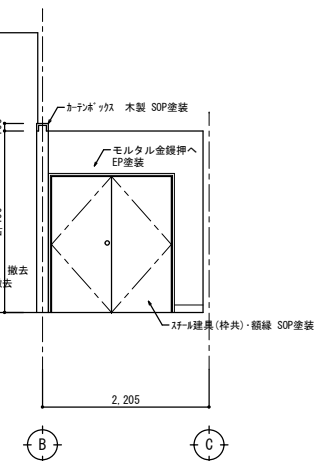
(A)



(B)

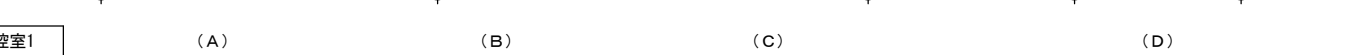


(C)

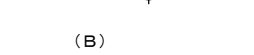


(D)

控室1



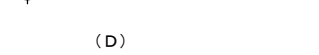
(A)



(B)

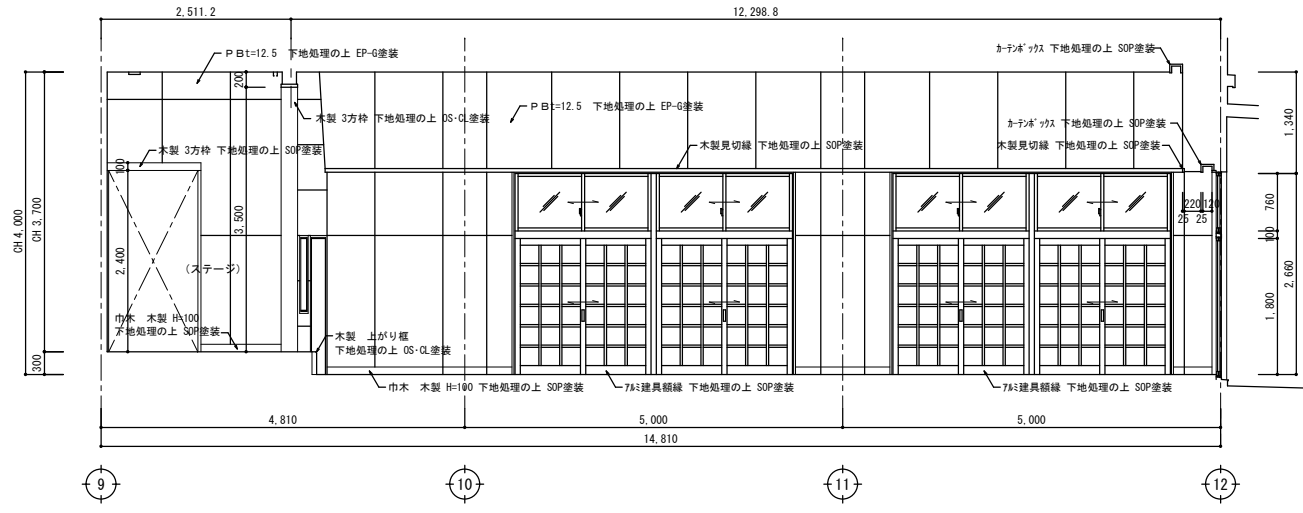


(C)

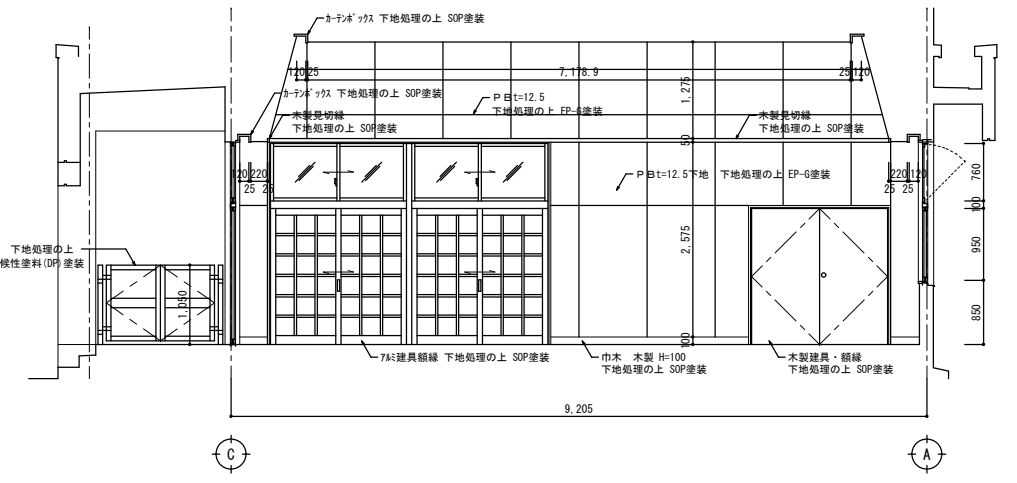
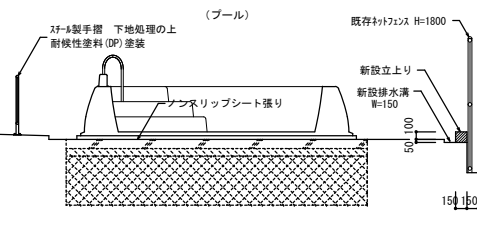


(D)

控室2

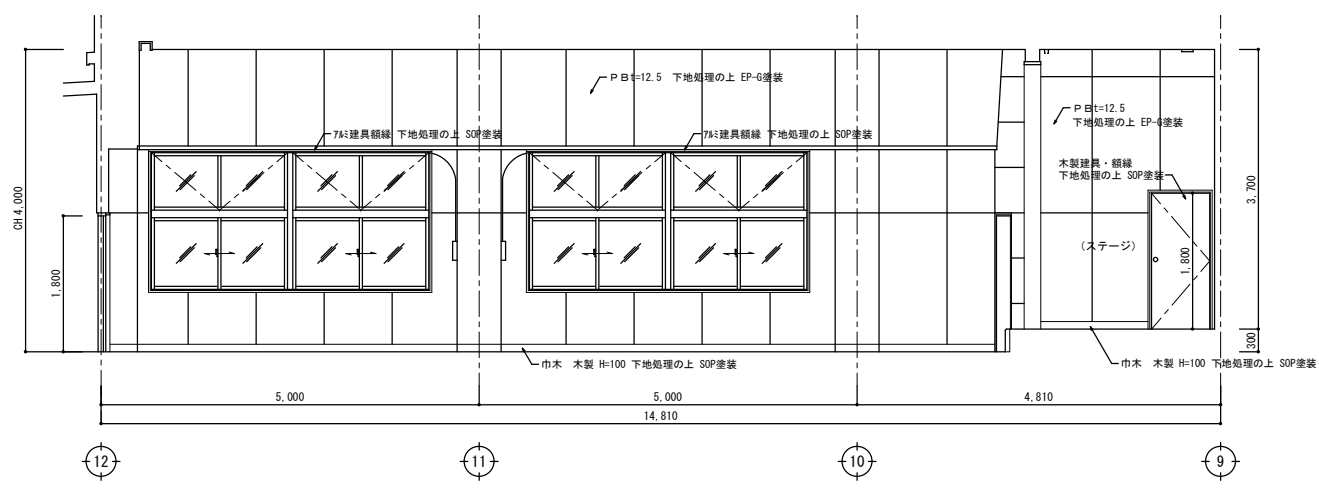


(A)

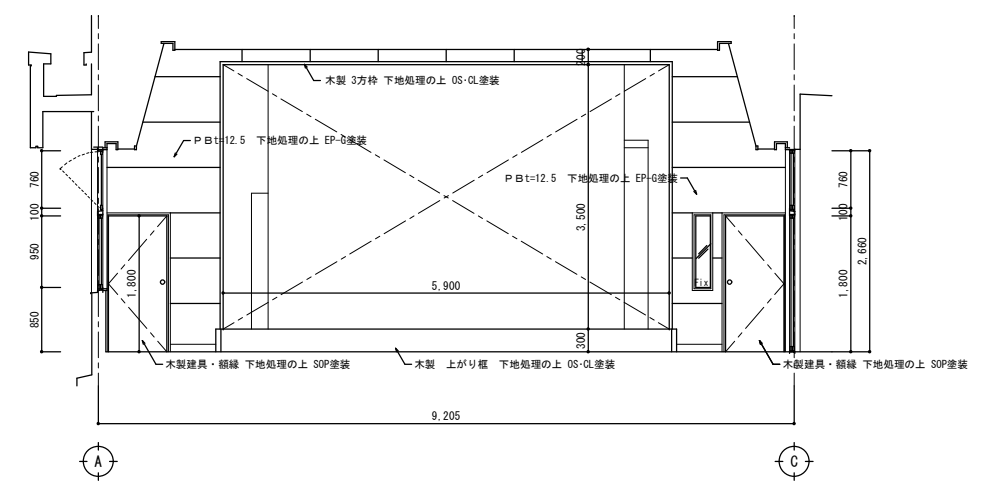


(B)

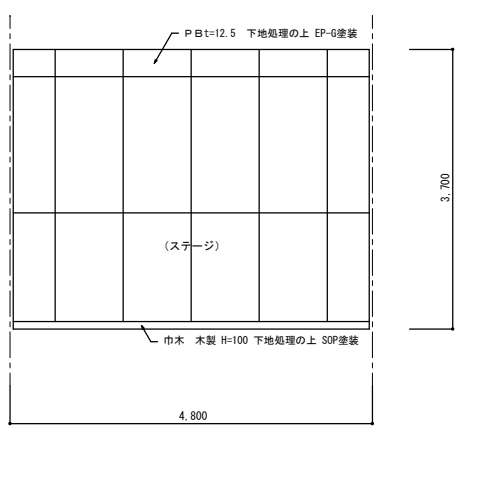
遊戯室



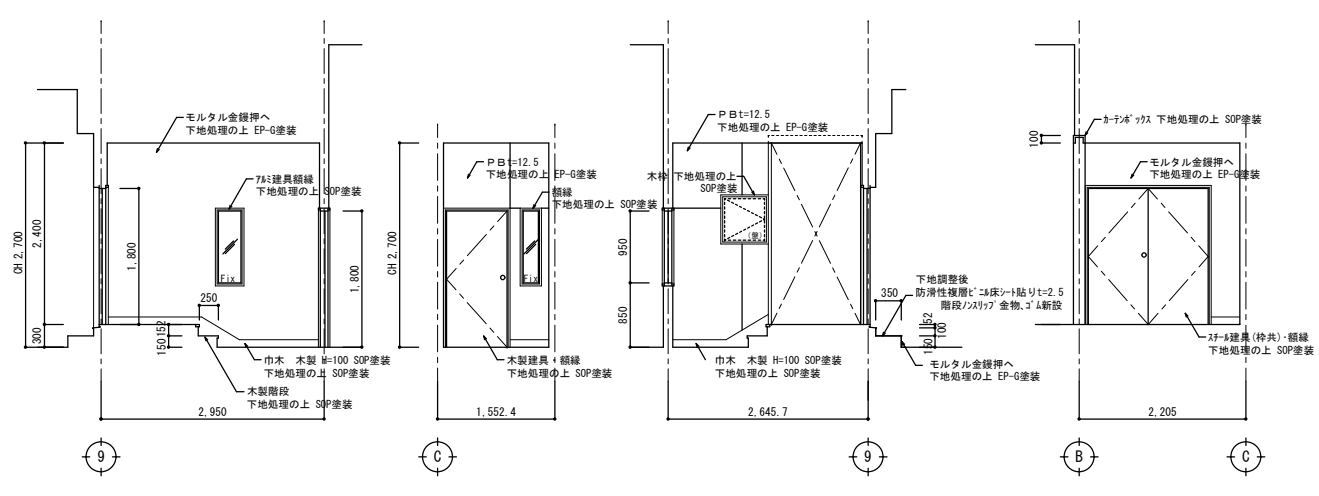
(C)



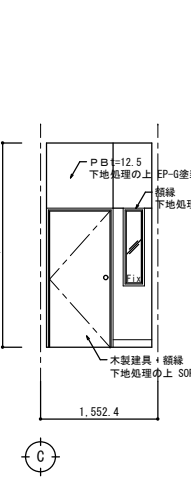
(D)



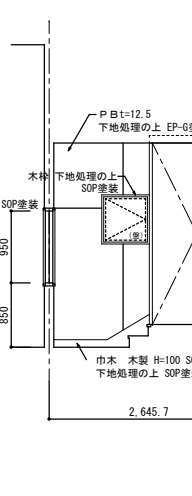
(D)



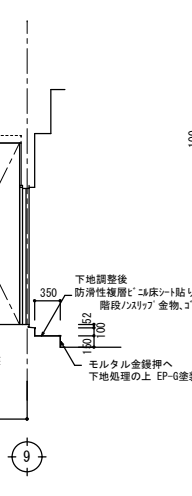
(A)



(B)

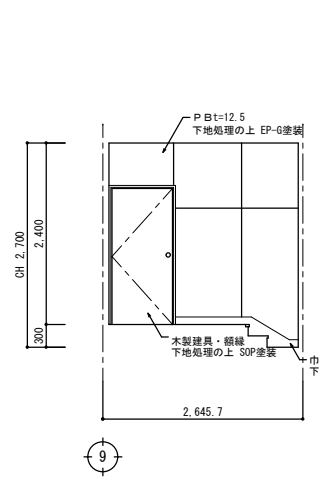


(C)

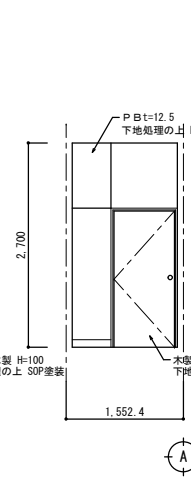


(D)

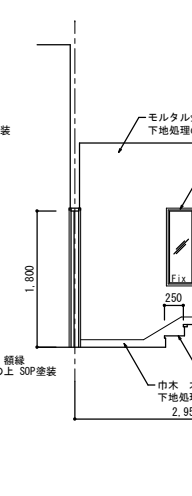
控室1



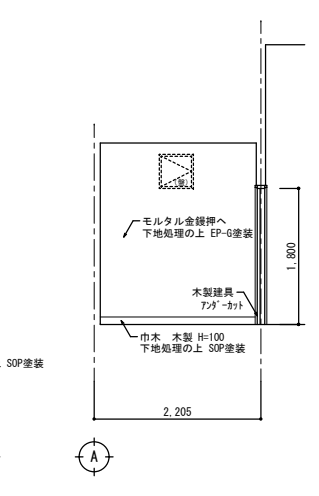
(A)



(B)

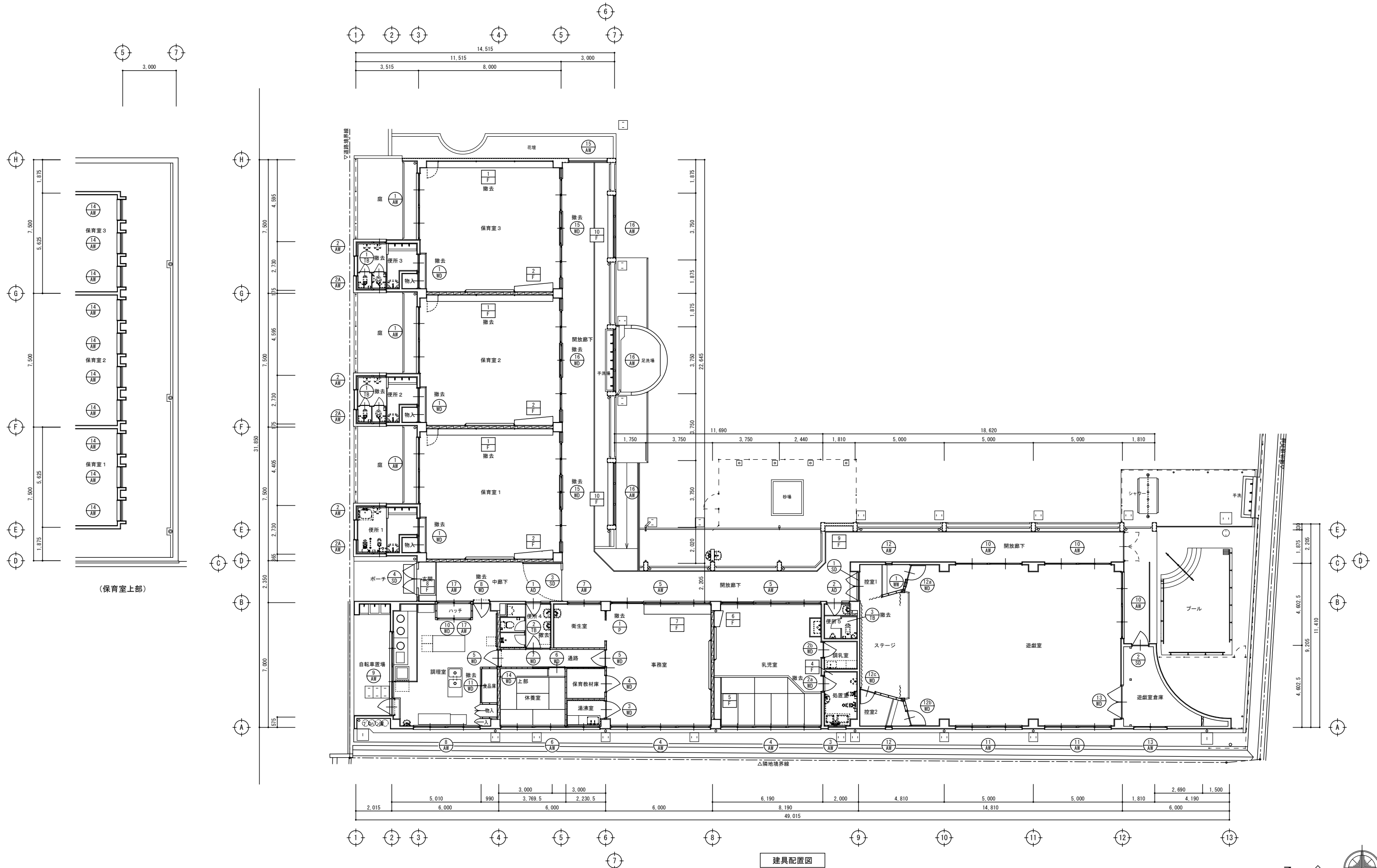


(C)



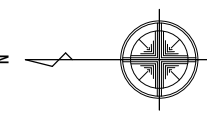
(D)

控室2



建具配置図

● 建具記号を示す
 * 家具記号を示す

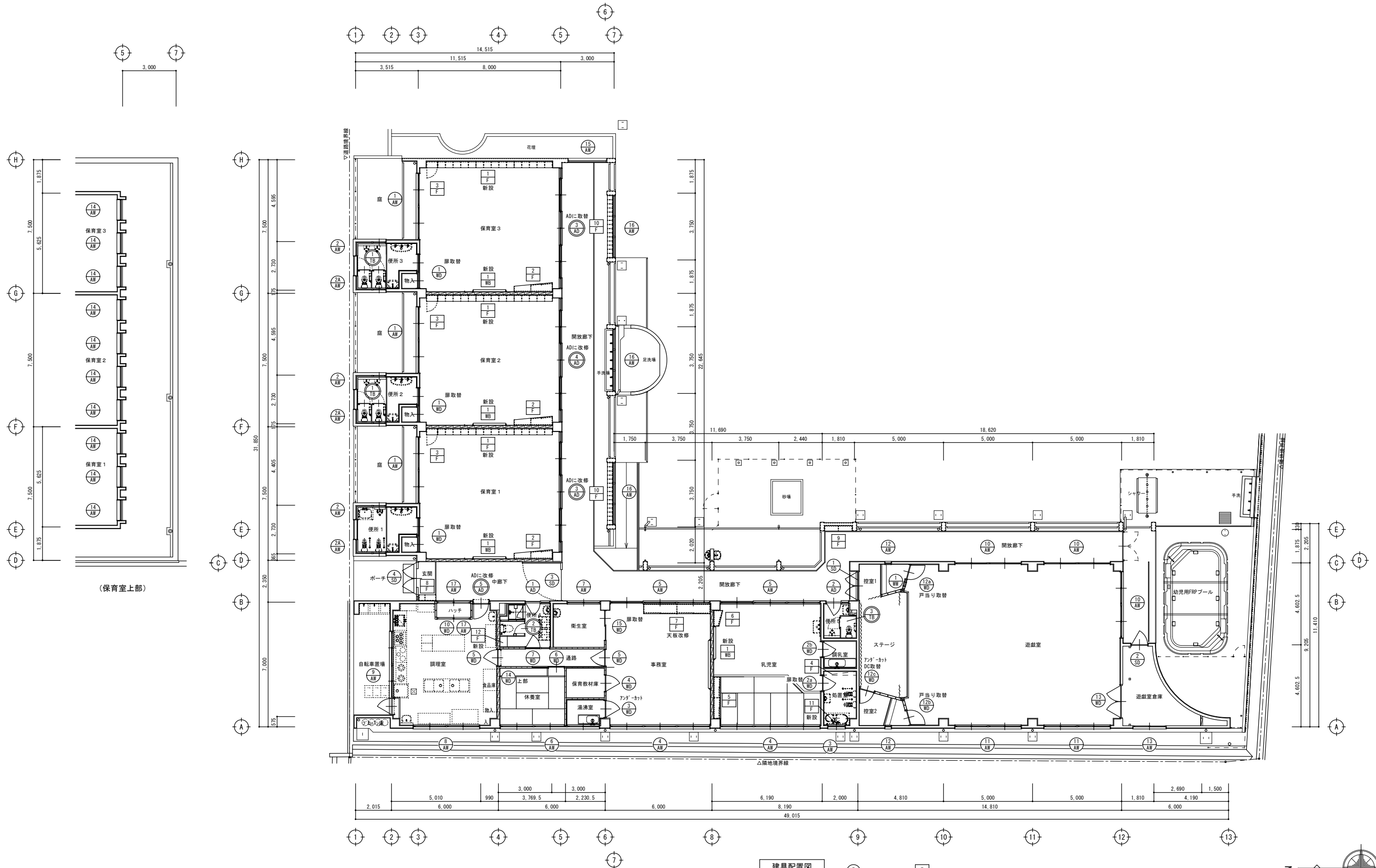


改修前

<p>符号 数量</p> <p>① x 3 ランマ 外側し窓/引違い戸</p>	<p>符号 数量</p> <p>② x 3 ②A x 3 袖片開き窓・FIX窓</p> <p>※2Aは窓面左右対称とする</p>	<p>符号 数量</p> <p>③ x 1 ランマ FIX窓/突き出し窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>④ x 2 ランマ 引違い窓・外側し窓/引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑤ x 2 ランマ 引違い窓/引違い戸・引違い窓</p>	
<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	
<p>符号 数量</p> <p>⑥ x 1 引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑦ x 1 ランマ 外側し窓/引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑧ x 1 ランマ 外側し窓・引違い窓/引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑨ x 1 ランマ 引違い窓・FIX窓/ガラリ付片開き戸・引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑩ x 3 ランマ 引違い窓/引違い戸</p>	
<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	
<p>符号 数量</p> <p>⑪ x 2 ランマ 外側し窓/引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑫ x 2 FIX窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑬ x 1 ランマ 引違い窓/引違い窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑭ x 10 FIX窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑮ x 3 FIX窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑯ x 2 引違い窓</p>
<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>
<p>符号 数量</p> <p>⑰ x 1 ランマ FIX窓/ガラリ付片開き戸・FIX窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑱ x 1 ランマ FIX窓/ガラリ付片開き戸・FIX窓</p>	<p>符号 数量</p> <p>⑳ x 1 両開き戸</p>	<p>符号 数量</p> <p>㉑ x 1 ガラリ付片開き戸</p>	<p>符号 数量</p> <p>㉒ x 1 塗装</p>	<p>符号 数量</p> <p>㉓ x 1 ランマ FIX窓/引違い戸・袖FIX窓</p>
<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>室名</p> <p>見込</p> <p>仕上</p> <p>塗装</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>

- 硝子の符号
- FL フロート板ガラス
 - F 型板ガラス
 - F(S) すりガラス
 - PW 網入り防犯板ガラス
 - PWL 網入り防犯板ガラス
 - FWL 網入り防犯板ガラス
 - ST 学校用強化ガラス
 - T 強化ガラス
 - FT 強化型板ガラス
 - AC アクリル板

改修前							
符号 数量	①前 x 3 ガラリ付引違いフラス戸	②前 x 2 ガラリ付片開きフラス戸	③前 x 1 ガラリ付片開きフラス戸	④前 x 1 片開きフラス戸	⑤前 x 2 片開きフラス戸	⑥前 x 1 片引き格子扉戸	⑦前 x 1 袖F1X窓・片開き扉戸
撤去 (改修後 WD-1参照)	・2a(処置室) 撤去 (改修後 WD-2a参照) ・2b(調理室) 既存のまま	・アゲ-カット (改修後 WD-3参照)					
図面							
室名	保育室1・2・3	調乳室・処置室	湯沸室	保育教材庫	通路	休養室	便所4
見込	40	40	40	40	40	70	枠 100/扉 40
仕上	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製
塗装	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP (通路側) / OS (室内側)	SOP
硝子	FL3	FL3	F2	-	F2	F2	F4
金物	引手、戸車、SUS下枠レール	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り、処置室: SUS寄置	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り	引手、戸車、SUS下枠レール	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り、SUS寄置
備考	-	-	-	-	調理室入口: アコーディオン網戸	-	-
符号 数量	⑧前 x 1 ガラリ付片引き扉戸		⑩前 x 1 上下段 引違いフラス戸 (中段 引違い窓7&2)	⑪前 x 1 引違いフラス戸 / 両開きフラス戸	⑫前 x 3 片開きフラス戸	⑬前 x 1 両開きフラス戸	⑭前 x 1 ランマ 引違い格子窓
撤去 (改修後 AD-5参照)				撤去	・12a, 12b: 金物改修 (改修後 WD-12参照) ・12c: 金物改修、アゲ-カット (改修後 WD-12参照)		
図面							
室名	調理室	調理室	調理室	調理室	控室1・2	遊戯室	休養室
見込	40	30	30	40	40	40	30
仕上	木製	木製・カラーアルミ	木製	木製	木製	木製	木製
塗装	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP (通路側) / OS (室内側)
硝子	F4	-	-	-	-	-	F(S) 3
金物	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り、SUS寄置	引手、甲丸レール、戸車	引手、甲丸レール、戸車、丁番、マグネットキャッチ	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り	丁番、ドアチェック、握り球錠 (リッゲ-)、戸当り、フランス落し	引手、甲丸レール、戸車、クレセント
備考	アコーディオン網戸	-	-	-	-	-	-
符号 数量	⑮前 x 2 ランマ 袖F1X窓・引違い窓 / 袖F1X窓・引違い格子扉戸・引違い窓	⑯前 x 1 ランマ 袖F1X窓・引違い窓 / 袖F1X窓・引違い格子扉戸・引違い窓				⑰前 x 1 F1X窓	⑱前 x 1 アコーディオンドア
撤去 (改修後 AD-3参照)		撤去 (改修後 AD-4参照)					撤去 (改修後 WD-15参照)
図面							
室名	保育室1・3	保育室2	控室1	衛生室			
見込	入口 40 / 窓 36	入口 40 / 窓 36	40	40			
仕上	木製	木製	木製	木製			
塗装	SOP	SOP	SOP	SOP			
硝子	ランマ F(S) 3 / 上部 FL3・下部 AC3	ランマ F(S) 3 / 上部 FL3・下部 AC3	F L5 (5+)	-			
金物	引手、クレセント、戸車、SUS下枠レール、引違い錠 (リッゲ-)	引手、クレセント、戸車、SUS下枠レール、引違い錠 (リッゲ-)	-	-			
備考	-	-	-	-			
符号 数量	⑲前 x 2 トイレブース	⑳前 x 1 トイレブース	㉑前 x 1 トイレブース				
撤去 (改修後 TB-1参照)	撤去 (改修後 TB-2参照)	撤去 (改修後 TB-3参照)					
図面							
室名	便所2・3	便所4	便所5				
見込	40	40	40				
仕上	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板				
塗装	-	-	-				
硝子	-	-	-				
金物	笠木、巾木、丁番、スライドロック、取手	笠木、巾木、丁番、スライドロック、取手	笠木、巾木、丁番、スライドロック、取手				
備考	-	-	-				



建具配置図

● 建具記号を示す

■ 家具記号を示す

※作成に当たっては現地調査確認の上施工図を作成し監督員の承諾を受けること

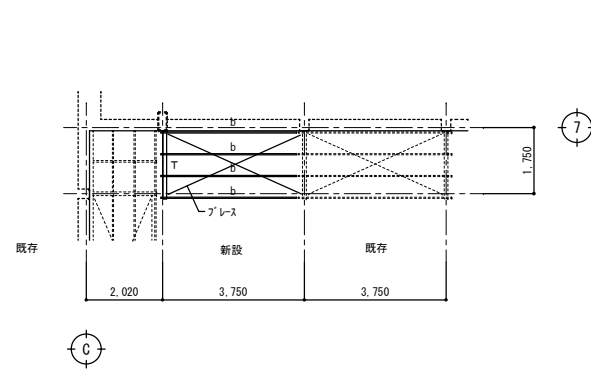
※網戸(外部、開放廊下部分)は張替え及び調整とする

※既存建具は全て立て付け調整、ガラスクリーニングを行うこと

改修後 ※既存建具は全て立て付け調整、ガラスクリーニングを行うこと

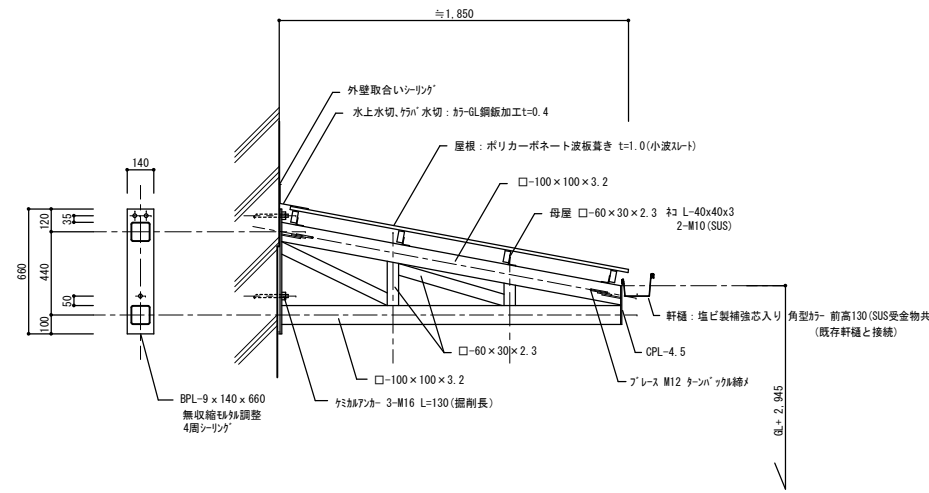
<p>符号 数量</p> <p>①AW x 3 ランマ 外開し窓/引違い戸</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,670</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 3 袖片開き窓・FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ FIX窓/突き出し窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 920</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 2 ランマ 引違い窓・外開し窓/引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 2 ランマ 引違い窓/引違い戸・引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>		
<p>室名</p> <p>保育室 1・2・3</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ F(S) 3/上部 FL3・下部 AC3</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (掃出し部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>便所 1・2・3</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>F6</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>処置室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>FWL6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>事務室・乳児室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ FWL6.8/FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>事務室・乳児室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ F(S) 3/上部 FL3・下部 AC3</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連部) 張替え</p>		
<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ 外開し窓/引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 1,800</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ 外開し窓・引違い窓/引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,670</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ 引違い窓・FIX窓/ガラリ付片開き戸・引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 3 ランマ 引違い窓/引違い戸</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,670</p>		
<p>室名</p> <p>休養室・湯浴室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>FWL6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 張替え</p>	<p>室名</p> <p>衛生室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ F(S) 3/FL3</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>調理室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ FWL6.8/FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>調理室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ FWL6.8/FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連、ランマ部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>遊戯室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ F(S) 3/上部 FL3・下部 AC3</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>		
<p>符号 数量</p> <p>①AW x 2 ランマ 外開し窓/引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,670</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 2 FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ 引違い窓/引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 1,800</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 10 FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 3 FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,400</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 2 引違い窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え) 3,670</p>
<p>室名</p> <p>遊戯室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ FWL6.8/FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>網戸 (中連部) 張替え</p>	<p>室名</p> <p>控室 1・2</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>控室1 FL3/控室2 FWL6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>遊戯室倉庫</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ランマ FWL6.8/FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>保育室 1・2・3</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>FL5</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>開放廊下</p> <p>見込</p> <p>100</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>FWP6.8</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>開放廊下</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ST4</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>調理室 (ハッチ)</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ST4</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>
<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ FIX窓/ガラリ付片開き戸・FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ FIX窓/ガラリ付片開き戸・FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>符号 数量</p> <p>①SB x 1 両開き戸</p> <p>既存のまま</p>	<p>符号 数量</p> <p>①SB x 1 ガラリ付片開き戸</p> <p>既存のまま</p>	<p>符号 数量</p> <p>①SB x 1 塗装</p> <p>既存のまま</p>	<p>符号 数量</p> <p>①AW x 1 ランマ FIX窓/引違い戸・袖FIX窓</p> <p>既存のまま (木製顔縁 SOP塗替え)</p>	<p>硝子の符号</p> <ul style="list-style-type: none"> FL フロート板ガラス F 型板ガラス F(S) すりガラス PW 網入り磨き板ガラス PWL 網入り磨き板ガラス FWL 網入り磨き板ガラス ST 学校用強化ガラス T 強化ガラス FT 強化型板ガラス AC アクリル板
<p>室名</p> <p>便所 4</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>F6</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>便所 5</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>F6</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>遊戯室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>スチール</p> <p>塗装</p> <p>SOP</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>遊戯室倉庫</p> <p>見込</p> <p>40</p> <p>仕上</p> <p>スチール</p> <p>塗装</p> <p>SOP</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>中廊下</p> <p>見込</p> <p>45</p> <p>仕上</p> <p>スチール</p> <p>塗装</p> <p>SOP</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>玄関</p> <p>見込</p> <p>40</p> <p>仕上</p> <p>スチール</p> <p>塗装</p> <p>SOP</p> <p>硝子</p> <p>F6</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>	<p>室名</p> <p>遊戯室</p> <p>見込</p> <p>70</p> <p>仕上</p> <p>カラーアルミ</p> <p>塗装</p> <p>-</p> <p>硝子</p> <p>ST4</p> <p>金物</p> <p>既存のまま</p> <p>備考</p> <p>-</p>

改修後		※既存建具は全て立て付け調整、ガラスクリーニングを行うこと																	
符号	数量	① 100	x 3	ガラリ付引違いフタシユ戸	② 200	x 1	片開きフタシユ戸	③ 300	x 1	片開きフタシユ戸	④ 400	x 1	ガラリ付片開きフタシユ戸	⑤ 500	x 1	片開きフタシユ戸	⑥ 600	x 1	片引き格子戸
室名	保育室 1・2・3			処置室			調乳室			湯沸室			保育教材庫			通路			休養室
見込	40			40			40			40			40			40			70
仕上	木製			木製			木製			木製			木製			木製			木製
塗装	SOP			SOP			SOP			SOP			SOP			SOP			SOP (通路側) / OS (室内側)
硝子	ST4			ST4			FL3			F2			-			F2			F2
金物	標準金物一式 引戸錠(付カケ)、引棒L=600(両面)、SUSフタシユレール、SUS戸車、指掛防止ストッパー			標準金物一式 引棒、ドアチェック、握り球錠(付カケ)、戸当り			既存のまま			既存のまま 丁寧調整			既存のまま			既存のまま			既存のまま
備考	木製がリ SOP			木製がリ SOP			-			-			-			-			-
符号	数量	⑦ 100	x 1	袖 F1X窓・片開き戸	⑩ 100	x 1	上下段引違いフタシユ戸(中段7&2引違い窓)	⑫ 120	x 3	片開きフタシユ戸	⑬ 130	x 1	両開きフタシユ戸	⑭ 140	x 1	ランマ引違い格子窓			
室名	便所4			調理室			調理室			控室1・2			遊戯室			休養室			
見込	枠 100 / 扉 40			30			30			40			40			30			
仕上	木製			木製・カラーアルミ			木製・カラーアルミ			木製			木製			木製			
塗装	SOP			SOP			SOP			SOP			SOP			SOP (通路側) / OS (室内側)			
硝子	F4			-			-			-			-			F(S) 3			
金物	-			既存のまま			既存のまま			・12a、12b: 戸当り取替え ・12c: ドアノブ取替え、アダプター			既存のまま			既存のまま			
備考	-			-			-			-			-			-			
符号	数量	① 100	x 2	トイレブース	② 100	x 1	トイレブース	③ 100	x 1	トイレブース	① 100	x 1	F1X窓	⑮ 150	x 1	片引フタシユ戸(上吊式)			
室名	便所2・3			便所4			便所5			控室1			衛生室			衛生室			
見込	40			40			40			40			40			40			
仕上	メラミン化粧板			メラミン化粧板			メラミン化粧板			木製			木製			木製			
塗装	-			-			-			SOP			SOP			SOP			
硝子	-			-			-			-			-			-			
金物	笠木、巾木、丁番、スライドロック、取手 (Rコーナー、指はさみ帽子機構)			笠木、巾木、丁番、スライドロック、取手 (Rコーナー、指はさみ帽子機構)			笠木、巾木、丁番、スライドロック、戸手 (Rコーナー、指はさみ帽子機構)			既存のまま			既存のまま			標準金物一式 引戸錠(付カケ)、引棒L=300(両面)、上部レール、吊車、引棒、戸当り			
備考	三和SS パンジー TL14E 同等品			-			三和SS パンジー TL14E 同等品			-			-			-			
符号	数量	③ 100	x 2	ランマ袖 F1X窓・引違い窓/袖 F1X窓・引違い格子戸・引違い窓	④ 100	x 1	ランマ袖 F1X窓・引違い窓/袖 F1X窓・引違い格子戸・引違い窓	⑤ 100	x 1	片開き戸(カバー工法)	⑤ 100	x 2	片開き戸(カバー工法)						
室名	保育室 1・3			保育室 2			調理室			調理室			調理室						
見込	70 (MTG-70R/RC 三協7&2同等品)			70 (MTG-70R/RC 三協7&2同等品)			70			70			70						
仕上	カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ						
塗装	-			-			-			-			-						
硝子	ST4			ST4			ST4			ST4			ST4						
金物	SUSレール、戸車、両面アングルピース、指掛み防止ストッパー、引戸錠(内サムターン、外シリンドラー) ※引戸錠 H=1500 (7&2-4合せ)			SUSレール、戸車、両面アングルピース、指掛み防止ストッパー、引戸錠(内サムターン、外シリンドラー) ※引戸錠 H=1500 (7&2-4合せ)			SUSレール、戸車、両面アングルピース、指掛み防止ストッパー、引戸錠(内サムターン、外シリンドラー) ※引戸錠 H=1500 (7&2-4合せ)			丁番、引棒、引棒レール、シリンドラー錠、DC、アダプター加工、SUS金物 ガラリ(金物防虫網) 他標準金物一式			丁番、引棒、引棒レール、シリンドラー錠、DC、アダプター加工、SUS金物 ガラリ(金物防虫網) 他標準金物一式						
備考	網戸			網戸			網戸			-			-						



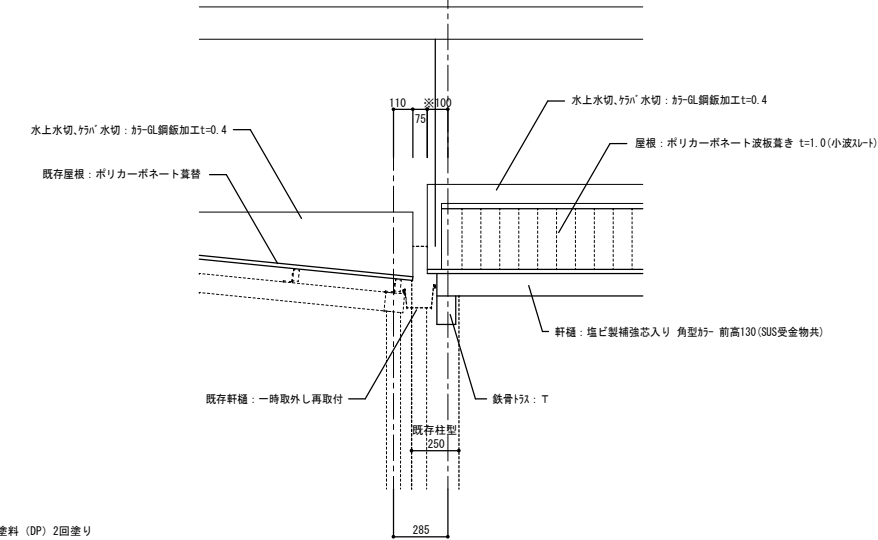
部材リスト T 上下材: □-100×100×3.2 束, 斜材: □-60×30×2.3
 b 母屋: □-60×30×2.3 わ L-40x40x3 2-M10 (SUS)
 (既存母屋取合部 PL-4.5 2-M10 (SUS) 取合部)
 プレース M12 タンバールナット PL-6 1-M12

※作成に当たっては現地調査確認の上施工図を作成し監督員の承認を受けること



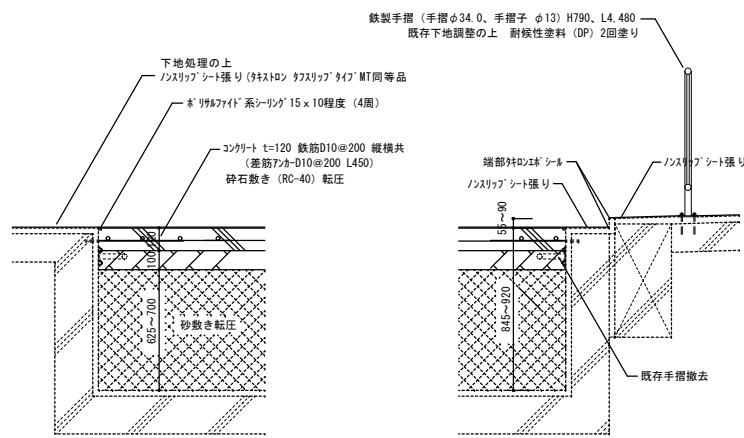
新設庇 詳細図 S=1:20

※塗装 新設鉄部: 錆止 (JIS K5625) の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り
 既存鉄部: 錆止 (JIS K5625) の上 耐候性塗料 (DP) 2回塗り
 ※タコボルト M16 引張荷重 25.4KN/本とする
 ※シーリングは変成シリコンシーリングとする



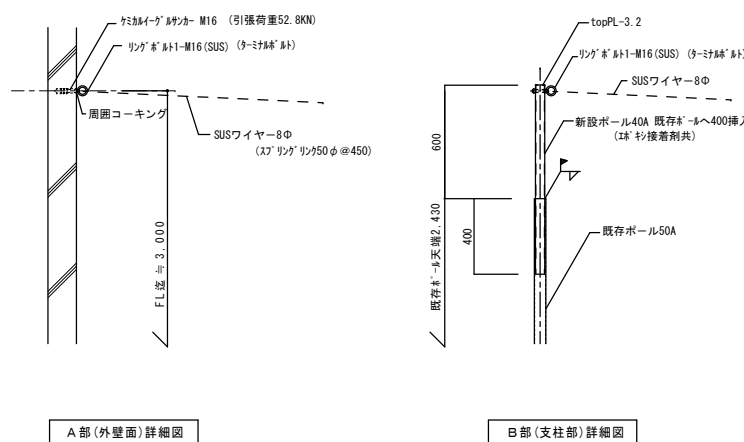
プール 新設土間廻り 詳細図

1:20



プール 日除け廻り 詳細図

1:20

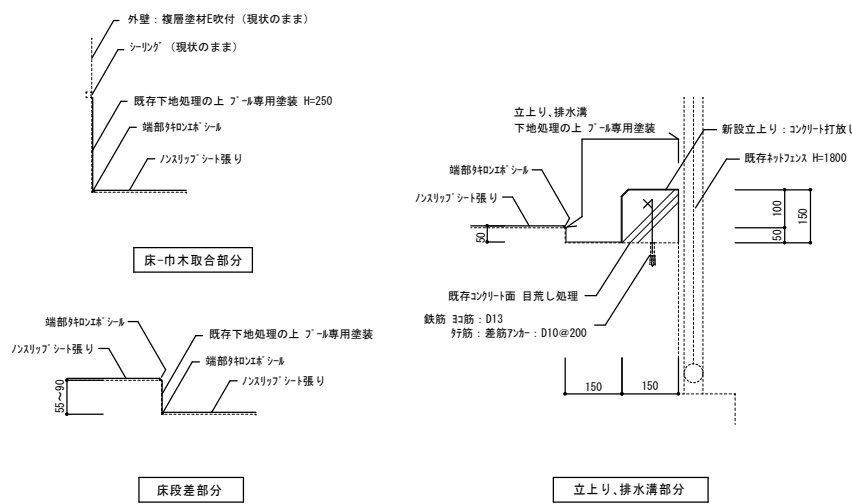


A部(外壁面)詳細図

B部(支柱部)詳細図

プールサイド 床、立上、排水溝等 詳細図

1:10



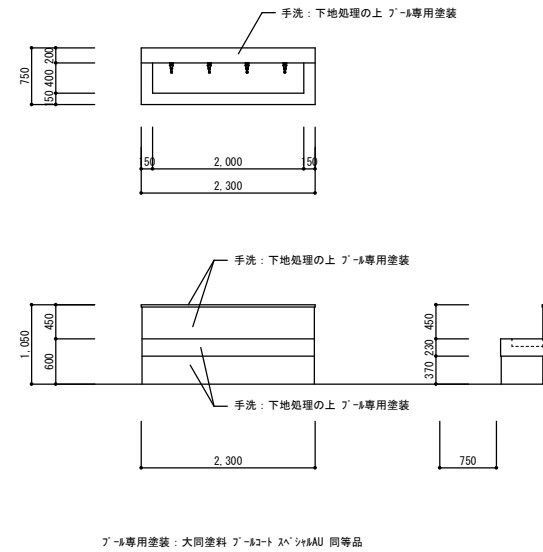
床-巾木取合部分

立上り, 排水溝部分

ノンスリップシート張り: タコボルト タコボルトタイプ MT同等品
 ア-専用塗装: 大同塗料 ア-コート スペシャルAU 同等品

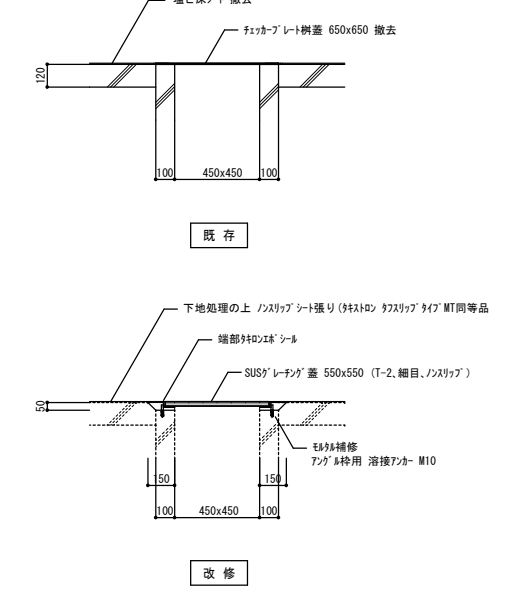
プールサイド 既存手洗 詳細図

1:50

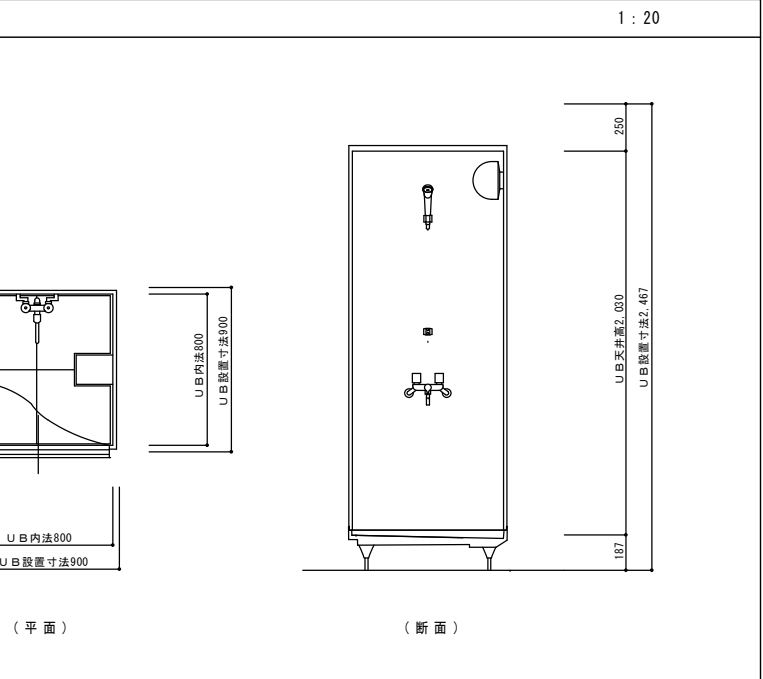
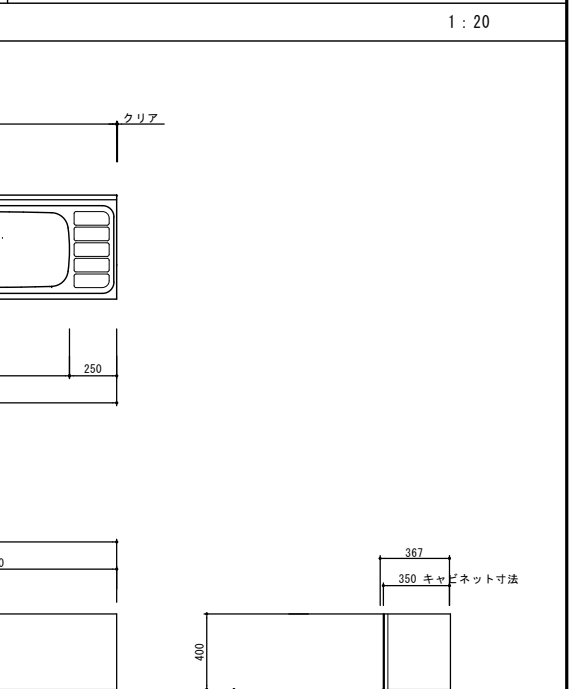
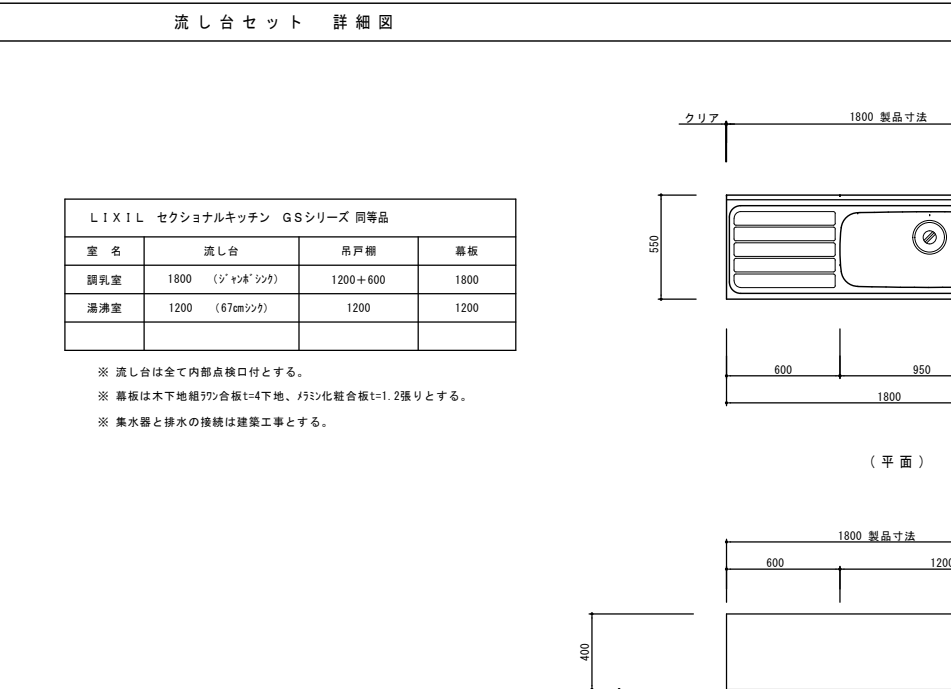
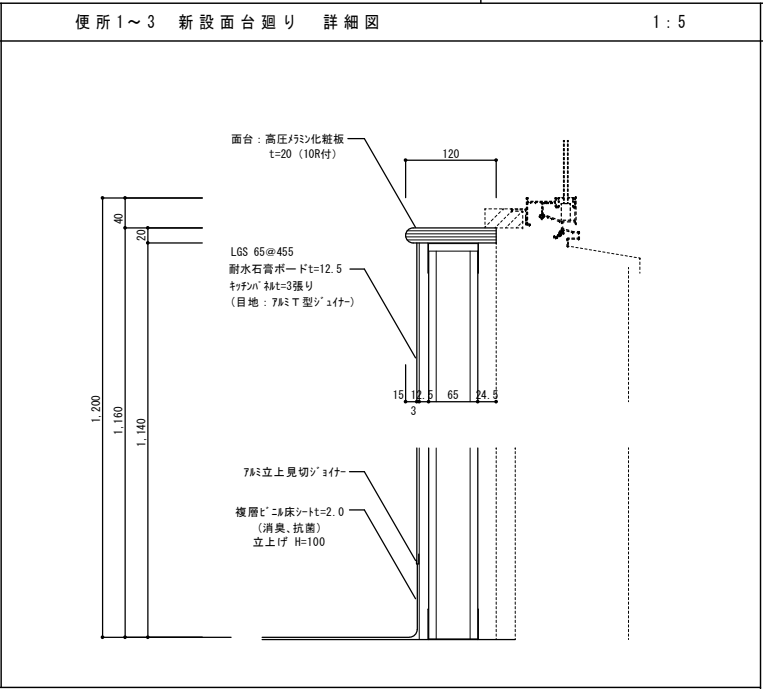
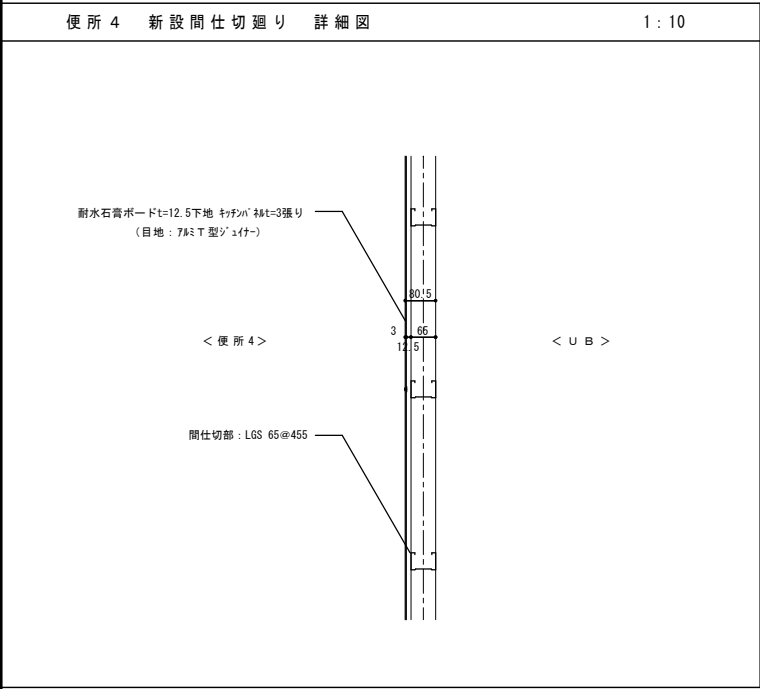
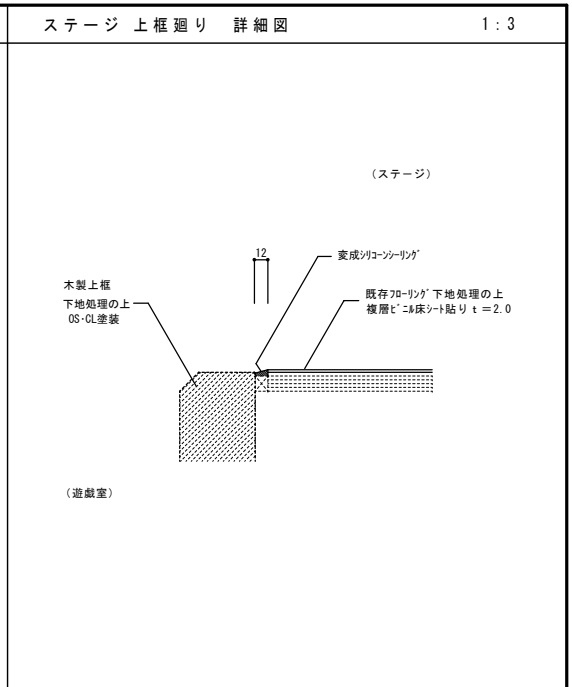
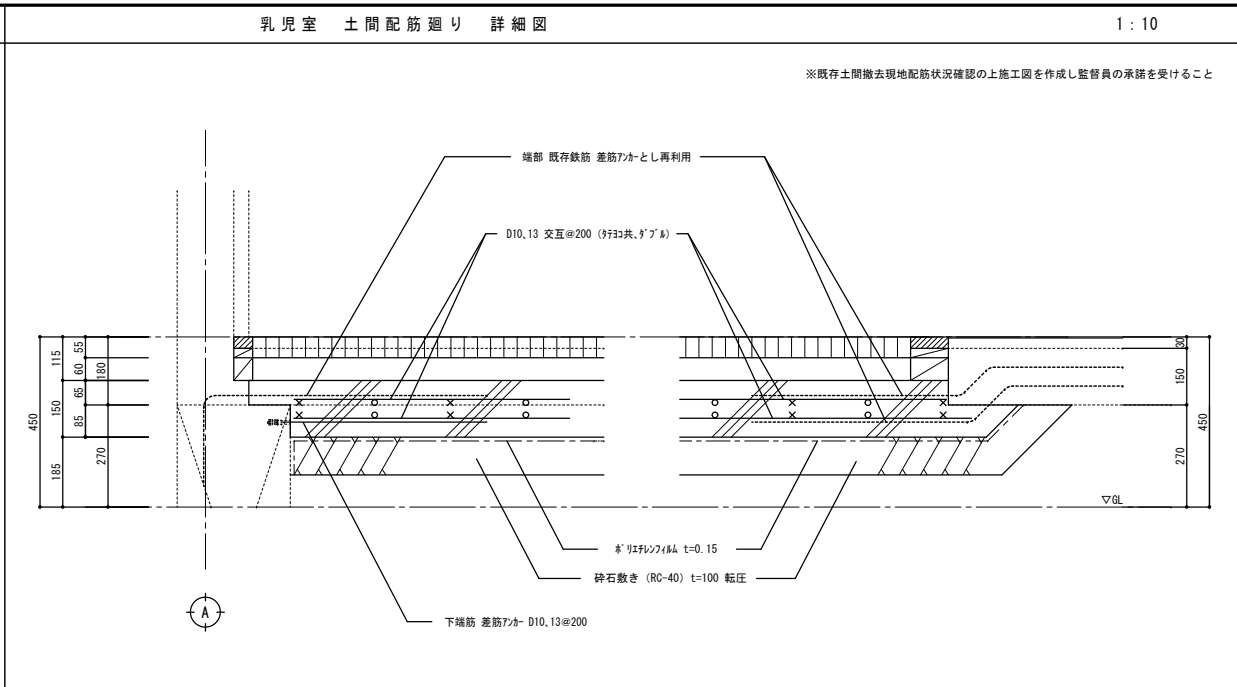
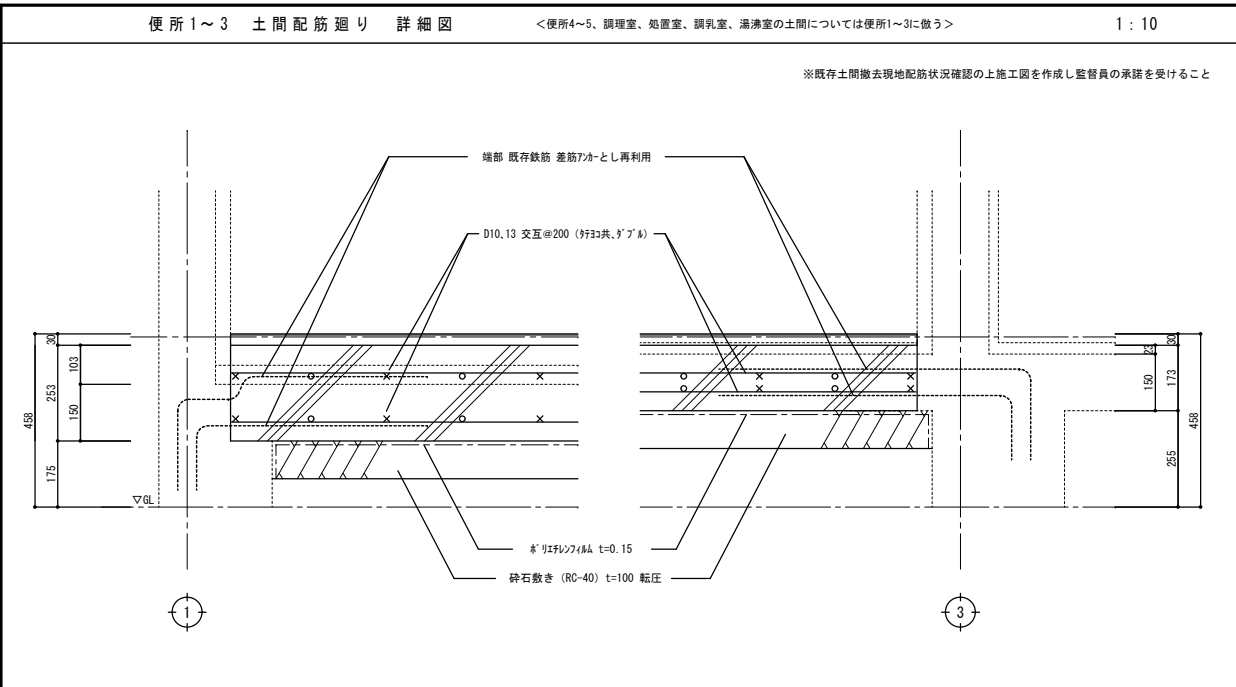


プールサイド 排水溝 詳細図





1:20









改修



改修前

符号 数量	 x 3 ロッカー	 x 3 収納	 x 3 掃除道具入	 x 1 収納
室名	保育室1・2・3	保育室1・2・3	保育室1・2・3	給食室
仕上	天板: 52mm-27下地 f'3貼り 見え掛り部 合板下地 SOP塗装	天板: 52mm-27下地 f'3貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	見え掛り部 合板下地 SOP塗装
備考				

符号 数量	 x 1 収納	 x 1 収納	 x 1 収納	 x 1 下足入	 x 1 下足入
室名	乳児室	乳児室	事務室	玄関	開放廊下
仕上	天板: 52mm-27下地 f'3貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	天板: 52mm-27下地 f'3貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	天板: 52mm-27下地 f'3貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装	見え掛り部 合板下地 SOP塗装
備考			天板改修 (改修後 F-7参照)		

符号 数量	 x 2 下足入				
室名	開放廊下				
仕上	見え掛り部 合板下地 SOP塗装				
備考					

室名	
仕上	
備考	

改修後

<p>符号 数量 1 x 3 ロッカー</p> <p>【新設】 ※家具詳細図参照</p>	<p>2 x 3 収納</p> <p>既存のまま ・塗装改修 (側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>3 x 3 掃除道具入</p> <p>既存のまま ・塗装改修 (天板・側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>4 x 1 収納</p> <p>既存のまま (一時取外し再取付) ・塗装改修 (天板・地板・正面小口面 SOP塗替え)</p>	
<p>室名 保育室1・2・3</p> <p>仕上 天板・本体：両面メラミン化粧板n°-$f744^{\circ}$-t° L=20 台輪：化粧合板貼り フック金物</p>	<p>保育室1・2・3</p> <p>仕上 天板：$9n^{\circ}$-37下地 f°貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>保育室1・2・3</p> <p>見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>処置室</p> <p>見え掛り部 合板下地 SOP塗装</p>	
<p>5 x 1 収納</p> <p>既存のまま (側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>6 x 1 収納</p> <p>既存のまま (側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>7 x 1 収納</p> <p>【天板改修】メラミン化粧板 追張り ※家具詳細図参照 他既存のまま (側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>8 x 1 下足入</p> <p>既存のまま (天板・側面・正面小口面・扉 SOP塗替え)</p>	<p>9 x 1 下足入</p> <p>既存のまま (天板・正面小口面 SOP塗替え)</p>
<p>室名 乳児室</p> <p>仕上 天板：$9n^{\circ}$-37下地 f°貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>乳児室</p> <p>仕上 天板：$9n^{\circ}$-37下地 f°貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>事務室</p> <p>仕上 天板：両面メラミン化粧板n°-$f744^{\circ}$-t° L=20 追張り既存天板：$9n^{\circ}$-37下地 f°貼り 見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>玄関</p> <p>見え掛り部および扉 合板下地 SOP塗装</p>	<p>開放廊下</p> <p>見え掛り部 合板下地 SOP塗装</p>
<p>10 x 2 下足入</p> <p>既存のまま (天板・正面小口面 SOP塗替え)</p>	<p>11 x 1 収納棚</p> <p>【新設】</p>	<p>12 x 1 収納棚</p> <p>【新設】</p>		
<p>室名 開放廊下</p> <p>仕上 見え掛り部 合板下地 SOP塗装</p>	<p>処置室</p> <p>スリム水切り欄 (n° f° 欄) スリム受金物</p>	<p>便所4</p> <p>両面メラミン化粧板n°-$f744^{\circ}$-t° L=20 (R=10) スリム欄受金物</p>		
<p>1 x 4 ホワイトボード</p> <p>【新設】 ※家具詳細図参照</p>				
<p>室名 保育室1・2・3</p> <p>仕上 アルミホーローホワイト鋼板 木枠 SOP塗装</p>				

家具工事 共通仕様 「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1. 家具使用者の安全性に関わる必須事項

両面メラミンパーティクルボード製

- ①シックスクール・ウイルス対策として、本体主材料には、光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能を持った材料を使用すること。但し、光触媒加工は塗膜本来の性能を失わないよう、工場ラインにての加工を行い、証明書を提出すること。
- ②使用者の怪我防止の観点から、扉・天板等の見えかき木口は、t3mm以上のセフティエッジ木口処理を施すこと。

2. 家具永年使用のための耐久性に関わる必須事項

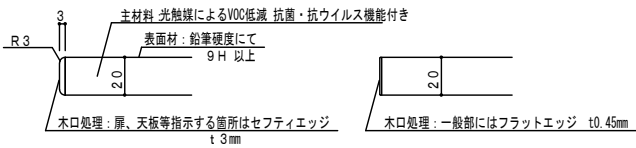
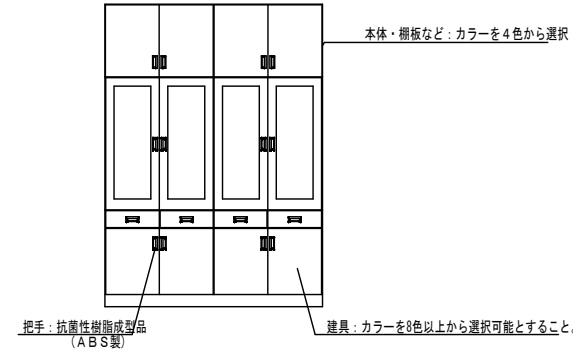
両面メラミンパーティクルボード製

- ①表面劣化を防ぐために、表面硬度は鉛筆硬度9H以上とすること。(耐久性に問題のあるコート紙系パーティクルボードは使用不可)
- ②芯材にはt20mm以上のパーティクルボード (F☆☆☆☆) を使用すること。

3. その他必須事項

- ①両面メラミンパーティクルボード製の家具は、ISO14001かつISO9001取得メーカー品であること。
- ②安全性・耐久性に関わる部分については、事前にサンプル・証明書を全て提出し承認を得ること。

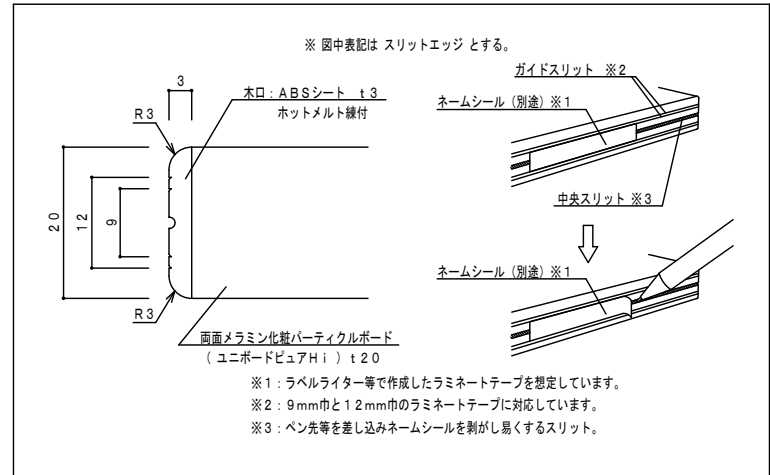
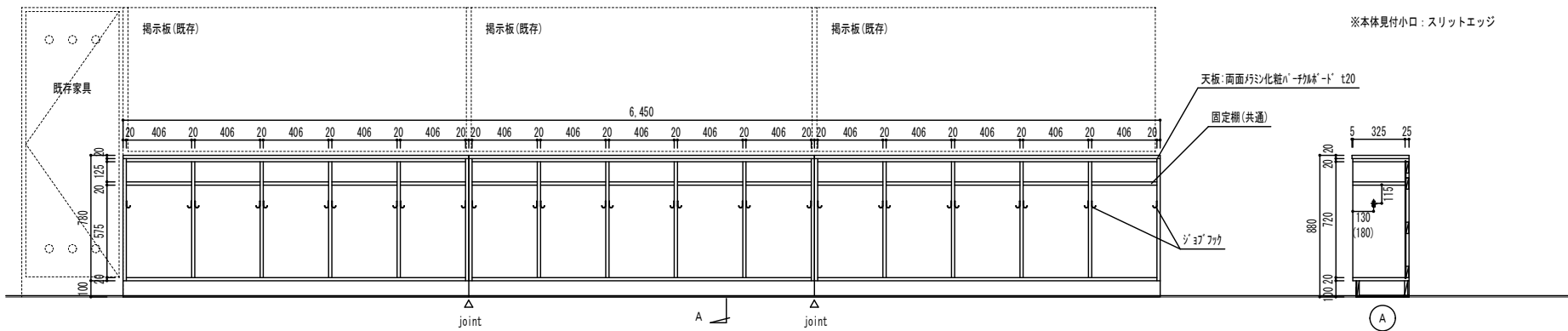
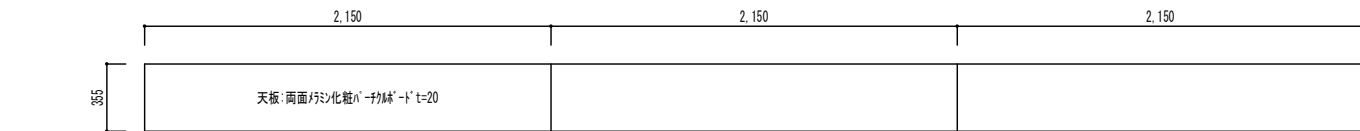
両面メラミンパーティクルボード製



F-1 園児用ロッカー 3ヶ所 保育室1～3

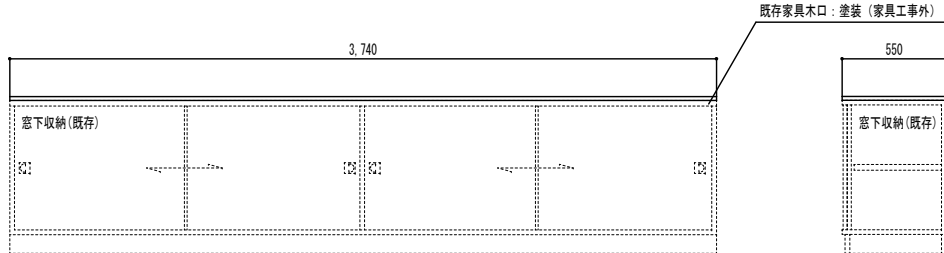
本体	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーティクルボード t20 (表面硬度9H以上)
天板	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーティクルボード t20 (表面硬度9H以上)
木口(前縁)	ABS樹脂3mm厚 (セフティエッジ)
棚	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーティクルボード t20 (表面硬度9H以上)
台輪	化粧合板貼
金物	GK ジョブフック-L ステンレスHL仕上げ 吊下荷重10kg

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
(材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること)
家具製造元の客観的な信頼性を考慮し、ISO14001かつISO9001取得メーカー品であること。

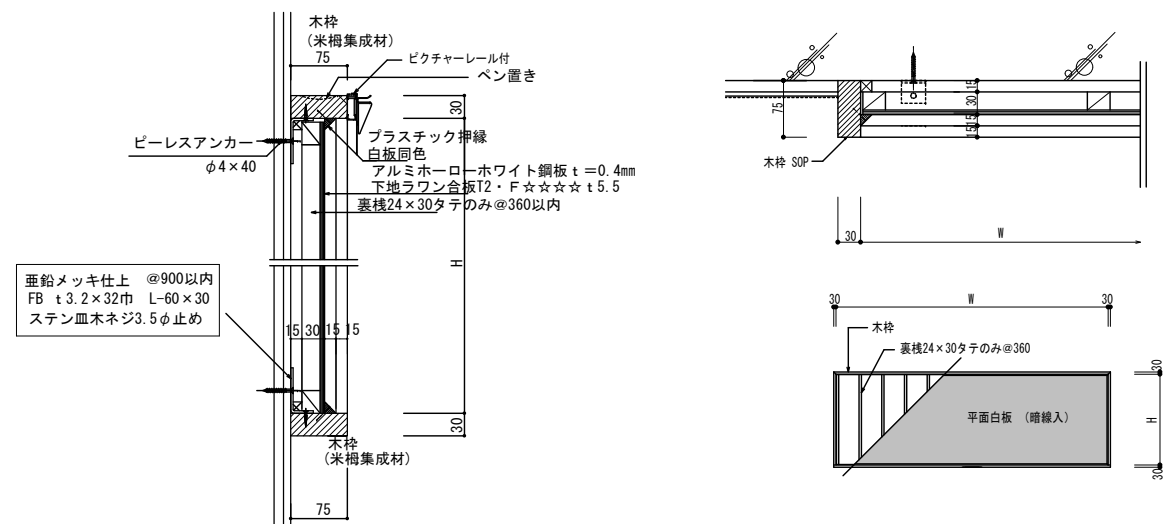


F-7 窓下収納天板追い張り 1ヶ所 事務室

天板	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーティクルボード t20 (表面硬度9H以上)
木口(前縁)	ABS樹脂3mm厚 (セフティエッジ)



WB-1 ホワイトボード 4ヶ所 保育室1～3 乳児室



変更年月日・変更事項

高橋啓之設計事務所

高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町2丁目7番35号
TEL 084-920-9123 FAX 084-928-6000
1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士
(登録183507号) (登録7233号) (登録2832号)

工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事

図面名称 家具詳細図

A2版(71%)
A3版(50%)

図面番号 A-36

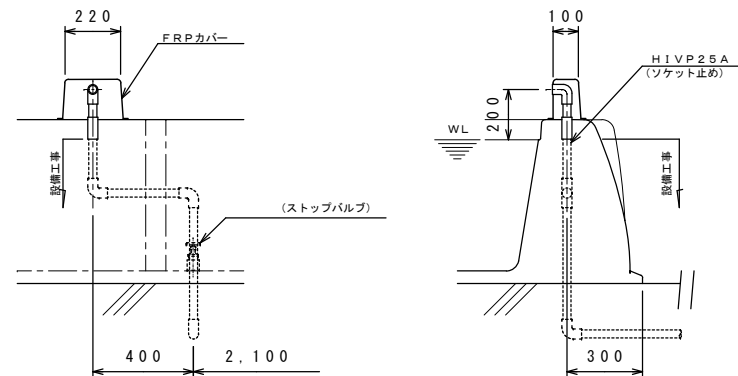
設計年月 2024年1月

縮尺 1:20

区分	内容	<FKC36・63 ナック・ウェイ・エス株式会社 同等品>	
	本体外寸	3600L x 6300W x 650H	
	本体内寸	2600L x 5300W x 600H	
	水深	520 (mm)	
	水面積	14.8 (m ²)	
	水量	7.1 (ton)	
本体空重量	310 (kg)		
プール材質	FRP	不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化し ハンドレイアップ成型したもの	
構造部材	内容	材質仕様	数量
	ハンドル	φ27.2 SUS304 バイブ加工	2個
	オーバーフロー栓	32A YB=C	2個
	排水栓	40A YB=C ゲートバルブ付	2個
	配管ホース	ブレードホース	1式
	初期給水栓	25A HIVP FRPカバー付	1個
	プールカバー	ターボリン 黄色	1式
表面色	本体上部: デッキパネル	イエロー	
	本体下部: サイドパネル及びフロアパネル	ブルー	
ノンスリップ加工	デッキ面	型彫	
	フロア面	型彫	
工事区分	プール 工事	プール本体組立工事、プール内部配管	
	建築 工事	基礎工事	
	設備 工事	プール内部配管より以降の配管工事	

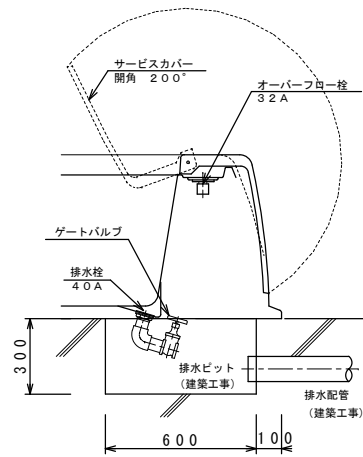
基礎工事・配管上の注意事項

- 据付面はコンクリートコテ仕上げとし、所定寸法±5mm以内でレベル出しのこと。
- プール部材搬入について、プール設置場所近くまで4ton車が通行可能なこと。
又、搬入口にユニック車又はレッカー車が横付けできること。
- プール工事は、プール組立、オーバーフロー栓・排水栓取付け及びそれらの内部配管までとする。

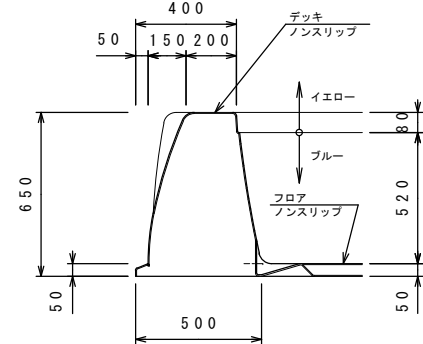


初期給水栓詳細図 S=1/15

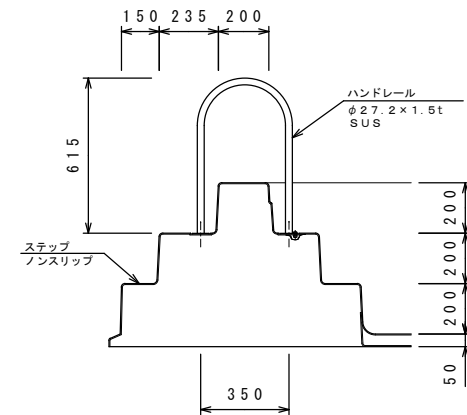
※ ストップバルブは配管立ち上げソケットに設置



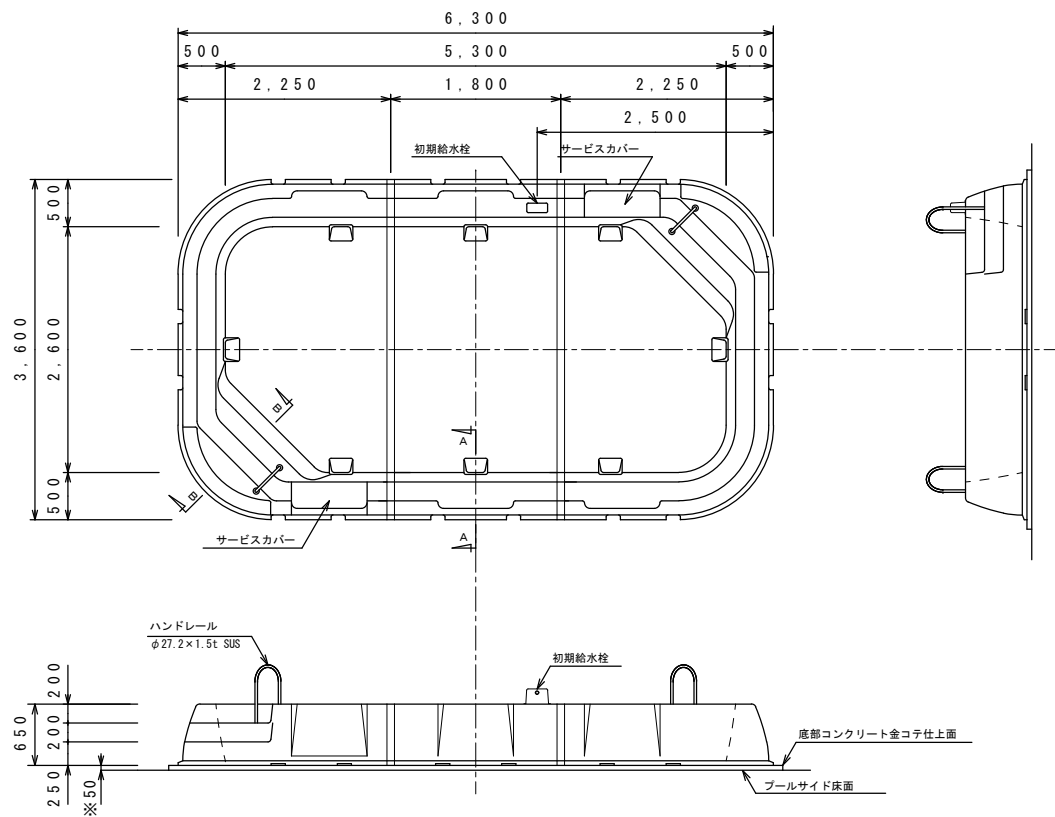
排水詳細図 S=1/15



A-A断面詳細図 S=1/15

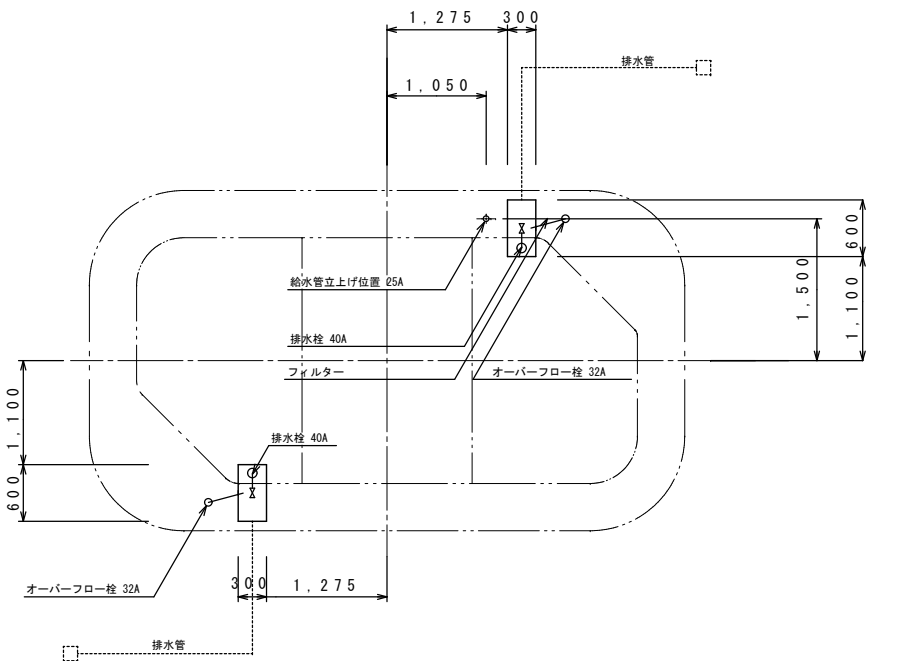


B-B断面詳細図 S=1/15



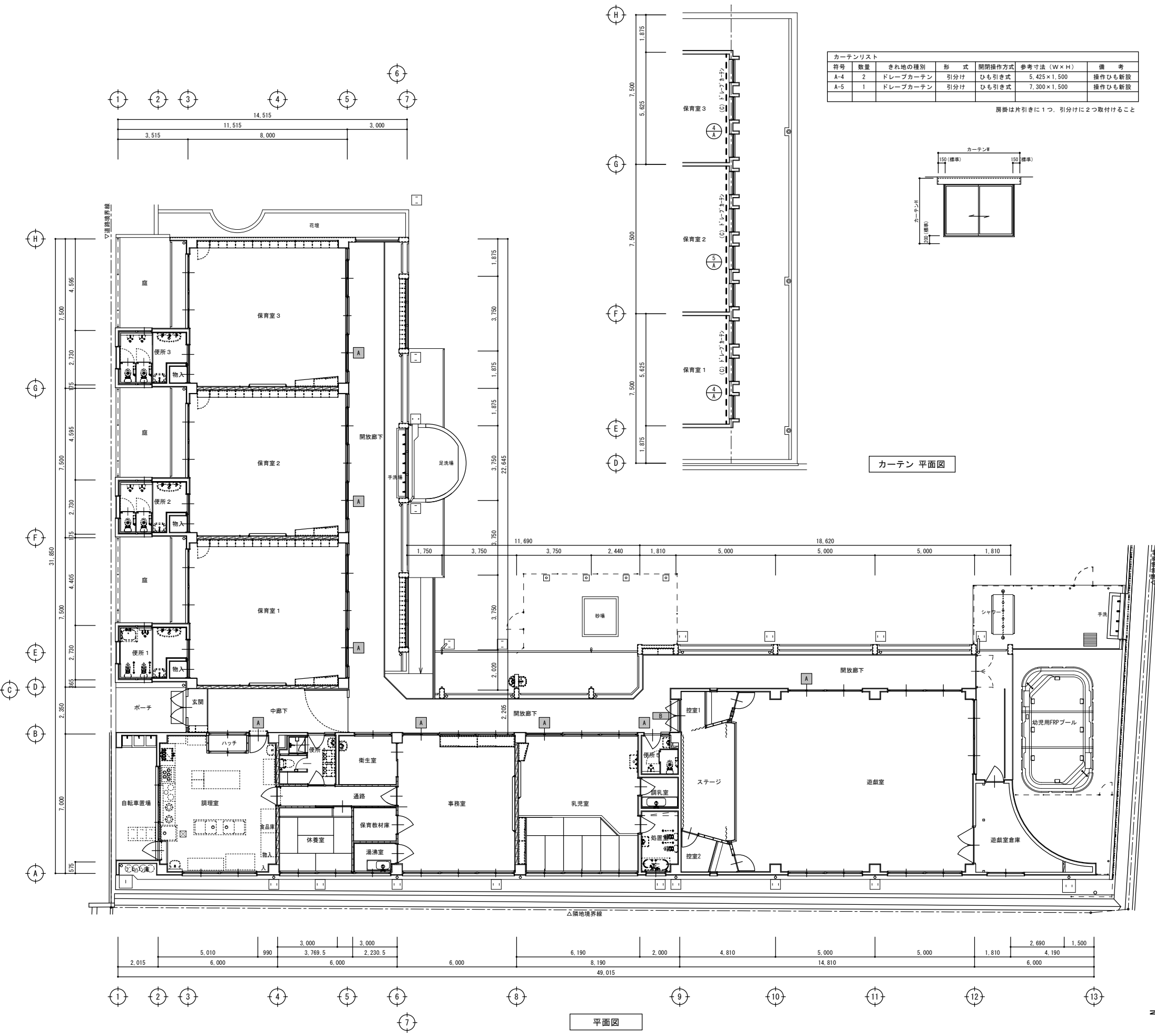
全体図 S=1/40

※ プールサイドのレベル及び排水方向、勾配を現地調査確認の上プール設置位置、高さの施工図を作成し監督員の承諾を受けること



配管系統図 S=1/40

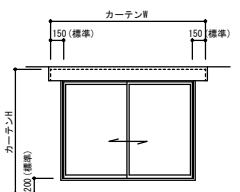
注) 排水ピット及び排水配管は建築工事となります。



平面図

カーテンリスト	数量	きれ地の種別	形式	開閉操作方式	参考寸法 (W×H)	備考
A-4	2	ドレープカーテン	引分け	ひも引き式	5,425×1,500	操作ひも新設
A-5	1	ドレープカーテン	引分け	ひも引き式	7,300×1,500	操作ひも新設

両側は片引きに1つ、引分けに2つ取付けること



カーテン 平面図

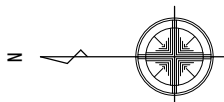
<カーテン工事 特記事項>

- カーテン用きれ地は、消防法に定める防火性能の表示があるものとし、各々(財)日本防災協会の認定ラベル(防火物品の表示マーク)を縫い付ける。
- 付属金物等は、カーテンの機能に必要なものを取付ける。
- きれ地の色見本を監督員に提出し、承諾を得ること。
- カーテン 川島織物 セルコン タルバ サンゲツ キングストン 同等品
ステージ幕類 川島織物 セルコン パルコIV サンゲツ ウィーンN 同等品
- カーテンレールは、JIS A4802(カーテンレール(金属製))により、レール及びブラケットの強さによる区分は10-90、レールの材料による区分並びにレールの仕上げ及び形状は、特記による。
カーテン用 ステンレス製 22mm程度 トーソー ニューデラック同等品
ステージ幕類用 アルミ製中型タイプ 30mm程度 トーソー 中型(紐引き)同等品
- ランナーは、合成樹脂製とする。引分けの箇所には交差ランナーを使用する。
- ブラケット、レールジョイント、吊棒、引分けひも等のレール部品は、レールと釣合いが取れたものとする。ブラケットを使用する場合は、取付け間隔を450mm以内とし、引分けひもは、ポリアミド製径2.8mm及び3.5mm程度で、カーテンレールに適合する径とする。ひも引き式カーテンに取付けるテンションプリーは壁付けとし、取付け高さは、FL+1,200程度とする。
- ふさ掛け金具及びひも掛け金具は、亜鉛合金又はクロムめっき黄銅製程度のものとする。
- フック(ひるかん)は、ユニクロムめっき鋼製とする。
- カーテンの取付け幅及び高さの製作寸法は、現場実測により定める。
- ひだの種類は、下記による。
一般カーテン つまひだ(きれ地の取付け幅に対する倍数2.0以上)
ステージ幕類 箱ひだ(きれ地の取付け幅に対する倍数2.0以上)
- ひだの間隔は150mm程度とする。
- カーテン下端は、腰のある窓の場合は窓下から200mm程度下げ、腰のない窓の場合は床に触れない程度とする。
- 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なりは300mm以上とする。
- 上端は、幅90mm程度のカーテン心地を袋縫いする。
- 両わき及びすそは伏縫いとす、すその折返し寸法は100mm程度とする。
- タッセルバンドは、カーテンきれ地と共布で加工したものを取り付ける。

【室名札リスト】

室名	仕様
A	突出型 (200x200x15) 木製 クリア塗装、UV印刷
B	正面型 (250x80x15) 木製 クリア塗装、UV印刷

※(株)フジタ 同等品 MPW同等品
 ※取付け位置、文字は監督員と協議の上決定とする
 ※既存室名札、取付金物は撤去とする



参考数量書

§ 工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事

§ 工事場所 福山市神辺町字東中条3 2 番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立中条保育所園舎改修工事

工事場所 福山市神辺町字東中条 3 2 番地

【工事概要】

・改修工事 一式

【構造】	鉄筋コンクリート造	平家建
【建築面積】	730.62㎡	
【延床面積】	729.31㎡	

【別途工事】

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生ガス設備工事
- ・冷暖房換気設備工事
- ・カーテン取付工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
改修工事	1	式		
計				

改修工事						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
解体・撤去		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

改修工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
地業	外部	1	式		
地業	内部	1	式		
計					
鉄筋	外部	1	式		
鉄筋	内部	1	式		
計					
コンクリート	外部	1	式		
コンクリート	内部	1	式		
計					
鉄骨	外部	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
タイル	内部	1	式		
計					
木工	内部	1	式		
計					

改修工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		

改修工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					
解体・撤去	外部	1	式		
解体・撤去	内部	1	式		
計					
発生材処理	外部運搬	1	式		
発生材処理	内部運搬	1	式		
発生材処理	外部処分	1	式		
発生材処理	内部処分	1	式		
計					

改修工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し(内部改修)	複合改修	788	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	788	m ²			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	788	m ²			
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	108	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	108	m ²			
整理清掃後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	108	m ²			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 90日(渡り廊下屋根) 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 脚立足場 階高4.0m以下	300	m ²			
内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 120日 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 脚立足場 階高4.0m以下	461	m ²			
内部仕上足場(手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満 120日 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 枠組棚足場 平家用	27.2	m ²			
計						

改修工事		地業		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
砂利地業	クラッシュ	2.3	m3			
砂敷き	転圧	14.7	m3			
計						

改修工事		鉄筋		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.2	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.2	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.2	t			
スラップ 控除	H2	0.1	t			
あと施工アンカー (差筋アンカー)	BD-10 x 450 横向き	114	本			
計						

改修工事						
鉄筋				内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.4	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.7	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	1.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	1.1	t			
スクラップ控除	H2	0.1	t			
あと施工アンカー (差筋アンカー)	BD-10×450 横向き	25	本			
あと施工アンカー (差筋アンカー)	BD-13×600 横向き	25	本			
計						

改修工事		コンクリート		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	2.7	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	2.7	m3			
コンクリート打設手間	土間ホップ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	2.7	m3			
コンクリートホップ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	2.7	m3			
コンクリートホップ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
コンクリート打設手間	配管手間	1	式			
計						

改修工事		コンクリート		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	JIS A5308 FC21N/mm2 S18 粗骨材20	11.3	m3			
6N補正	FC21N/mm2 S18 呼び強度27 S18	11.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	11.3	m3			
計						

改修工事		鉄骨		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
底鉄骨工事	鋼材 118kg □ -100x100x3.2、□ -60x60x2.3 L-40x40x3、PL4～9、ブレースM12、ボルト他 工場加工組立(溶接、錆防止) 現場加工組立 運搬	1	式			
後施工アンカー	樹脂系 M16x130	3	か所			
樹脂ML列詰め		1	式			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	1.6	m			
日除け ネット作り-支柱工事	40A L=1000 4箇所(材工共) PL3.2、リングボルトM16 工場加工組立(溶接、錆防止)、運搬他	1	式			
後施工アンカー	樹脂系 M16x130	2	か所			
計						

改修工事		防水		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 × 10	22.9	m			
シーリング	一般部 ｾｯｼｳﾝﾌﾞﾗｯｸﾞ系 (PS-2) 15 × 10	21.6	m			
シーリング	建具廻り 一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 × 10	56	m			
計						

改修工事		防水			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	スレージ 廻り取合い部 一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	11.3	m			
各種天井、壁、床 目地、チリ際シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 5×5	100	m			
計						

改修工事			タイル	内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装壁タイル張り	エニツタイル 有機系接着張り(タイル) 類 施ゆう 100mm角 珪外面	11.8	m ²			
タイル補修・清掃		1	式			
計						

改修工事		木工			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
珪合板	1類 厚さ5.5mm F 釘・糊併用 目違い払い共 珪合板 下地調整後	161	m ²			
床 材設置場	コバ 板厚t=12 T1 突板珪合板 t=12 見切縁 桧(上小)W60x30 L=2.2m	0.6	m ²			
幅木	桧(上小)100x30	24	m			
床見切	桧(上小)100x30	6.4	m			
床見切	桧(上小)30x30	3	m			
腰見切	桧(上小)30x20	2.7	m			
額 縁	桧(上小)25x45	101	m			
エッジワ-額 縁	桧(上小)25x135	5.3	m			
畳寄せ	桧(上小)25x45	9	m			
面台	高圧珪化化粧板 t=20x120	5.5	m			
計						

改修工事		屋根及びとい		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
庇	ホリカボネット波板葺 t=1.0 (小波スト)	43.5	㎡			
水上水切	ガリバリウム鋼板 t=0.4 L=300	3.8	m			
ガリバリウム水切	ガリバリウム鋼板 t=0.4 L=250	3.7	m			
既存水上水切	既存鋼板 取外し再取付手間	19.5	m			
既存ガリバリウム水切	既存鋼板 取外し再取付手間	11.2	m			
軒樋	塩ビ製補強芯入り 角型ガ-前高130 SUS受金物	3.8	m			
軒樋	既存軒樋接続	1	か所			
軒樋	既存前高130 取外し再取付手間	19.5	m			
豎樋	ガ-VP100 延長 1.0m (既存端部接続 - 既存樹まで)	1	か所			
計						

改修工事		金属		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水枳改修 450x450	ステンレスレチング蓋 ノスリップ、細目、T-2、550x550 枠周囲に外詰め、シーリング等共	1	か所			
既存ノスリップ W35	ゴム枠取替	1.6	m			
計						

改修工事		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	10.5	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 イサト含む	11.4	m ²			
既存鉄骨天井下地	調整	281	m ²			
既存鉄骨天井下地	追加調整	11	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	17	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	17	か所			
床化粧ハッチ	ステンレス 300×300	1	か所			
床見切り	ステンレス製 W40×t1.2	7.5	m			
ステンレス壁見切	25×45 L=800 SUS曲加工 角ハッチ	1	か所			
多目的用途手すり	I型 YVB10同等	5	か所			
アルミ立上見切 ジョイナー	H-100 (上部ボート受無し)	8.5	m			
アルミ立上見切 ジョイナー	H-100 (上部ボート受有り)	32.1	m			
計						

改修工事		左官		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	22.7	m ²			
建具改修部 壁複層塗材E補修	コンクリート面 ゆず肌状 ロール塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	7.6	m ²			
建具周囲防水 E1/E2充填	外部建具	61.6	m			
ドア設置面	E1/E2金15押え (20.26m ² 、1.01m ²)	1	式			
計						

改修工事						
左官				内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	51.8	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 厚張物下地	13.8	m ²			
床珪外塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	1.5	m ²			
珪外塗り	厚10mm コンクリート下地 珪外系	25.4	m ²			
壁珪外塗り	金ごて 内壁 厚20	23.6	m ²			
壁珪外塗り	金ごて 内装珪外接着張り下地 -	9.8	m ²			
下地処理	不燃化粧板下地 壁薄塗り珪外塗り 金ごて 厚5 程度	98.4	m ²			
計						

改修工事		建具		アルミニウム製建具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AD-3	スラ、袖 FIX、引違窓付引違戸 6690×2660 網戸	2	か所			
AD-4	スラ、袖 FIX、引違窓付引違戸 6880×2660 網戸	1	か所			
AD-5	片開戸 830×1765	1	か所			
AW-1	網戸張替 1800×950 戸の調整	6	か所			
AW-4	網戸張替 1800×950 戸の調整	6	か所			
AW-5	網戸張替 1800×950 戸の調整	4	か所			
AW-6	網戸張替 1420×950 戸の調整	3	か所			
AW-7	網戸張替 1800×950 戸の調整	1	か所			
AW-8	網戸張替 1800×950 戸の調整	2	か所			
AW-9	網戸張替 1800×950 戸の調整	2	か所			
AW-9	網戸張替 1800×760 戸の調整	2	か所			
AW-11	網戸張替 1800×950 戸の調整	4	か所			
設計費		1	式			
運送費		1	式			
取付費		1	式			
諸経費		1	式			
計						

改修工事						
		建具		木製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
WD-1	ガラス引違フラッシュ戸 1855 x 1790	3	か所			
WD-15	片引フラッシュ戸 1653 x 1800	1	か所			
WD-2a	片開きフラッシュ戸 820 x 1800	1	か所			
WD-3	ガラス付片開きフラッシュ戸 920 x 1800 アンダークット	1	か所			
WD-12a, b	片開きフラッシュ戸 800 x 1800 戸当取替	2	か所			
WD-12c	片開きフラッシュ戸 800 x 1800 アンダークット	1	か所			
運搬、諸経費		1	式			
計						

改修工事		建具		トイレブース		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
TB-1	トイレブース 3.500 x 1200	2	か所			
TB-2 トイレブース	トイレブース 2240 x 1900	1	か所			
TB-3 トイレブース	トイレブース 2150 x 1200	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費・諸経費		1	式			
計						

改修工事		建具		ガラス		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
強化が び	厚さ 4mm 特寸 2.0㎡以下 シーリング 清掃共	45.4	㎡			
が び清掃		198	㎡			
計						

改修工事		塗装		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E P - G 塗り	けい酸加シム板面 工程B種(見上) 素地B種	17.5	m ²			
新規庇 DP塗り	鉄鋼面 1級 素地ごしらえ 行程B種 錆止め塗料塗り 行程A種 塗料A種 現場2回	4.4	m ²			
養生管 DP塗り改修仕様	鉄鋼 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 工程C種 塗料A種 2回	20	m			
庇 DP塗り改修仕様	鉄鋼 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 工程C種 塗料A種 2回	19.8	m ²			
手摺・門扉 DP塗り改修仕様	鉄鋼 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 工程C種 塗料A種 2回	3.9	m ²			
排水樹蓋 DP塗り改修仕様	鉄鋼 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 工程C種 塗料A種 2回	5	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	19.9	m			
S O P 塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程A種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	44.4	m ²			
ﾌﾞｰﾙ専用塗装	手洗他 既存外外面 大同塗料 ブｰﾙｺｰﾄﾞｽﾞﾙAU 同等品	12.5	m ²			
計						

改修工事		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E P - G 塗り	珪外面 工程B種(一般) 素地B種	23.6	m ²			
E P - G 塗り	ボード面 工程B種(一般) 素地B種	4.2	m ²			
E P - G 塗り	けい酸加減板面 工程B種(見上) 素地B種	59.7	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	70.5	m			
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	49.2	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	101	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	ボード面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	351	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	ボード面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	131	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	珪外面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	49.1	m ²			
C L 塗り 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	1.3	m ²			
OSCL 塗 改修仕様	木部 RB種(塗替え面)	3.9	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	441	m			
鉄部 DP塗り改修仕様	鉄鋼 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 工程C種 塗料A種 2回	6	m			
C L 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程A種 下地調整RB種(塗替え面)	39.6	m			
O S 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	10	m			
S O P 塗り	木部 工程B種 塗料1種 素地A種(屋内)	44.6	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	54.6	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	340	m			
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	118	m ²			
計						

改修工事						
内外装				外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
防滑性ビニル床シート	厚2.5	125	m ²			
フールノスリッパ床シート	t=2.9 タスリッパ タイプ MT同等	88.1	m ²			
天井 けい酸加シウム板張り	タイプ 2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	17.5	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	20.4	m			
計						

改修工事		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	マ-ブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法(消臭・抗菌)	20.8	m ²			
ビニル床シート 立上 H=100	マ-ブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法(消臭・抗菌)	4.1	m ²			
ビニル床シート	マ-ブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	195	m ²			
発泡複層ビニル床シート	厚2.8 発泡複層ビニル床シートHS 一般床 熱溶接工法	197	m ²			
防滑性複層ビニル床シート	t=2.5	37.3	m ²			
コルク床タイル	厚4.0	1	m ²			
ビニル幅木	高さ100	10.5	m			
壁 シ-ジ-ンガ せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード 下地 下地張り - -	11.6	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード 下地 突付け - -	19.3	m ²			
メラミン不燃化粧板 (壁 キッチン・裨)	t3×W935×1,855 セ-ル同等品 材工共	108	m ²			
天井 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 下地張り	11.4	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライ-チ 突付け	262	m ²			
天井 けい酸 加シウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	59.7	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	338	m			
床下地材フォーム	厚65×595×900	13.8	m ²			
畳表替え	1畳 表JAS 3種 線引 2等 C2	6	枚			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT- 一畳 施工規模30枚以下程度	8	枚			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT- 半畳 施工規模30枚以下程度	1	枚			
天井ビニル加シ張り	ボード面	11.4	m ²			
壁ビニル加シ張り	ボード面 ジュラケシ	22.6	m ²			

改修工事		内外装			内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
計							

改修工事		ユニット及びその他		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防鳥ネット	(株)イトバノンコーポレーションリカットネットスパン20 同等品 額縁用ワイヤ、杓子リング 超軽量ステンレスプレート他金物共	160	m ²			
日除けネット	平岡織染(株):ターボスクリーンネット#1004同等 SUSワイヤ、スプリングリング ケミカルゲルアンカー、リングホルト	41.5	m ²			
幼児用フェネル	ナック・ケイ・エス(株):FKC36-63 本体、カバー、組立、運搬、諸経費 等含む	1	か所			
フェネルサイド立上り他	立上り コンクリート 150×150 排水溝 W=150 フェネル専用塗装、シーリング、差筋D10他	1	式			
計						

改修工事		ユニット及びその他			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シャワーユニット	TOTO JSV0808UL 同等品 換気 IKK85同等	1	か所			
調乳室 流し台 吊戸棚	L=1800 L=1800 天井フィラ-H400共 RN-180R同等 W-M120同等 W-M60同等 P-TM440同等	1	か所			
湯沸室 流し台 吊戸棚	L=1200 L=1200 天井フィラ-H400共 RN-120L同等 W-M120同等 P-TM440同等	1	か所			
F-1 ロッカー	W6450*D355*H880	3	か所			
F-7 収納	W3740*D550 天端改修	1	か所			
F-5 収納	台輪取付 H=100 L=2700	1	か所			
F-11 収納棚	L1500*D300 スチルス水切棚（受金物共）	1	か所			
F-12 収納棚	L579*D400 3段 木製棚（受金物共）	1	か所			
床材	木枠平面床-Ⅱ- 暗線入 1800x900（暗線入） 米梅集成材	4	か所			
掲示板（改修）	ソト合板 t=5.5 マグネット兼用ホルダーシート貼	37.2	m ²			
掲示板（新設）	ソト合板 t=5.5 マグネット兼用ホルダーシート貼 下地新設	3	m ²			
室名札	樹脂製 木製 ｸﾞﾗﾌ塗装 UV印刷 突出型 200x200x15 MPW	8	か所			
室名札	樹脂製 木製 ｸﾞﾗﾌ塗装 UV印刷 正面型 250x80x15 MPW	1	か所			
保育室（上部）	カーテン取付	1	式			別紙 00-0001
水切り棚 （便所1～3）	取外し・再取付 W=600 2段	3	か所			
床材 （調理室）	取外し・再取付	1	か所			
計						

改修工事		解体・撤去		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾚｰｶ 集積共	0.1	m3			
ｶｯﾀｰ-入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	4.4	m			
ﾋﾞｰｺﾞﾙ床ｼｰﾄ撤去	集積共	186	m ²			
天井合板・ﾎｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般 集積共	17.5	m ²			
天井廻り縁撤去	集積共	20.4	m			
ﾌﾟｰﾙSUS手摺撤去	床付H700 集積共	2.2	m			
ﾌﾟｰﾙSUS手摺撤去	壁付 集積共	11.9	m			
庇ﾎﾞﾘｰｶｰﾎﾟｰﾈｯﾄ撤去	集積共	28.8	m ²			
防鳥ﾈｯﾄ撤去	集積共	160	m ²			
雨水桟蓋撤去	集積共	1	か所			
計						

改修工事		解体・撤去		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	10.1	m ³			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	112	m			
ビニル床シート撤去	集積共	207	m ²			
床タイル撤去	下地タイル共 集積共	26.6	m ²			
床組撤去	ころばし 集積共	2.4	m ²			
床組撤去	中棚 集積共	7	m ²			
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	31	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	9	枚			
畳寄撤去	集積共	10.2	m			
畳框撤去	集積共	5.5	m			
木製幅木撤去	集積共	4.2	m			
壁タイル撤去	下地タイル共 集積共	118	m ²			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	63.1	m ²			
壁下地撤去	集積共	6.9	m ²			
壁クロス撤去	集積共	22.6	m ²			
壁スポンジシート撤去	集積共	37.1	m ²			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	285	m ²			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	36.9	m ²			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共 化粧石膏ボード(防火) (アスベスト含有)	11.4	m ²			
天井下地撤去	集積共	2.7	m ²			

改修工事		解体・撤去		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井廻り縁撤去	集積共	338	m			
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	20.1	m ²			
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	30.7	m ²			
木製戸撤去	トリアングル 集積共	16.6	m ²			
ガラス撤去	集積共	27	m ²			
SUS枠撤去	集積共	5.7	m			
SUS床見切り撤去	集積共	5.6	m			
ガス台撤去	L=600 集積共	2	か所			
流し台撤去	L=1200 集積共	2	か所			
吊り戸棚撤去	L=700 集積共	1	か所			
吊り戸棚撤去	L=1200 集積共	1	か所			
ロッカー撤去	6450*350*H880集積共	3	か所			
アクセント撤去	集積共	3	m ²			
黒板撤去	集積共	11.9	m ²			
ホワイトボード撤去	集積共	5.7	m ²			
カーテンレール撤去	集積共	98.3	m			
水切り棚 (便所4)	集積共 W=600	1	か所			
計						

改修工事		発生材処理		外部運搬		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	1.2	m3			
発生材運搬	コンクリート類	0.2	m3			
発生材運搬	ボード類	0.2	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.3	t			
発生材運搬 スクラップ	H3	0.1	t			
計						

改修工事		発生材処理		内部運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	石綿含有産業廃棄物 内装仕上材類	0.4	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類 人力	13.7	m3			
発生材積込み	ｶﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	11.4	m3			
発生材運搬	石綿含有産業廃棄物 塩ビ、ｶﾞｰﾄﾞ類	0.3	t			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	13.3	m3			
発生材運搬	木くず類	5.2	m3			
発生材運搬	がれき類	0.7	t			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ類	1.2	t			
発生材運搬	ｶﾞｰﾄﾞ類	2.4	t			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽチック類	0.2	t			
発生材運搬	畳類	0.1	t			
計						

改修工事		発生材処理		外部処分		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	コンクリート類	0.2	m ³			
発生材処分	ボード類	0.2	t			
発生材処分	廃プラスチック類	0.3	t			
スクラップ控除	H3	0.1	t			
計						

改修工事		発生材処理		内部処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	石綿含有産業廃棄物 塩ビ、ホト類	0.3	t			
発生材処分	コンクリート類	13.3	m3			
発生材処分	木くず類	5.2	m3			
発生材処分	がれき類	0.7	t			
発生材処分	ガラス類	1.2	t			
発生材処分	ホト類	2.4	t			
発生材処分	廃プラスチック類	0.2	t			
発生土処分	畳類	0.1	t			
計						

